

令和4年度

市民アンケート実施結果

報告書

令和4年8月

鹿角市総務部政策企画課総合戦略室

目 次

I	実施概要	3
II	回収状況	4
III	調査の総括	5
IV	設問別集計結果	15
1	市の政策について	16
2	運動の実施状況について	26
3	テレフォン病院 24 について	28
4	芸術鑑賞について	31
5	コモッセの利用状況について	34
6	きりたんぽ F M について	36
7	中心市街地について	39
8	新型コロナウイルス感染症の影響について	41
9	カーボンニュートラルについて	47
10	まちの満足度について	50
11	自由意見	57
資料	令和 4 年度市民アンケート回答票	79

I 実施概要

1 実施目的

政策評価の一環として、第7次鹿角市総合計画の成果指標に係るデータを把握するとともに、各施策に対するニーズ（需要）を調査・把握し、今後の政策推進に活用するほか、広聴の一環として市民の意見を市政に反映することを目的とします。

2 設問構成

設問	設問の趣旨	担当課
1 あなた自身について	居住地区、性別、年代、職業の確認	—
2 市の政策について	第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略における取組方針毎の満足度と重要度の把握	政策企画課
3 運動の実施状況について	運動や生活活動の頻度とその時間の把握	スポーツ振興課
4 テレフォン病院24について	「テレフォン病院24」の認知度と認知方法の把握	福祉総務課
5 芸術鑑賞について	芸術鑑賞した割合の把握	生涯学習課
6 コモッセの利用状況について	コモッセの利用状況の把握	生涯学習課
7 きりたんぼFMについて	きりたんぼFMを聴く頻度とその時間帯の把握	政策企画課
8 中心市街地について	中心市街地の生活環境に対する満足度と不満要因の把握	政策企画課
9 新型コロナウイルス感染症について	市民生活への影響とアフターコロナを見据え期待する支援の把握	政策企画課
10 カーボンニュートラルについて	「2030ゼロ・カーボンシティ宣言」の認知度及び脱炭素に向けて市が重点的に取り組むべき項目の把握	産業活力課
11 まちの満足度について	まちに活力や魅力、快適な環境があると思う方の割合の把握	政策企画課
12 自由記入	—	—

3 実施期間

令和4年5月30日（月）～6月16日（木）まで

4 実施対象

令和4年5月30日時点で住民基本台帳に登録されている方のうち、無作為によって抽出した満年齢18歳から74歳までの市民900人。抽出にあたっては性別、年齢、地域条件を考慮し均衡を図ったほか、令和元年度から令和3年度までの市民アンケート調査対象者を除いています。

5 実施方法

- (1) 配付 自治会長及び広報等配布員による配付（一部郵送）
- (2) 回収 郵便（受取人払い）による回収及びインターネット回答による受付（前年度までの職員による回収は廃止）

II 回収状況

1 回収率

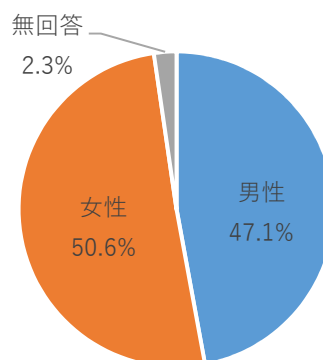
47.9%（431人／900人） ※令和3年度の回収率 70.9%（496人／700人）

2 回答者の属性

市民アンケートの属性別の対象者数、回答者数及び回収率は次のとおりです。構成比¹は、その区分の対象者（回答者）が全対象者（回答者）のうち何%を占めているかを表しています。回収率²は、その区分の対象者数のうち何%³が回答を寄せたかを表しています。

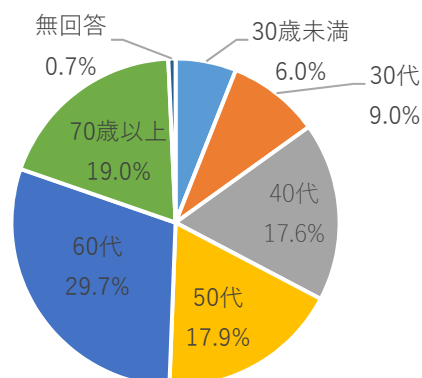
(1) 男女別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
男 性	464	51.6%	203	47.1%	43.8%
女 性	436	48.4%	218	50.6%	50.0%
無回答	-	-	10	2.3%	-
計	900	100%	431	100%	47.9%



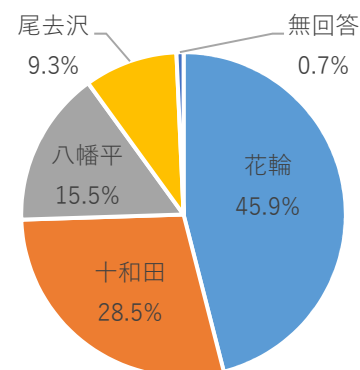
(2) 年代別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
30歳未満	98	10.9%	26	6.0%	26.5%
30代	106	11.8%	39	9.0%	36.8%
40代	167	18.5%	76	17.6%	45.5%
50代	169	18.8%	77	17.9%	45.6%
60代	222	24.7%	128	29.7%	57.7%
70歳以上	138	15.3%	82	19.0%	59.4%
無回答	-	-	3	0.7%	-
計	900	100%	431	100%	47.9%



(3) 地区別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
花 輪	425	47.2%	198	45.9%	46.6%
十和田	294	32.7%	123	28.5%	41.8%
八幡平	111	12.3%	67	15.5%	60.4%
尾去沢	70	7.8%	40	9.3%	57.1%
無回答	-	-	3	0.7%	-
計	900	100%	431	100%	47.9%



¹ 構成比 = その区分に属する対象者数（回答者数）÷全対象者数（全回答者数）

² 回収率 = その区分に属する回答者数÷その区分に属する対象者数

³ 各設問における項目選択の割合（%）は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

Ⅲ 調査の総括

Ⅲ 調査の総括

1 市の政策について

▶ 詳細分析 P 16

(1) 市が進めている取組に対する満足度

順位	取組方針	満足度 スコア	回答者の割合						
			満足 (5)	やや満足 (4)	普通 (3)	やや不満 (2)	不満 (1)	わから ない	無回答
1 位	ごみの適正処理と資源 リサイクルの推進	3.27	9.7%	19.3%	56.8%	6.0%	3.5%	2.3%	2.3%
2 位	心身の健康づくり	3.21	6.3%	19.3%	57.5%	7.4%	2.3%	4.2%	3.0%
3 位	文化財の保存	3.14	4.4%	19.3%	54.1%	8.6%	3.5%	7.7%	2.6%
4 位	衛生的で良好な生活環 境の確保	3.08	8.6%	16.9%	49.7%	10.0%	8.4%	4.6%	1.9%
5 位	火災や救急に対する体 制の強化	3.07	3.5%	13.2%	64.0%	7.4%	3.0%	6.7%	2.1%
	防犯や交通安全の推進	3.07	2.1%	12.5%	68.2%	7.0%	1.9%	5.6%	2.8%

市が進めている取組に対する満足度として最も高い評価を得たのは、「ごみの適正処理と資源リサイクルの推進」です。エコバッグの普及等、近年の環境問題への取組がより身近になったことに加えて、昨年度全戸配付された「ごみの出し方とリサイクル」のパンフレットにより、ごみの分別やリサイクルに対する意識醸成が進んでいることなどが高く評価されました。

2 番目に多く選ばれたのは、「心身の健康づくり」です。30 歳未満における満足（19.2%）、やや満足（19.2%）の割合が他の年代に比べて高いことから、コロナ禍においても運動や生活活動による健康の増進が図られたことが若い年代から高く評価されたと考えられます。

3 番目に多く選ばれたのは「文化財の保存」です。大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が令和 3 年度に世界文化遺産登録されたことにより、史跡や文化財に対する注目が集まり、高い評価となりました。

4 番目は、「衛生的で良好な生活環境の確保」です。上水道が安定的に供給されていることや下水道・浄化槽が普及しつつあり、水洗化の恩恵を受けられる機会が多くなったことが評価されていると考えられます。

5 番目は、「火災や救急に対する体制の強化」です。迅速に対応できる組織体制が整っており、コロナ禍においても消火活動や人命救助、救急出動等が平時と同様に行われていることが、評価されたと考えられます。

同じく 5 番目の「防犯や交通安全の推進」は、交通安全運動や交通安全指導、防犯パトロール等により交通安全意識や防犯意識の高揚が図られていることに加え、消費生活相談の対応が浸透してきたことが評価に繋がったものと考えられます。

(2) 今後のまちづくりに対する重要度

順位	取組方針	重要度 スコア	回答者の割合						
			重要 (5)	やや重要 (4)	普通 (3)	あまり重要 でない(2)	重要でない (1)	わから ない	無回答
1 位	適切な医療を受けられる体制の整備	4.49	58.2%	25.8%	9.5%	0.7%	0.2%	0.9%	4.6%
2 位	市民等の意欲のある就労・就農に対する支援	4.31	45.0%	31.1%	12.3%	1.4%	0.7%	4.6%	4.9%
3 位	地域産業の成長に対する支援	4.28	38.3%	36.9%	12.1%	0.7%	0.0%	6.5%	5.6%
4 位	地域ぐるみの子育て支援の充実	4.27	43.9%	28.1%	16.5%	0.9%	0.5%	4.9%	5.3%
5 位	子どもから青少年までの生きる力の育成	4.14	37.4%	31.6%	21.6%	0.9%	0.2%	3.2%	5.1%

今後のまちづくりに対する重要度として最も多くの方に選ばれたのは、「適切な医療を受けられる体制の整備」です。産科医を望む意見が多く、その他診療科の充実や毎日診察してもらえる医療体制づくりを望む意見も出されました。

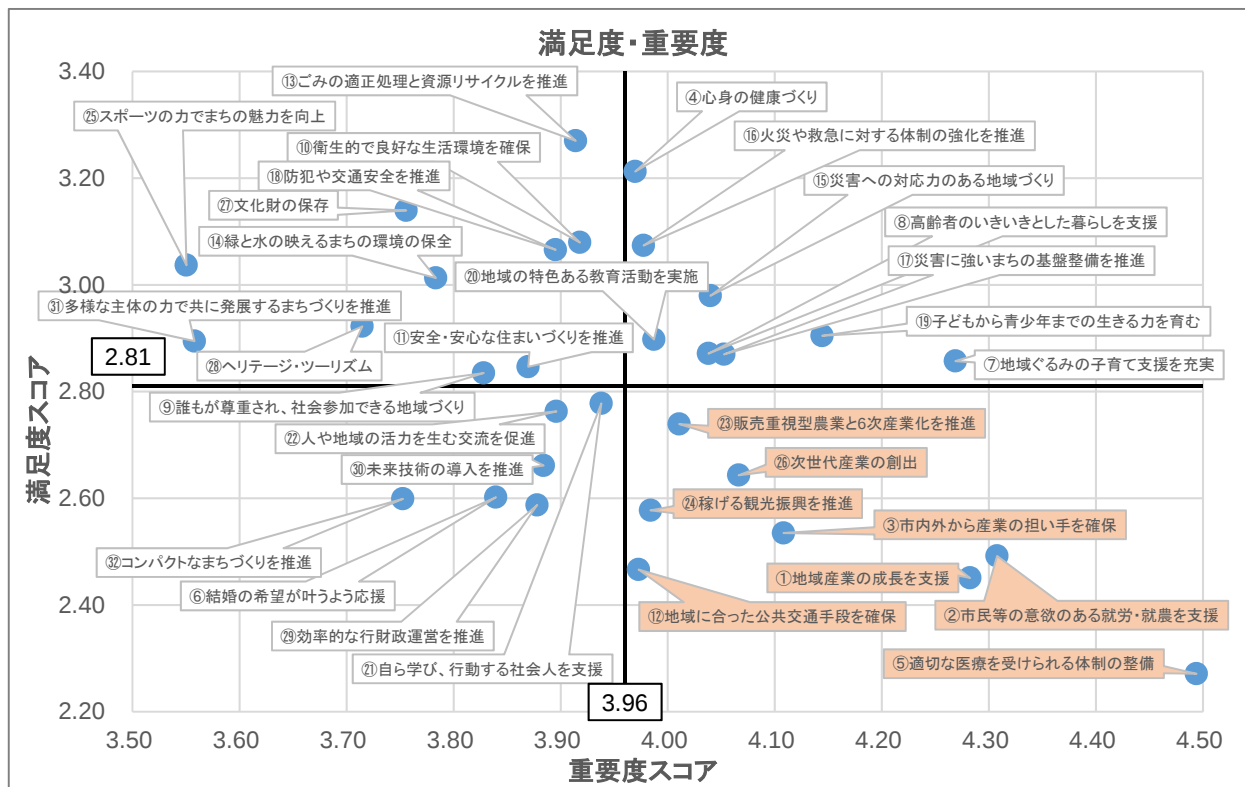
2 番目に多く選ばれたのは、「市民等の意欲のある就労・就農に対する支援」です。農業の後継者問題について若手就農者の確保と育成への支援が主な理由として挙げられています。

3 番目に多く選ばれたのは、「地域産業の成長に対する支援」です。若者が安定して働くための魅力ある企業を望む声のほか、農林業の高付加価値化による成長を期待する声が多くありました。

4 番目は「地域ぐるみの子育て支援の充実」で、マル福の所得制限緩和や高校生における各種無償化等、さらなる経済的支援を望む意見が数多く出されました。

5 番目は「子どもから青少年までの生きる力の育成」で、市の将来を担う若者に期待する声が数多くあり、若年世代の成長を後押しする取組への期待が高まっています。

(3) 満足度と重要度によるクロス集計分析



本市の32の取組方針における「満足度」と「重要度」の回答結果からそれぞれの平均を求め、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、散布図として表しています。散布図では、「満足度」と「重要度」の平均値から4つの領域に分けることができ、特に右下の領域は市民の満足度が低く、かつ今後のまちづくりにとって重要度が高いと考えている「重点化領域」となり、重点的な改善が求められる分野となります。

満足度が低く、重要度が高いのは、「①地域産業の成長を支援」、「②市民等の意欲のある就労・就農を支援」、「③市内外から産業の担い手を確保」、「⑤適切な医療を受けられる体制の整備」、「⑫地域に合った公共交通手段を確保」、「⑬販売重視型農業と6次産業化を推進」、「⑭稼げる観光振興を推進」、「⑯次世代産業の創出」の8項目でした。人口減少が進む中で、産業の高付加価値化や産業人材の確保は地域経済活性化の喫緊の課題となっており、本市の強みである豊富なエネルギー資源を利用する産業の育成や世界遺産を十分に生かした観光振興等によって市民の所得向上につながる取組が求められています。また、地域医療体制の整備については、引き続き医師確保対策が求められていると考えられます。

2 運動の実施状況について

週1回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合							▶詳細分析 P 26
基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7)
52.2%	52.8%	61.5%	—	—	—	—	65.0%

(第3次鹿角市スポーツ推進計画成果指標)

令和3年度の「週1回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合」は61.5%で、目標値の65.0%には3.5ポイント届きませんでした。昨年度(52.8%)より8.7ポイント増加しています。主に行っている運動等をみると、ウォーキング・ランニングや筋トレ・体操・ストレッチを行っている方の割合が全体の6割に及んでおり、コロナ禍により大勢が集まるイベントが中止される中、個人で実施できる運動などにシフトしていることが分かります。

年代別の実施状況を見ると、70歳以上が79.3%で最も多く、他の年代でも昨年度から概ね10ポイント以上増加しているものの、40代が46.0%で昨年度(54.6%)から8.6ポイント減少しており、働き盛りとなる世代の実施率が低くなっていると言えます。平成25年度から毎年50%を超えて推移してきた実施率ですが、全年代で達成できるように引き続き運動やスポーツ活動による健康づくりへの意識の醸成に努めていきます。

3 「テレフォン病院24」事業について

「テレフォン病院24」事業を知っていた人の割合					29.2%	▶詳細分析 P 28
知っていた人のうち「テレフォン病院24」事業を知った方法・手段						N=126
市役所窓口	広報かづの	市ホームページ	ポスター・チラシ	知り合いからの口コミ	医療機関	その他
2.4%	54.8%	6.3%	25.4%	6.3%	31.7%	13.5%

「テレフォン病院24」事業を知っていた人の割合は、29.2%となりました。また、知っていた人のうち、知った方法・手段として最も多かったのが広報かづので54.8%、次いで医療機関の31.7%、ポスター・チラシの25.4%となりました。

「テレフォン病院24」事業は、医師や看護師などの専門スタッフが24時間体制で電話相談に対応するサービスで、健康・育児・介護に関する不安や悩みの軽減・解消のほか、軽症患者の救急外来受診や救急搬送の抑制、医療費の削減も含めた地域医療の充実及び市民の健康づくりを総合的に支援することを目的として平成29年度から実施されています。これまでの事業実績として毎年延べ1,500件以上の相談が寄せられていることから、今後は事業の認知度が高まるよう広報かづのや医療機関、ポスター・チラシ等に加え、効果的な手法を検討し、周知していく必要があります。

4 芸術鑑賞について

1年間に芸術鑑賞に親しんだ割合

▶詳細分析 P 31

—	R2	R3	R4	R5	R6	R7	—
—	23.0%	26.5%	—	—	—	—	—

令和3年度の「1年間に芸術鑑賞に親しんだ割合」は26.5%で、昨年度より3.5ポイント増加しています。これは、コロナ禍前の水準（令和元年度39.0%）までは達していないものの、徐々に回復してきている傾向がうかがえます。また、鑑賞した方のうち、コモッセの文化ホールで鑑賞した方の割合は79.0%で、昨年度（69.3%）より9.7ポイント増加しています。

新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等の中止や延期が余儀なくされ、芸術鑑賞の機会が減少していますが、規模を縮小するなど新型コロナウイルス感染症の予防を図りながら文化芸術活動が行われています。今後も安心して鑑賞できる環境を整えながら、市民が様々な芸術に触れる機会の創出に引き続き努めていきます。

5 コモッセの利用状況について

1年間にコモッセを利用した割合

▶詳細分析 P 34

—	R2	R3	R4	R5	R6	R7	—
—	50.6%	54.7%	—	—	—	—	—

令和3年度の「1年間にコモッセを利用した割合」は54.7%となり、昨年度より4.1ポイント増加しています。年代別では、30代が69.2%で最も多く、次いで70歳以上が65.8%でどちらの年代も昨年度より大きく増加していますが、50代が40.3%と昨年度より12.9ポイント減少しており、全体の増加率が抑えられた結果となりました。

利用しない理由としては、「コロナ禍による自粛」のほか、「利用する機会がない」、「興味のあるイベントがない」、「用事がない」と答えた方が多く、その半数は事業の中止や規模縮小による影響が考えられます。今後もコモッセの利用方法についての情報発信に加えて、各種事業や館内の感染防止対策を周知し、多くの人に利用されるよう運営していく必要があります。

6 鹿角きりたんぼFMについて

週1回以上の頻度で鹿角きりたんぼFMを聴いている人の割合	39.7%	▶詳細分析 P 36
------------------------------	-------	------------

普段聴いている人がよく聴く時間帯						N=229
6時～9時	9時～11時	11時～13時	13時～17時	17時～19時	その他	
42.4%	40.2%	21.0%	29.3%	18.8%	7.0%	

「週1回以上の頻度で鹿角きりたんぼFMを聴いている人の割合」は、39.7%となりました。「月1回以上聴いている人の割合」になると53.2%まで増えますが、「ほぼ毎日聴いている人の割合」は21.6%と低く、また、およそ半数の方が「ほとんど聴いたことがない」と回答しています。

「普段聴いている人がよく聴く時間帯」としては、「6時～9時」が最も多く42.4%、次いで「9時～11時」が40.2%となっており、午前中に多く聴かれている傾向が見て取れます。

鹿角きりたんぼFMでは、行政情報をはじめとして、「市からのお知らせ」を毎日3回、8時台、11時台及び17時台に放送しています。ラジオは、パソコンやスマートフォン等の情報端末を持たない方や市ホームページからの情報を得ることが難しい方であっても聴くことが可能であり、また、家事の傍らや車の運転中でも聴くことができます。午前中に多く聴かれていることを踏まえ、「市からのお知らせ」の放送頻度を午前中に高くするなど、今後も効果的な行政情報発信の方法を検討していきます。

7 中心市街地について

中心市街地の環境に満足している市民の割合							▶詳細分析 P 39
基準値 (H30-R2 平均)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7)
53.6%	58.1%	55.9%	—	—	—	—	60.0%

(鹿角市中心市街地活性化プラン数値目標)

中心市街地の生活環境に満足していると回答した割合は55.9%で、目標値(60.0%)と比較し4.1ポイント低い結果となりました。また、前年(58.1%)比較では2.1ポイント減少したほか、「不満」、「やや不満」と回答した割合が増加しています。不満と感じる理由では、買い物環境の魅力が減少していることや賑わいが少ないことが最も多く挙げられています。

人口減少やネット通販の普及等に伴い商業機能は低下傾向にありますが、空き家への住み替え事業の推進などにより、まちなかへの緩やかな人口の集約を促進するとともに、起業・創業等の促進により商業、サービス業、情報関連産業等の集積を図るほか、中心市街地にある地域資源を活用した観光誘客などの取組を進めることで、市民の日常的な利用、いわゆる「まち使い」を高めながら中心市街地の満足度の向上を目指していきます。

8 新型コロナウイルス感染症の影響について

新型コロナウイルス感染症の影響があった人の割合 ※「影響があった」「少し影響があった」と回答した人の割合	70.8%	▶詳細分析 P 41
---	-------	------------

設問項目（影響内容）	影響順位	影響度	回答者数
7. 外出・交流機会の減少	1 位	74.4%	227 人
8. スポーツ・文化活動の減少	2 位	29.8%	91 人
2. 収入の減少	3 位	26.2%	80 人
3. 出費の増加	4 位	21.3%	65 人
4. 医療・受診機会の減少	5 位	15.7%	48 人
5. 学習機会の減少	6 位	10.5%	32 人
6. 子育て・介護の負担増	6 位	10.5%	32 人
1. 就職難、内定取消、失職	8 位	3.6%	11 人
9. その他	－	12.1%	37 人

設問項目（コロナ収束後の市内経済活性化策）	期待順位	期待度	回答者数
5. 商店や飲食店などの消費喚起	1 位	54.3%	234 人
4. 雇用対策、テレワークなど新しい働き方への支援	2 位	46.4%	200 人
6. 県外・海外からの観光客の回復に向けた取組	3 位	45.5%	196 人
3. 東京圏からの移住など、ひとの流れの創出	4 位	32.7%	141 人
1. デジタル技術により産業の生産性を上げる取組への支援	5 位	26.2%	113 人
7. スポーツ・文化活動への支援	6 位	23.0%	99 人
2. 脱炭素の推進（技術の開発や普及に対する支援など）	7 位	15.3%	66 人
8. その他	－	2.8%	12 人

感染症の影響を受けたと答えた方は、全体の 70.8%となりました。影響度合に差はあるものの、多くの方が何らかの影響を受けたと感じていることがうかがえます。性別や年齢、住んでいる地区によらず影響を受けていますが、職業別では自営業者の 8 割以上が収入の減少を選択しています。影響を受けた内容としては、「外出・交流機会の減少」（74.4%）が最も多く、感染拡大を防ぐために他者との接触機会が抑制されたことから、孤独感や寂しさ、ストレスを感じるといった精神的影響を挙げる方も見られました。

今後の市内経済活性化のために望まれる施策としては、「商店や飲食店などの消費喚起」（54.3%）が最も多く、次いで「雇用対策、テレワークなど新しい働き方への支援」（46.4%）、「県外・海外からの観光客の回復に向けた取組」（45.5%）と続いています。市ではこれまでも、プレミアム付商品券の発行や観光応援事業などの対策を実施していますが、市民ニーズを捉え、引き続き、これらの施策に力を入れて取り組んでいきます。

9 カーボンニュートラルについて

「鹿角市2030ゼロ・カーボンシティ宣言」を知っていた人の割合	32.3%	▶ 詳細分析 P 47
---------------------------------	-------	-------------

設問項目（脱炭素化へ期待する取組）	期待順位	期待度	回答者数
1. 太陽光・風力・水力などにより生み出された電気の利用	1 位	53.4%	230 人
8. リサイクルなど資源循環への取組	2 位	48.5%	209 人
5. 住宅・建築物などへの省エネの推進	3 位	34.6%	149 人
9. 間伐や植林の推進など林業への取組	4 位	33.6%	145 人
6. 電気自動車の普及に対する取組	5 位	24.6%	106 人
2. 太陽光発電などの自家消費型発電設備の導入	6 位	24.1%	104 人
4. 水素をエネルギーとして利活用する取組	7 位	16.5%	71 人
7. 公共交通の利用やカーシェアリングの推進などによる車両移動の低減	8 位	12.1%	52 人
3. 薪ストーブ、チップボイラーの導入	9 位	10.9%	47 人
10. その他	－	2.1%	9 人

「鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」を知っている割合は 32.3%で、認知度は全体の約 3 分の 1 となりました。2030 年までにカーボンニュートラルを達成するためには、全市を挙げた取組が求められ、これから更なる意識醸成を進めていくことが必要になります。再生可能エネルギーの発電容量や森林吸収量における本市のポテンシャルを考慮すると十分に達成可能な目標でありますので、脱炭素達成までの具体的な道筋を示し、市民の理解と協力を得られるよう周知を進めていきます。

カーボンニュートラルに期待する取組については、「太陽光・風力・水力などにより生み出された電気の利用」(53.4%) が最も多く、次いで「リサイクルなどの資源循環への取組」(48.5%) となりました。本市の特長である豊富な再生可能エネルギーの利活用が期待されているほか、自分の暮らしに身近なりサイクルの取組に関心が集まったものと考えられます。株式会社かつのパワーによる電力の地産地消を進めるとともに、市民に身近なところで効果が実感できる取組に繋げていきます。

10 まちの満足度について

▶詳細分析 P 50

第7次鹿角市総合計画前期基本計画における戦略目標について、各分野の取組がどのように評価されているかを把握することを目的としています。

(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合)

設問項目	R1(基準値)	R3	基準値との差
1. 市の産業(会社、店舗、農業など)は元気で活力があると思う	19.5%	13.4%	▲6.1
2. 心身ともに健康に暮らせていると思う	58.7%	49.0%	▲9.7
3. 生活環境が快適なまちだと思う	49.7%	46.9%	▲2.8
4. 安全で安心して暮らせるまちだと思う	77.6%	80.9%	+3.3
5. 市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思う	23.4%	22.5%	▲0.9
6. 文化遺産が豊富で誇れるまちだと思う	51.3%	61.5%	+10.2
7. 自分に必要な行政サービスが受けられていると思う	59.8%	55.5%	▲4.3

7つの設問のうち、5つの満足度が基準値より低下しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大や長期化が市民生活や地域経済にさまざまな影響を及ぼしているほか、市が実施している事業の縮小等が満足度を下げた要因と推察しています。

こうしたなか、「文化遺産が豊富で誇れるまちだと思う」が約10ポイント上昇しました。令和3年7月に、大湯環状列石が「北東北・北海道の縄文遺跡群」として世界遺産登録されたほか、大湯環状列石 JOMON 体感促進事業などヘリテージ・ツーリズムの推進が評価されたものと捉えています。

IV 設問別集計結果



1 市の政策について

設問2 あなたは、市が進めている取組にどれくらい満足していますか。また、今後のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えていますか。あなたの考えに一番近い番号を、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

◆市が進めている取組に対する満足度

第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた32の取組方針に関連する事柄について、5「満足」、4「やや満足」、3「普通」、2「やや不満」、1「不満」、0「わからない」の中から1つを選択する形式で「これまでの満足度」に関する状況を調査しています。

(1) 全体

〔単位：点〕

順位	取組方針	満足度 スコア	回答者の割合						
			満足 (5)	やや満足 (4)	普通 (3)	やや不満 (2)	不満 (1)	わから ない	無回答
1位	⑬ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	3.27	9.7%	19.3%	56.8%	6.0%	3.5%	2.3%	2.3%
2位	④心身の健康づくり	3.21	6.3%	19.3%	57.5%	7.4%	2.3%	4.2%	3.0%
3位	⑳文化財の保存	3.14	4.4%	19.3%	54.1%	8.6%	3.5%	7.7%	2.6%
4位	⑩衛生的で良好な生活環境の確保	3.08	8.6%	16.9%	49.7%	10.0%	8.4%	4.6%	1.9%
5位	⑯火災や救急に対する体制の強化	3.07	3.5%	13.2%	64.0%	7.4%	3.0%	6.7%	2.1%
〃	⑱防犯や交通安全の推進	3.07	2.1%	12.5%	68.2%	7.0%	1.9%	5.6%	2.8%
7位	㉕スポーツの力でまちの魅力を向上	3.04	3.2%	14.2%	56.8%	10.4%	3.5%	9.0%	2.8%
8位	⑭緑と水の映えるまちの環境の保全	3.01	3.0%	11.6%	62.4%	9.0%	3.7%	7.9%	2.3%
9位	⑮災害への対応力のある地域づくり	2.98	2.1%	12.3%	62.9%	10.4%	3.9%	5.6%	2.8%
10位	㉔ヘリテージ・ツーリズムの推進	2.92	2.1%	10.4%	55.5%	10.0%	5.6%	13.7%	2.8%
11位	⑲子どもから青少年までの生きる力を育む	2.90	1.2%	11.1%	56.1%	11.8%	4.9%	12.1%	2.8%
〃	㉒地域の特色ある教育活動を実施	2.90	1.2%	9.0%	58.0%	11.6%	4.2%	13.0%	3.0%
13位	⑳多様な主体の力で共に発展するまちづくりを推進	2.89	0.5%	8.1%	63.3%	9.7%	4.2%	11.1%	3.0%
14位	⑧高齢者のいきいきとした暮らしを支援	2.87	2.3%	12.8%	49.9%	14.6%	7.0%	10.2%	3.2%
〃	⑰災害に強いまちの基盤整備を推進	2.87	1.6%	9.3%	59.4%	13.5%	5.3%	8.4%	2.6%

順位	取組方針	満足度 スコア	回答者の割合						
			満足 (5)	やや満足 (4)	普通 (3)	やや不満 (2)	不満 (1)	わから ない	無回答
16 位	⑦地域ぐるみの子育て支援を充実	2.86	4.6%	11.4%	45.5%	13.2%	9.7%	12.8%	2.8%
17 位	⑪安全・安心な住まいづくりを推進	2.85	2.3%	9.5%	57.3%	15.1%	6.5%	6.7%	2.6%
18 位	⑨誰もが尊重され、社会参加できる地域づくり	2.83	0.9%	6.3%	54.3%	10.7%	5.1%	20.2%	2.6%
19 位	⑫自ら学び、行動する社会人を支援	2.78	0.5%	5.1%	58.9%	13.5%	5.6%	13.5%	3.0%
20 位	⑫人や地域の活力を生む交流を促進	2.76	0.7%	7.4%	51.7%	14.6%	6.7%	14.8%	3.9%
21 位	⑬販売重視型農業と 6 次産業化を推進	2.74	0.5%	8.4%	47.6%	17.2%	6.5%	15.8%	4.2%
22 位	⑭未来技術の導入を推進	2.66	0.5%	1.9%	50.1%	15.3%	6.3%	22.7%	3.2%
23 位	⑮次世代産業の創出	2.64	0.7%	5.1%	48.3%	15.8%	9.5%	17.4%	3.2%
24 位	⑥結婚の希望が叶うよう応援	2.60	1.2%	3.0%	42.5%	18.1%	8.1%	23.9%	3.2%
〃	⑬コンパクトなまちづくりを推進	2.60	0.5%	3.5%	52.2%	18.3%	10.0%	12.3%	3.2%
26 位	⑲効率的な行財政運営を推進	2.59	1.2%	3.5%	48.0%	17.4%	10.9%	16.5%	2.6%
27 位	⑭稼げる観光振興を推進	2.58	0.5%	5.3%	45.7%	20.6%	10.2%	14.2%	3.5%
28 位	③市内外から産業の担い手を確保	2.53	1.4%	5.8%	39.2%	21.1%	12.3%	16.9%	3.2%
29 位	②市民等の意欲のある就労・就農を支援	2.49	0.9%	6.3%	39.2%	25.8%	12.8%	11.6%	3.5%
30 位	⑫地域に合った公共交通手段を確保します	2.47	0.9%	5.1%	46.2%	25.8%	15.5%	4.4%	2.1%
31 位	①地域産業の成長を支援	2.45	0.5%	3.5%	40.8%	25.5%	12.1%	15.1%	2.6%
32 位	⑤適切な医療を受けられる体制を整備	2.27	1.6%	8.8%	29.0%	30.9%	25.5%	1.9%	2.3%

市が進めている取組に対する満足度



(2) 分析結果

市が進めている取組に対する満足度のスコアの最大値は 3.27、最小値は 2.27、平均は 2.81 となりました。

満足度で最も高い評価を得たのは、「ごみの適正処理と資源リサイクルの推進」で、満足度のスコアは 3.27 となりました。30 代と 70 歳以上で「満足」「やや満足」の割合が高くなり、高評価に繋がっています。エコバッグの普及等、近年の環境問題への取組がより身近になったことに加えて、昨年度全戸配付された「ごみの出し方とリサイクル」のパンフレットにより、ごみの分別やリサイクルに対する意識醸成が進んでいることなどが高く評価されたと捉えています。

2 番目に多く選ばれたのは、「心身の健康づくり」で、満足度のスコアは 3.21 となりました。30 歳未満における「満足」「やや満足」と回答した割合がそれぞれ 19.2%と、他の年代が数パーセントであるのに対して高いことから、コロナ禍においても運動や生活活動による健康の増進が図られたことが若い世代から高く評価されたと考えられます。

3 番目に多く選ばれたのは「文化財の保存」で、満足度のスコアは 3.14 となりました。30 歳未満の「満足」の割合が 15.4%と高くなっています。大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が令和 3 年度に世界文化遺産登録されたことにより、史跡や文化財に対する注目が集まり、高い評価となりました。

4 番目は、「衛生的で良好な生活環境の確保」で、満足度のスコアは 3.08 となりました。40 代の満足度が 2.95 と低いものの、他の年代は 3.08 を上回っており、全体的に評価されている取組と言えます。上水道が安定的に供給されていることや下水道や浄化槽が普及しつつあり、水洗化の恩恵を受けられる機会が多くなったことが評価されていると考えられます。

5 番目は、「火災や救急に対する体制の強化」と「防犯や交通安全の推進」で、満足度のスコアは 3.07 でした。

「火災や救急に対する体制の強化」については、迅速に対応できる組織体制が整っており、コロナ禍においても消火活動や人命救助、救急出動等が平常どおり行われていることが、評価されたと考えられます。

また、「防犯や交通安全の推進」については、交通安全運動や交通安全指導、防犯パトロール等により交通安全意識や防犯意識の高揚が図られていることに加え、消費生活相談の対応が浸透してきたことが評価に繋がったものと捉えています。

◆今後のまちづくりに対する重要度

第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた32の取組方針に関連する事柄について、5「重要」、4「やや重要」、3「普通」、2「あまり重要でない」、1「重要でない」、0「わからない」の中から1つを選択する形式で「これからの重要度」に関する状況を調査しています。

(1) 全体

〔単位：点〕

順位	取組方針	重要度 スコア	回答者の割合						
			重要 (5)	やや重要 (4)	普通 (3)	あまり重要 でない(2)	重要でない (1)	わから ない	無回答
1位	⑤適切な医療を受けられる体制の整備	4.49	58.2%	25.8%	9.5%	0.7%	0.2%	0.9%	4.6%
2位	②市民等の意欲のある就労・就農に対する支援	4.31	45.0%	31.1%	12.3%	1.4%	0.7%	4.6%	4.9%
3位	①地域産業の成長に対する支援	4.28	38.3%	36.9%	12.1%	0.7%	0.0%	6.5%	5.6%
4位	⑦地域ぐるみの子育て支援の充実	4.27	43.9%	28.1%	16.5%	0.9%	0.5%	4.9%	5.3%
5位	⑨子どもから青少年までの生きる力の育成	4.14	37.4%	31.6%	21.6%	0.9%	0.2%	3.2%	5.1%
6位	③市内外から産業の担い手を確保	4.11	32.5%	35.7%	17.2%	1.9%	0.7%	7.2%	4.9%
7位	⑥次世代産業の創出	4.07	30.9%	33.6%	21.6%	0.7%	0.7%	7.4%	5.1%
8位	⑦災害に強いまちの基盤整備を推進	4.05	31.3%	35.5%	25.1%	0.7%	0.0%	3.0%	4.4%
9位	⑮災害への対応力のある地域づくり	4.04	31.8%	33.9%	26.9%	0.2%	0.2%	2.6%	4.4%
〃	⑧高齢者のいきいきとした暮らしを支援	4.04	33.6%	31.8%	23.0%	1.9%	1.2%	3.2%	5.3%
11位	⑬販売重視型農業と6次産業化を推進	4.01	28.8%	33.2%	22.0%	1.9%	0.7%	7.9%	5.6%
12位	⑳地域の特色ある教育活動を実施	3.99	28.8%	32.9%	27.4%	0.2%	0.7%	4.6%	5.3%
13位	㉔稼げる観光振興を推進	3.98	29.0%	32.3%	22.3%	1.6%	1.6%	7.9%	5.3%
〃	⑯火災や救急に対する体制の強化	3.98	30.9%	30.6%	29.7%	0.9%	0.5%	3.7%	3.7%
15位	⑫地域に合った公共交通手段を確保します	3.97	29.0%	35.7%	27.1%	1.9%	0.2%	2.3%	3.7%
〃	④心身の健康づくり	3.97	28.3%	34.3%	27.6%	0.7%	0.7%	1.9%	6.5%
17位	㉒自ら学び、行動する社会人を支援	3.94	26.9%	32.5%	29.2%	0.2%	0.9%	4.6%	5.6%
18位	⑩衛生的で良好な生活環境の確保	3.92	28.5%	30.4%	32.9%	0.9%	0.5%	1.9%	4.9%
19位	⑬ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	3.91	26.9%	33.9%	32.7%	0.5%	0.5%	1.9%	3.7%
20位	㉒人や地域の活力を生む交流を促進	3.90	23.9%	33.6%	26.9%	1.6%	0.9%	7.2%	5.8%
〃	⑱防犯や交通安全の推進	3.90	27.1%	29.2%	36.4%	0.2%	0.0%	3.0%	3.9%

順位	取組方針	重要度 スコア	回答者の割合						
			重要 (5)	やや重要 (4)	普通 (3)	あまり重要 でない(2)	重要でない (1)	わから ない	無回答
22 位	③⑩未来技術の導入を推進	3.88	20.9%	35.3%	25.5%	1.9%	0.5%	10.4%	5.6%
〃	②⑨効率的な行財政運営を推進	3.88	24.1%	29.0%	30.6%	1.6%	0.2%	9.3%	5.1%
24 位	⑪安全・安心な住まいづくりを推進	3.87	24.1%	33.9%	32.9%	1.6%	0.0%	3.5%	3.9%
25 位	⑥結婚の希望が叶うよう応援	3.84	23.7%	28.5%	25.3%	3.0%	1.9%	11.4%	6.3%
26 位	⑨誰もが尊重され、社会参加できる地域づくり	3.83	20.9%	33.2%	31.8%	1.4%	0.5%	8.4%	3.9%
27 位	⑭緑と水の映えるまちの環境の保全	3.78	23.0%	28.8%	38.7%	0.7%	0.9%	3.9%	3.9%
28 位	②⑦文化財の保存	3.76	23.4%	29.0%	33.6%	3.2%	1.9%	4.9%	3.9%
29 位	③⑫コンパクトなまちづくりを推進	3.75	22.0%	29.7%	31.3%	2.8%	2.3%	7.4%	4.4%
30 位	②⑧ヘリテージ・ツーリズムの推進	3.71	22.0%	27.6%	33.2%	3.2%	2.6%	7.4%	3.9%
31 位	③⑪多様な主体の力で共に発展するまちづくりを推進	3.56	13.7%	30.9%	36.9%	4.4%	2.3%	7.2%	4.6%
32 位	②⑤スポーツの力でまちの魅力を向上	3.55	14.4%	28.3%	41.3%	3.9%	1.9%	5.8%	4.4%

今後のまちづくりに対する重要度



(2) 分析結果

今後のまちづくりに対する重要度に関するスコアの最大値は 4.49、最小値は 3.55、平均は 3.96 となりました。

今後のまちづくりに対する重要度が高いものとして最も多くの方に選ばれたのは、「適切な医療を受けられる体制の整備」で、重要度のスコアは 4.49 となりました。子育て世代である 30 歳未満から 40 代にかけての約 7 割が「重要」を選択しています。産科医を望む意見が多く、その他診療科の充実や毎日診察してもらえる医療体制づくりを望む意見も出されました。

2 番目に多く選ばれたのは、「市民等の意欲のある就労・就農に対する支援」で、重要度のスコアは 4.31 となりました。各年代における「重要」を選択した割合について、30 代が 59.0%、30 歳未満が 53.8%と若い年代の関心が高いことがうかがえます。農業の後継者問題に対し、若手就農者の確保と育成への支援が主な理由として挙げられています。

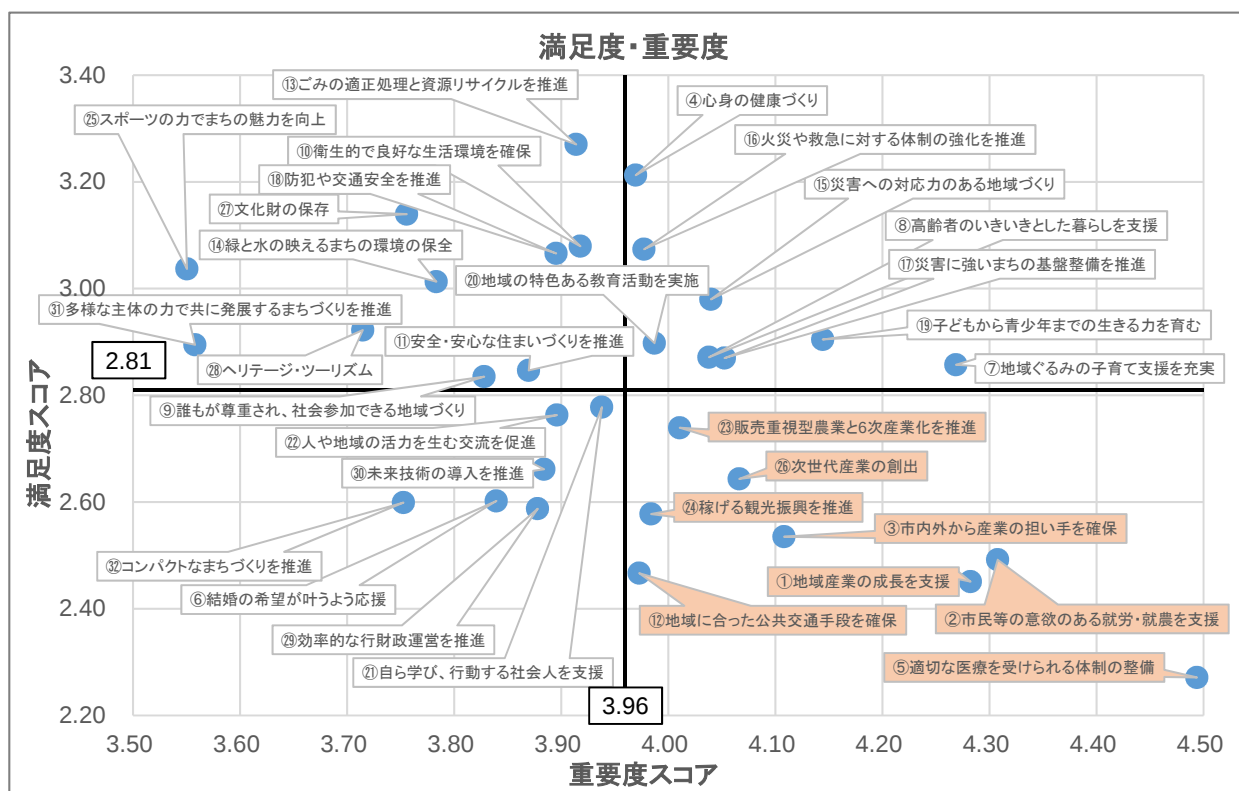
3 番目に多く選ばれたのは、「地域産業の成長に対する支援」で、重要度のスコアは 4.28 となりました。60 代の 46.9%が「重要」を選んでおり、長年にわたり地域産業を支えた年代が新たな構造での産業の成長を期待していると考えられます。若者が安定して働くための魅力ある企業を望む声のほか、農林業の高付加価値化による成長を期待する声が多く見られました。

4 番目は「地域ぐるみの子育て支援の充実」で、重要度のスコアは 4.27 でした。子育て世代である 30 歳未満から 40 代にかけて、5 割以上の方が「重要」と答えています。マル福の所得制限緩和や高校生における各種無償化等、さらなる経済的支援を望む意見が数多く出されました。

5 番目は「子どもから青少年までの生きる力の育成」で、重要度のスコアは 4.14 でした。50 代を除く全ての年代の約 4 割が重要と捉えており、市の将来を担う若者に期待する声が数多くあったほか、若年世代の成長を後押しする取組への期待が高まっています。

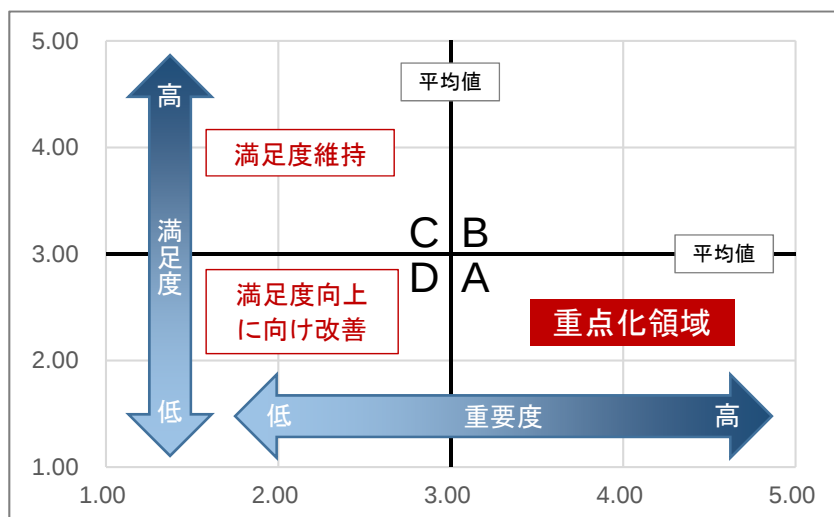
◆「満足度」と「重要度」によるクロス集計分析

(1) 満足度・重要度を表す散布図



(2) 満足度・重要度を表す散布図の見方

本市の32の取組方針における「満足度」と「重要度」の回答結果からそれぞれの平均を求め、縦軸に満足度、横軸に重要度を取り、散布図として表しています。散布図では、「満足度」と「重要度」の平均値から4つの領域に分けることができ、特にA領域は市民の満足度が低く、かつ今後のまちづくりにとって重要度が高いと考えている「重点化領域」となり、重点的な改善が求められる分野となります。



(3) 分析結果

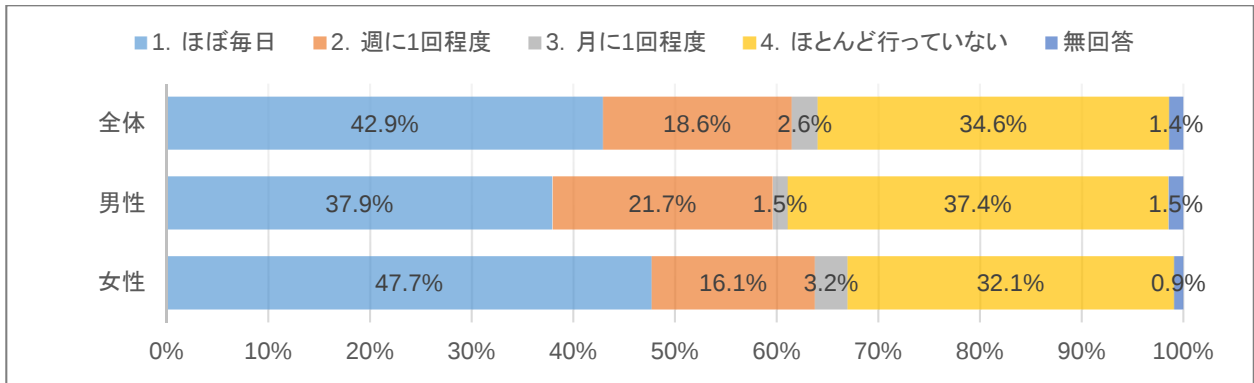
満足度、重要度が共に高いB領域（グラフ右上側）は、「④心身の健康づくり」、「⑦地域ぐるみの子育て支援を充実」、「⑧高齢者のいきいきとした暮らしを支援」、「⑮災害への対応力のある地域づくり」、「⑯火災や救急に対する体制の強化を推進」、「⑰災害に強いまちの基盤整備を推進」、「⑲子どもから青少年までの生きる力を育む」、「⑳地域の特色ある教育活動を実施」であり、相対的に重要度が高いことから、さらなる充実を図るべき施策となります。

一方、満足度が低く、重要度が高いA領域（グラフ右下側）は、「①地域産業の成長を支援」、「②市民等の意欲のある就労・就農を支援」、「③市内外から産業の担い手を確保」、「⑤適切な医療を受けられる体制の整備」、「⑫地域に合った公共交通手段を確保」、「⑲販売重視型農業と6次産業化を推進」、「⑳稼げる観光振興を推進」、「㉑次世代産業の創出」の8項目でした。市民の不満の要因を把握し、不満の解消に向けて、重点的に改善を図っていきます。

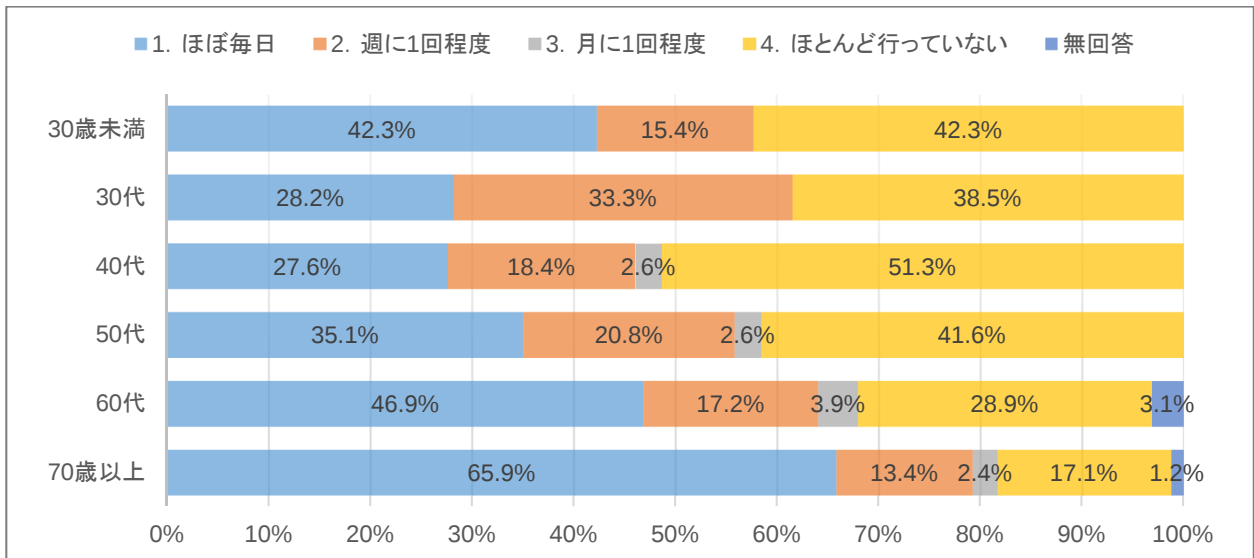
2 運動の実施状況について

設問3 あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。また、1回あたりの運動や活動の時間はどのくらいですか。

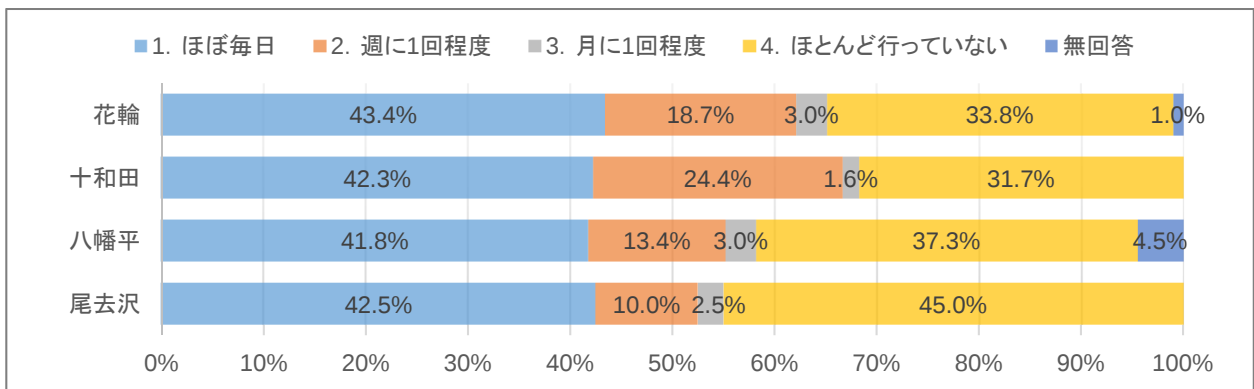
(1) 全体／男女別



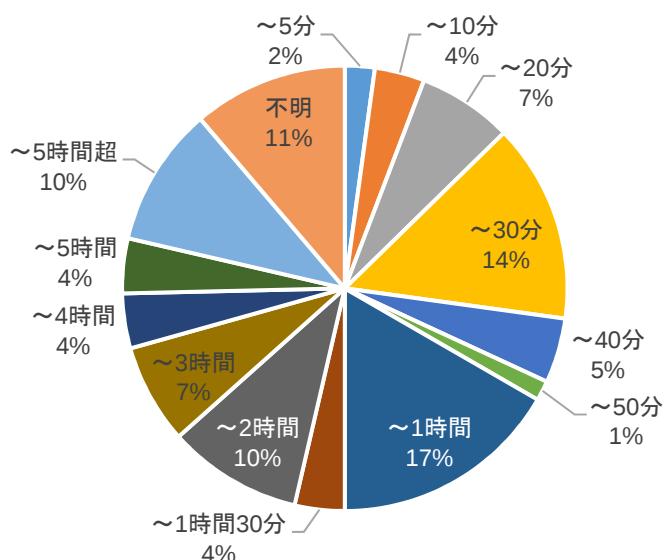
(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 1回あたりの運動時間 (N=276)



(5) 分析結果

週1回以上、運動や生活活動を実施している市民の割合は、61.5%となり、前年度（52.8%）から8.7ポイント高くなりました。

また、年代別に見ると、70歳以上が79.3%で最も多く、次いで60代の64.1%、30代の61.5%、30歳未満の57.7%と続いており、60代以上と30代が運動をしている傾向が見て取れます。

ほぼ毎日運動をしている人の割合は、地区での差はほとんど見られず、どの地区でも4割の方が毎日運動をしています。

1回あたりの運動時間は、1時間程度が17%で最も多く、次いで30分程度が14%、2時間程度と5時間超が10%で続いています。1回あたり2時間以下の運動をしていると答えた方の多くは、ウォーキングやランニング、筋トレや体操・ストレッチ等を主に行っており、5時間超と答えた方の多くは農作業や除雪を行っているとは回答しています。

週1回以上、運動やスポーツを実施している市民の割合は、継続して50%を超えて推移していますが、コロナ禍により家族や個人で実施できる運動を行うなど、運動形態が変わってきていると考えられます。働き盛りと言われる40代の運動実施率が依然として低いことから、チャレンジデーやタートルマラソン大会など、これまで実施している誰もが参加できるスポーツイベントの開催に加え、個人的に取り組める運動等を紹介することで、運動による健康づくりへの意識の醸成を図る必要があります。

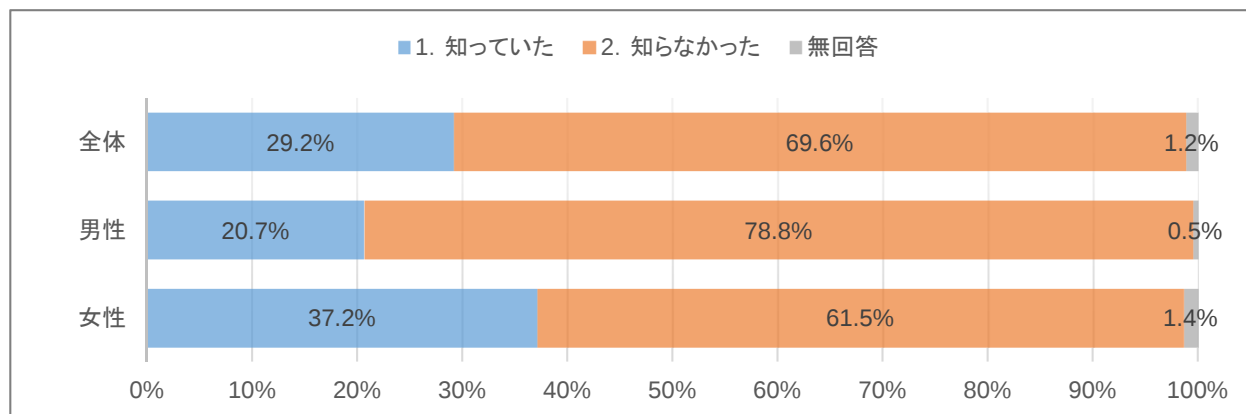
〔参考〕第3次鹿角市スポーツ推進計画成果指標と実績値

週1回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合							
基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7)
52.2%	52.8%	61.5%	—	—	—	—	65.0%

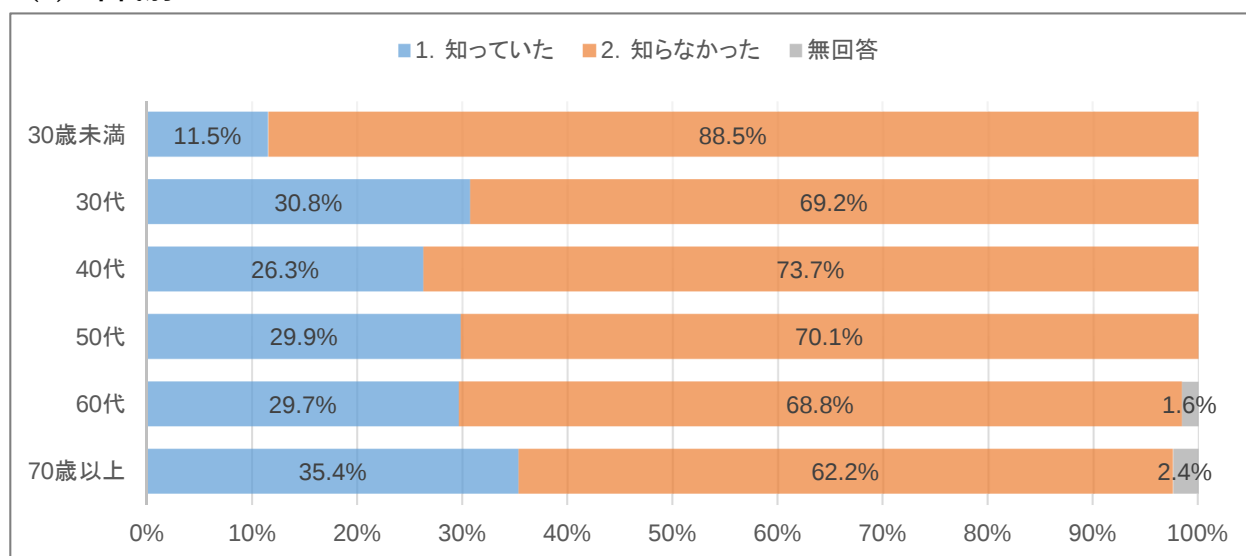
3 「テレフォン病院24」事業について

設問4 あなたは、「テレフォン病院24」事業を知っていましたか。また、何で知りましたか。

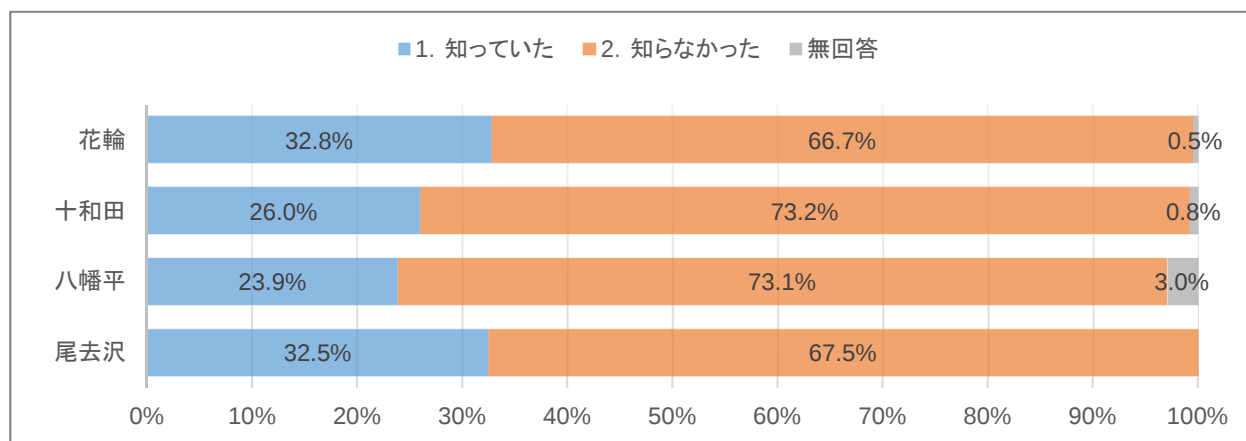
(1) 全体／男女別



(2) 年代別

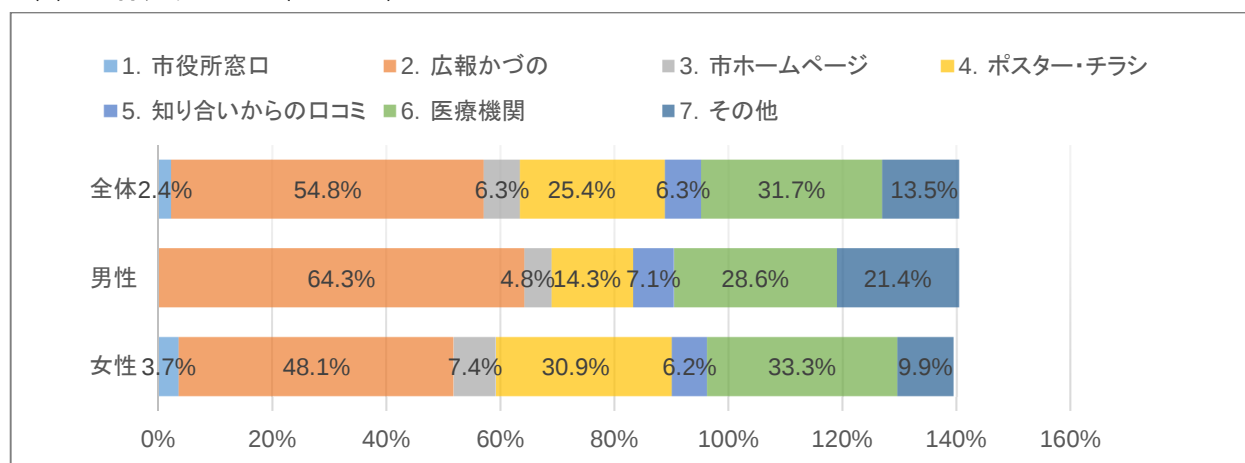


(3) 地区別

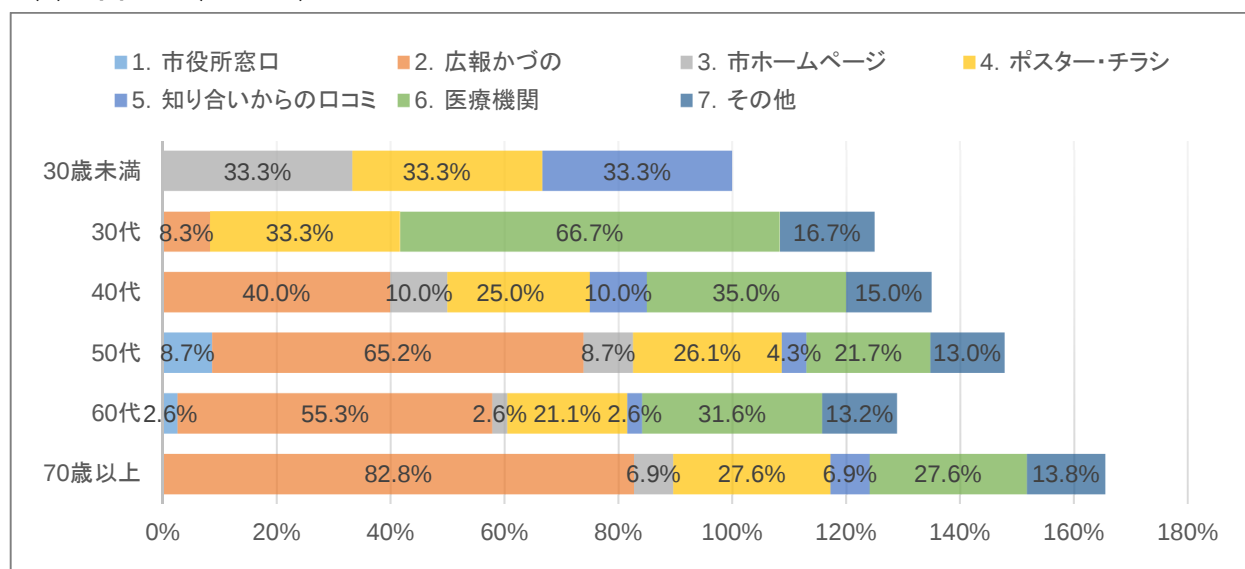


◆「テレフォン病院24」事業を知った方法・手段（すべて回答）

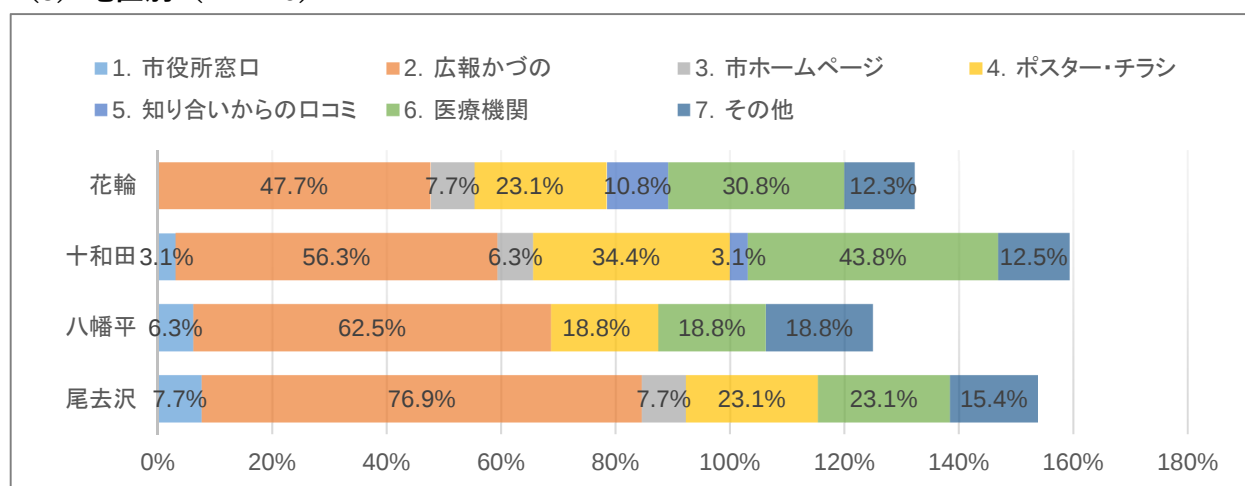
(1) 全体／男女別（N=126）



(2) 年代別（N=126）



(3) 地区別（N=126）



(4) 分析結果

「テレフォン病院 24」事業を知っていた人の割合は 29.2%で、3 割を切る低い水準となりました。

男女別では、女性が 37.2%となり、男性（20.7%）より 16.5 ポイント高くなっており、健康・育児・介護に対して、女性の関心が高いことがうかがえます。

また、年代別に見ると、30 歳未満が 11.5%と他の年代よりかなり低いものの、30 代から 70 歳以上までの割合には大きな差がないことから、年代別で認知度に差が生まれているわけではないと言えます。

地区別では、最も低い八幡平地区（23.9%）と最も高い花輪地区（32.8%）の差が 8.9 ポイントとなりました。

「テレフォン病院 24」事業を知った方法、手段として、最も多かったのは広報かづので全体の 54.8%、次いで医療機関の 31.7%、ポスター・チラシの 25.4%と続きます。

事業を知った方法・手段に対する男女別の割合では、1 位から 3 位までの順位は変わらないものの、男性は 1 位の広報かづの（64.3%）が 2 位の医療機関（28.6%）を大きく上回っているのに対し、女性は広報かづの（48.1%）と医療機関（33.3%）、ポスター・チラシ（30.9%）の差が小さく、男性は知識として事業の情報を把握していて、女性は体験から事業の情報を把握している傾向がうかがえます。

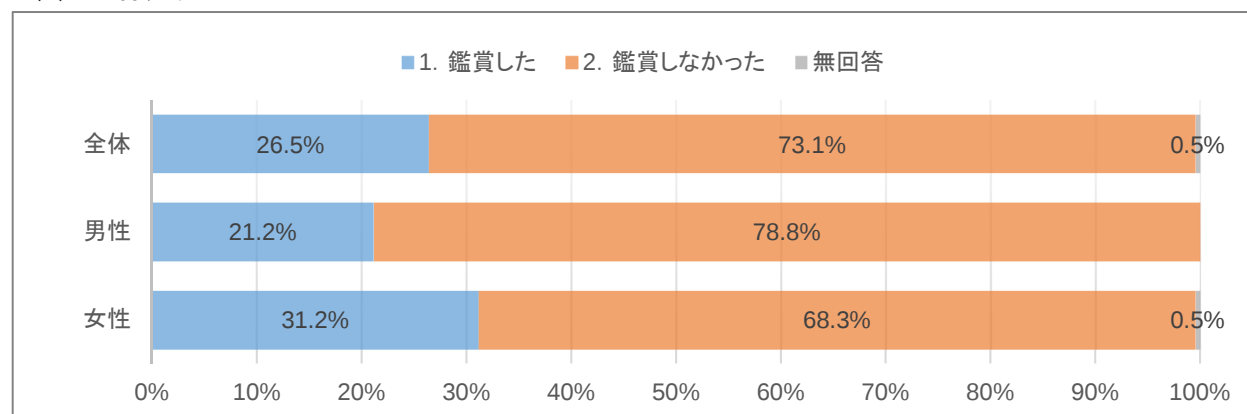
事業を知った方法・手段に対する地区別の割合では、医療機関の割合が大きく異なっており、地区内に医療機関があるかどうかで知るきっかけに差が出たと考えられます。

その他を選んだ方には、ラジオ（きりたんぽ FM）で知ったという意見が多くあったため、「テレフォン病院 24」事業については、広報かづのや医療機関、ポスター・チラシ及びきりたんぽ FM による周知を継続しつつ、最も認知度の低い若年層に向け、より効果的な手法で事業制度やメリットをアピールしていく必要があります。

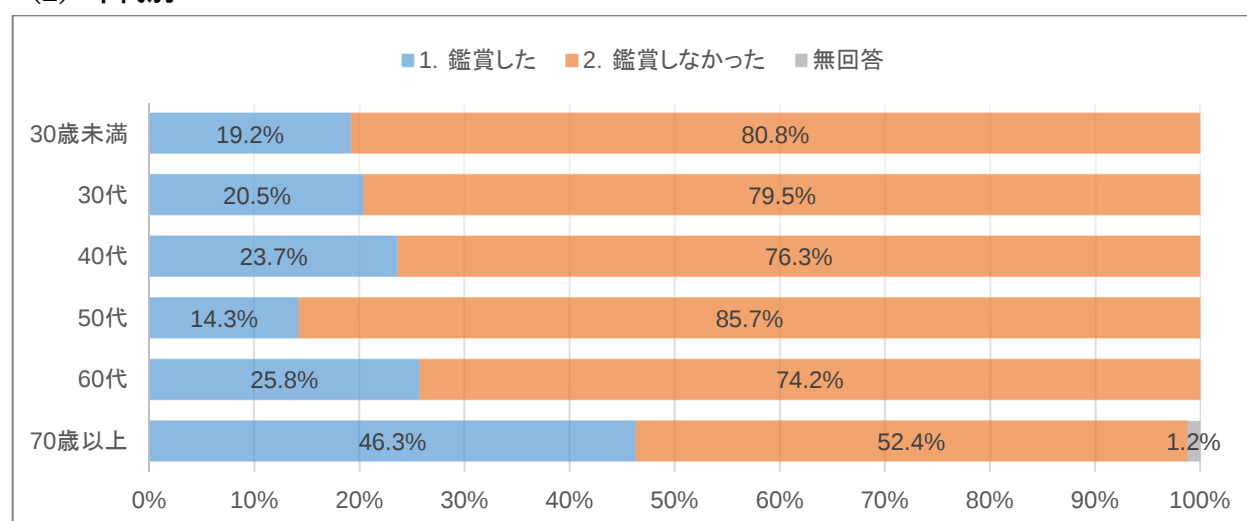
4 芸術鑑賞について

設問5 あなたは、昨年1年間に市内外で芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等全般）をしましたか。

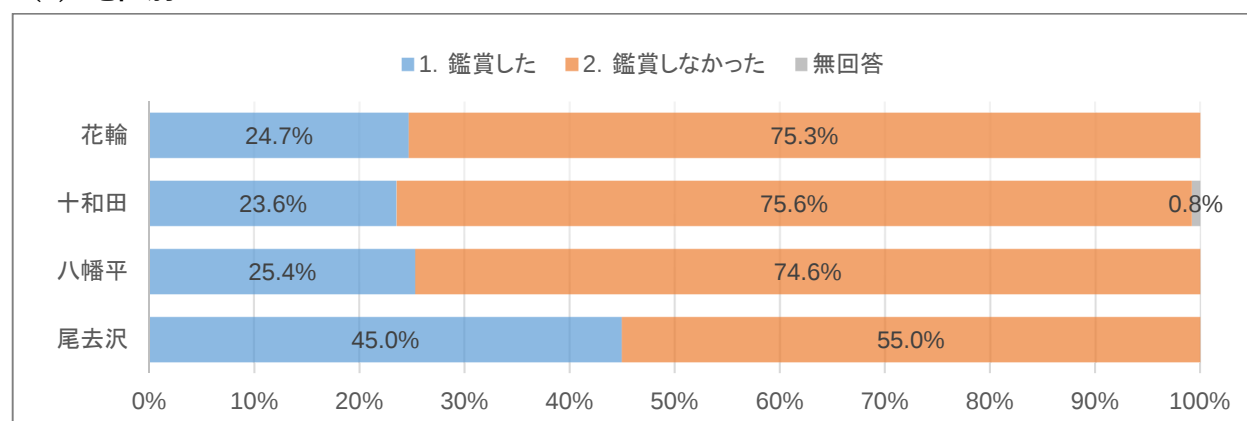
(1) 全体／男女別



(2) 年代別

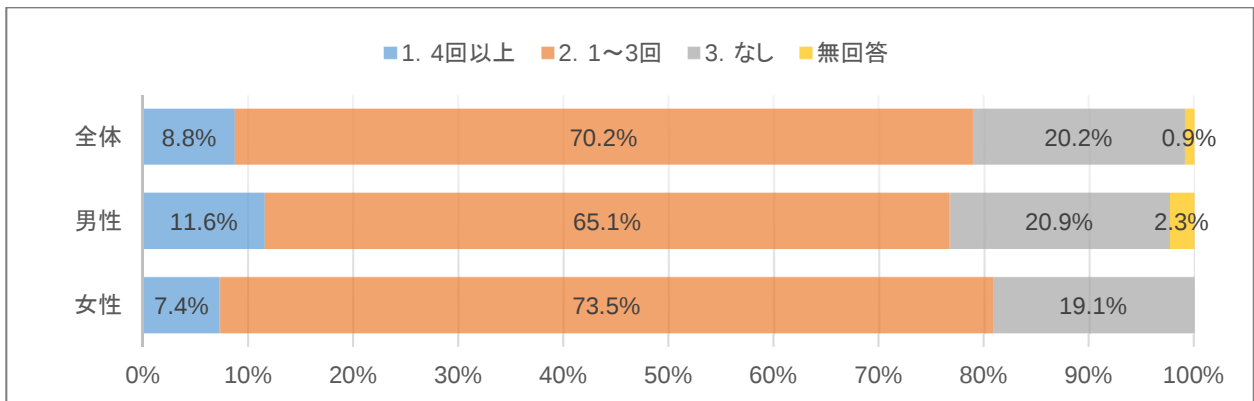


(3) 地区別

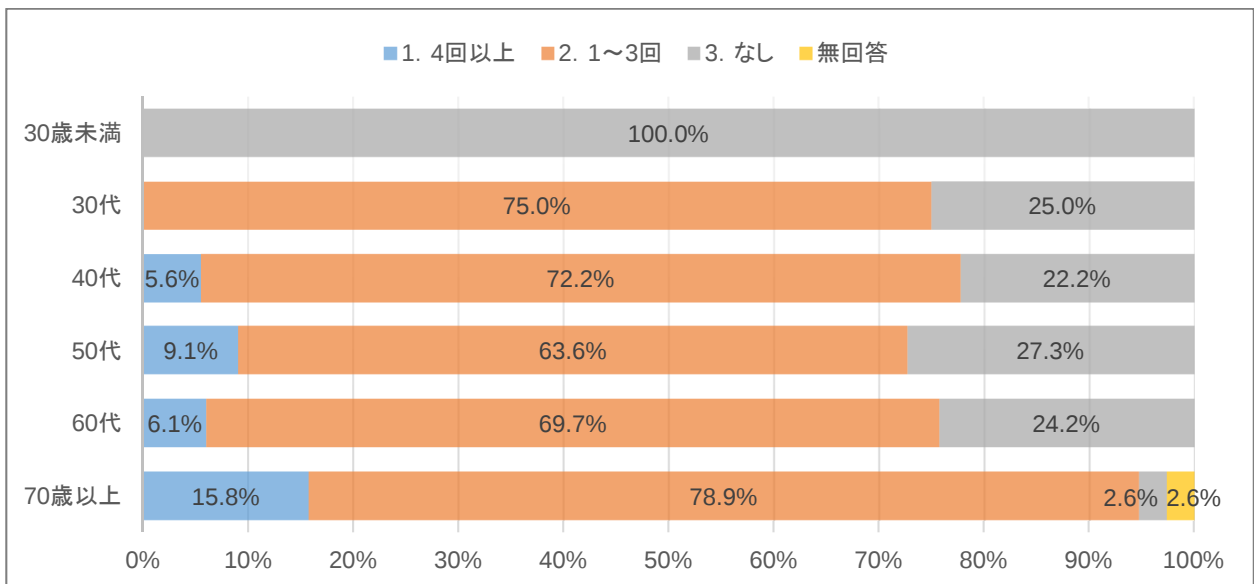


◆芸術鑑賞した人のうち、コモッセで何回鑑賞したか。

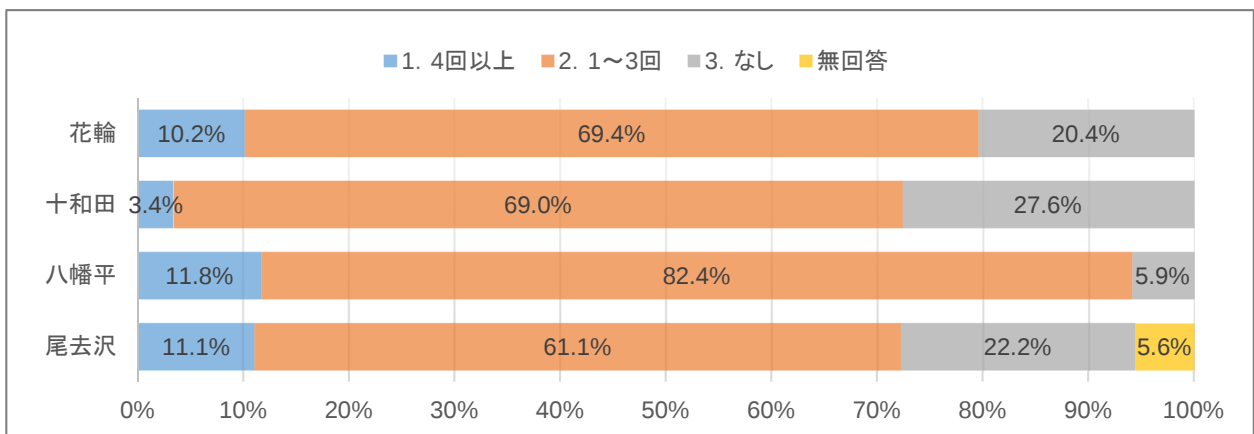
(1) 全体／男女別 (N=114)



(2) 年代別 (N=114)



(3) 地区別 (N=114)



(4) 分析結果

芸術鑑賞をした人は全体で 26.5% となり、昨年より 3.5 ポイント増加しました。男女別では、女性が 31.2% で昨年より 3.9 ポイント、男性は 21.2% で 1.4 ポイント増加しています。

年代別では、50 代は 14.3% で 4.7 ポイント減少しましたが、全体的には増加傾向にあり、その中で 70 代が 46.3% で最も多く、昨年より 12.6 ポイント増加しました。

地区別では、花輪地区が 24.7% で 4.0 ポイント減少したものの、他の地区では増加しており、中でも尾去沢地区では 45.0% で昨年（25.6%）から 19.4 ポイント増加しています。

芸術鑑賞の機会は、コロナ禍という社会的状況により制限されています。コロナ禍前（令和元年）の芸術鑑賞をした人の割合が全体で 39.0% であったことを踏まえると、まだコロナ禍前の水準に戻っていないと言えますが、ほとんどの項目で昨年より増加しており、回復傾向にあることがうかがえます。

また、芸術鑑賞した人のうち、コモッセで鑑賞した人は 79.0% となり、昨年（69.3%）より 9.7 ポイント増加しました。男女別では、女性が昨年より 7.1 ポイント、男性は 14.5 ポイント増加しています。

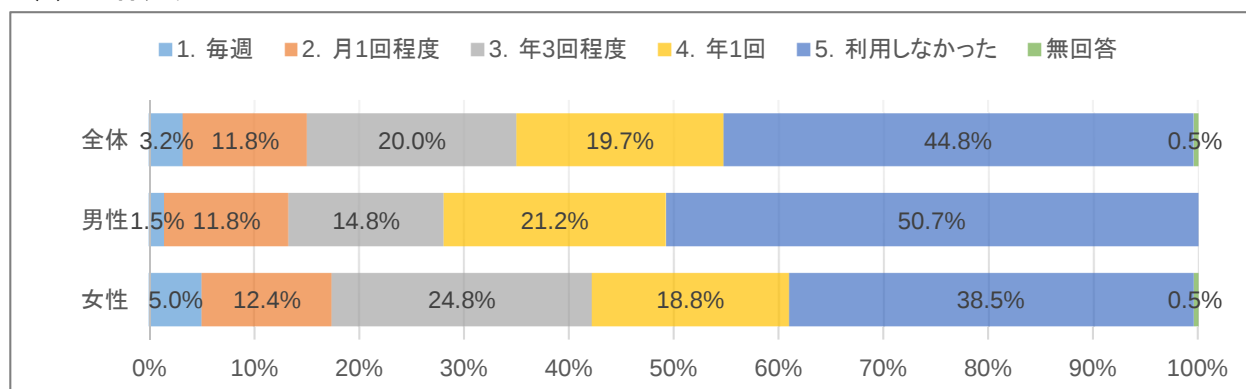
年代別では、30 歳未満を除いた各年代で 70% 以上となり、地区別でも全ての地区で 70% 以上となったことから、コモッセでの芸術鑑賞が市民に根付いてきていることがうかがえます。

コモッセで鑑賞した人の割合が増加した主な要因としては、コロナ禍における行動制限により、市外での鑑賞が控えられたことや、コロナ禍という制約がある中でも、可能な範囲で様々なジャンルの公演を行ったことで、幅広い世代からの鑑賞に繋がったものと捉えています。

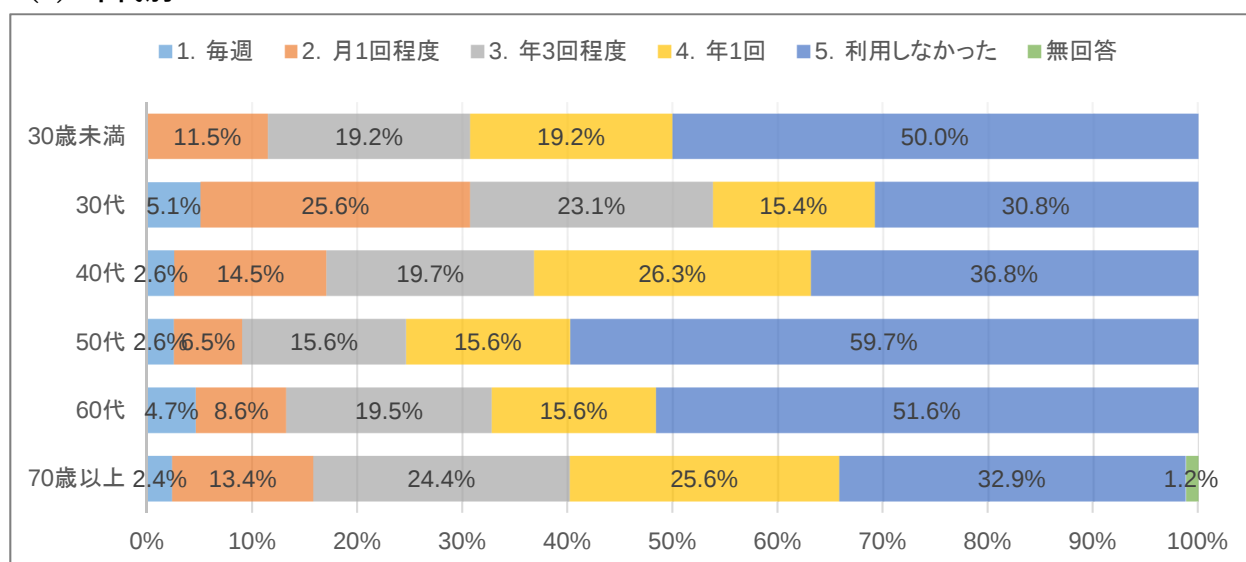
5 コモッセの利用状況について

設問6 あなたは、昨年1年間にコモッセをどれくらい利用しましたか。

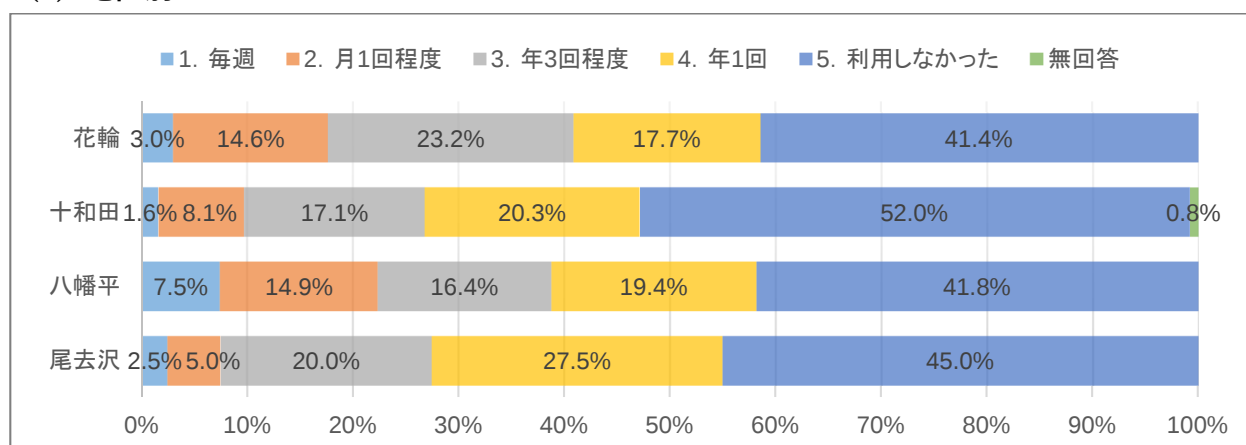
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

コモッセを利用した人は全体で 54.7%となり、昨年（50.6%）より 4.1 ポイント増加しています。男女別では、これまでと同様に女性が男性を上回っており、女性が 61.0%で 6.5 ポイント増加し、男性が 49.3%で 2.6 ポイント増加しました。利用回数では、女性は年 3 回程度が多く、男性は年 1 回が多いことから、女性の方が定期的に利用していることがうかがえます。

年代別では、30 代の利用が 69.2%で最も多く、次いで 70 歳以上の 65.8%となり、反対に 50 代の利用が 40.3%で昨年（53.2%）より 12.9 ポイント減少しました。

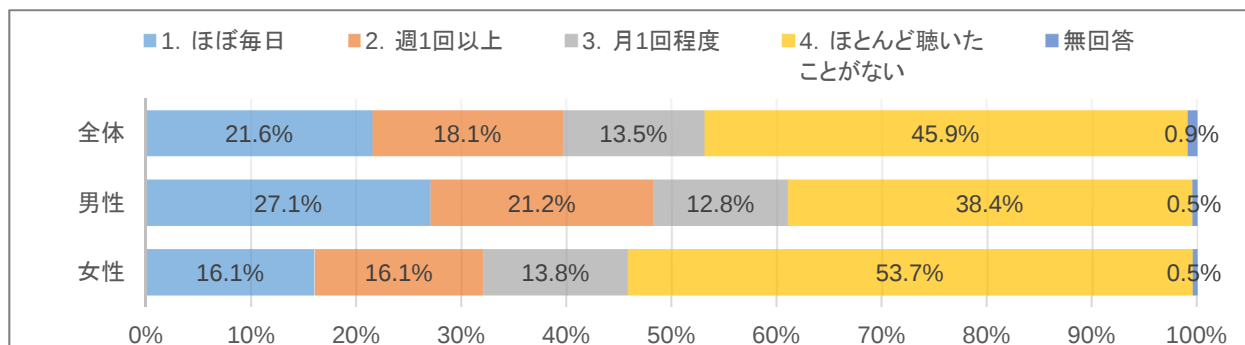
地区別では、これまでと同様に十和田地区の方の利用が最も少ないですが、昨年（38.0%）より 9.1 ポイント増加しており、利用率の向上が見られます。また、その他の地区については 50%台にとどまっており、コロナ禍前の水準である 60%台には戻っていないことがうかがえます。

「利用しなかった」と答えた方の理由としては、「コロナ禍による自粛」「興味のあるイベントがない」等の声が多く挙げられており、その多くはコロナ禍における事業の中止や規模の縮小による影響であると考えられるため、感染症の沈静化が期待されます。一方で、「用事がない」といった声も多いことから、事業内容や情報発信の仕方を工夫しながら、多くの人に利用されるような取組が必要です。

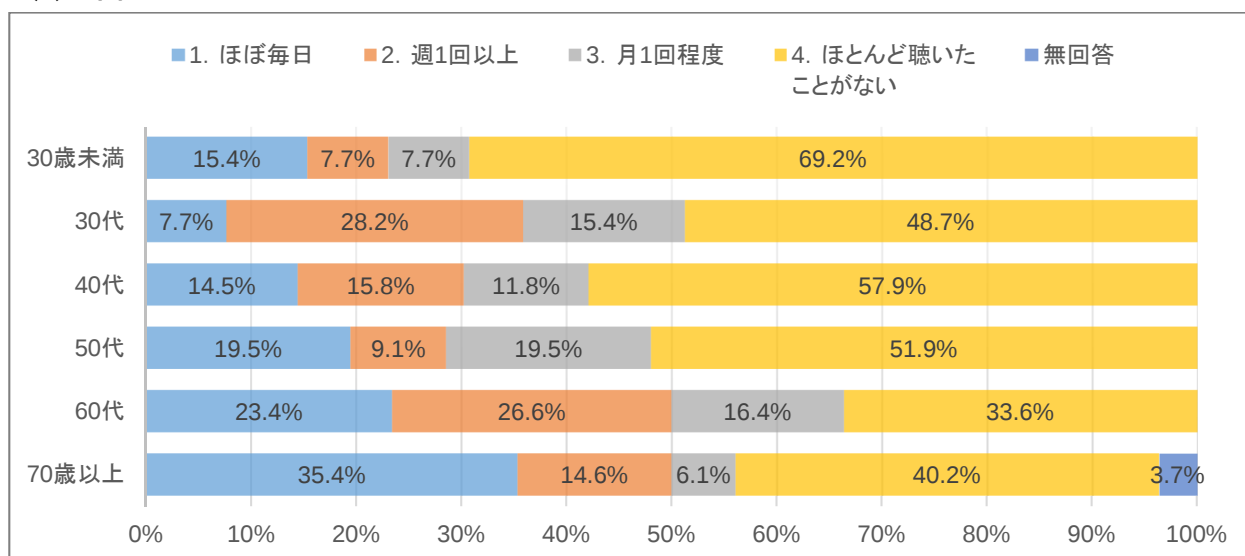
6 鹿角きりたんぽFMについて

設問7 あなたは、きりたんぽFMをどの程度聴いていますか。また、よく聴く時間帯はありますか。

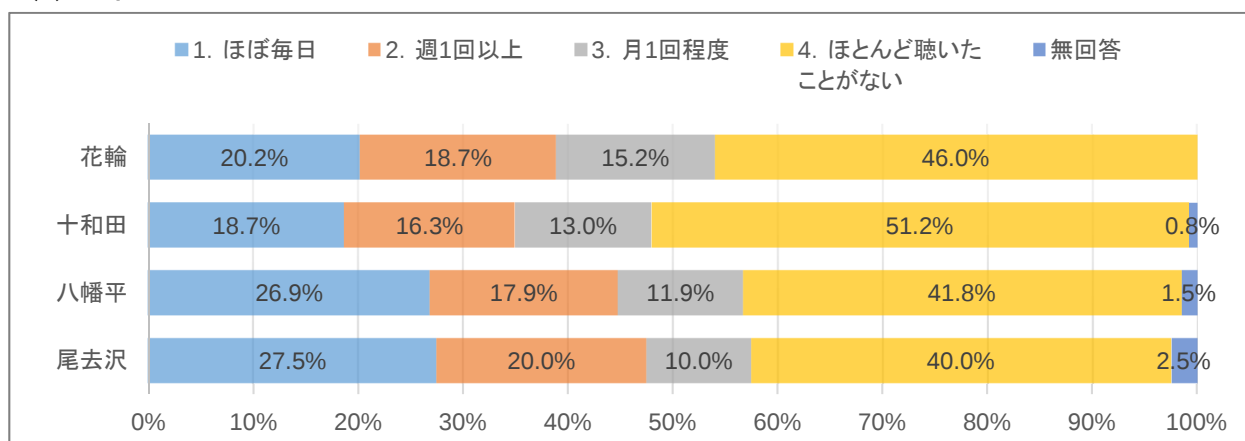
(1) 全体／男女別



(2) 年代別

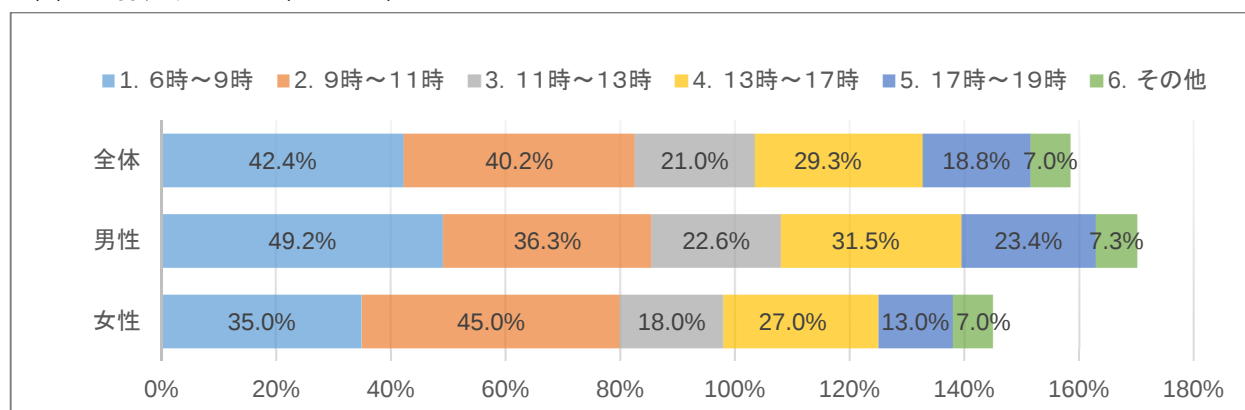


(3) 地区別

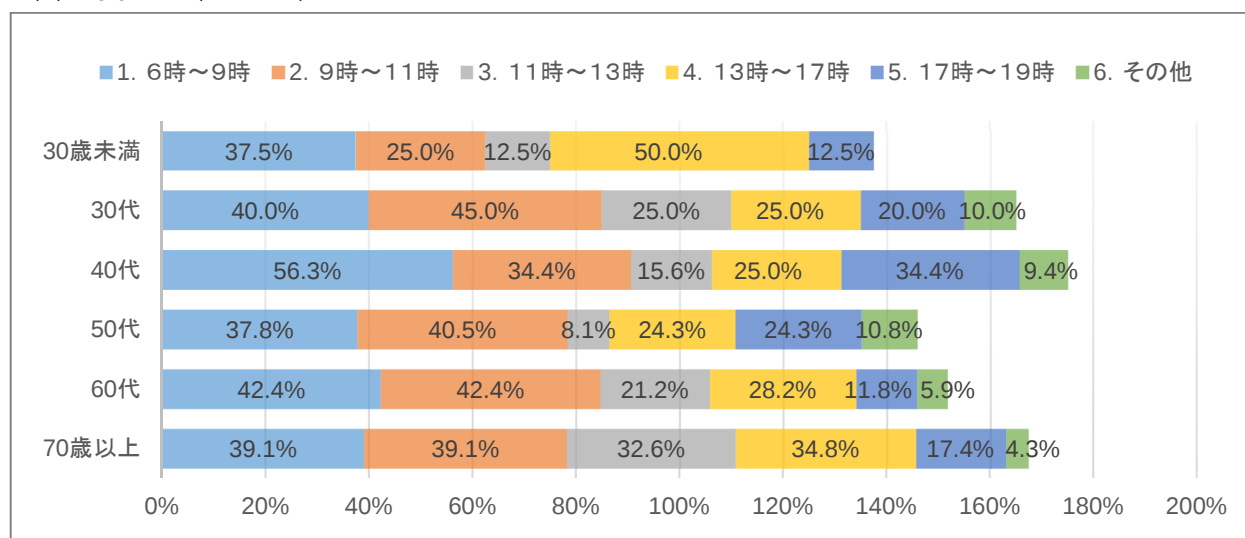


◆きりたんぽFMをよく聴く時間帯（すべて回答）

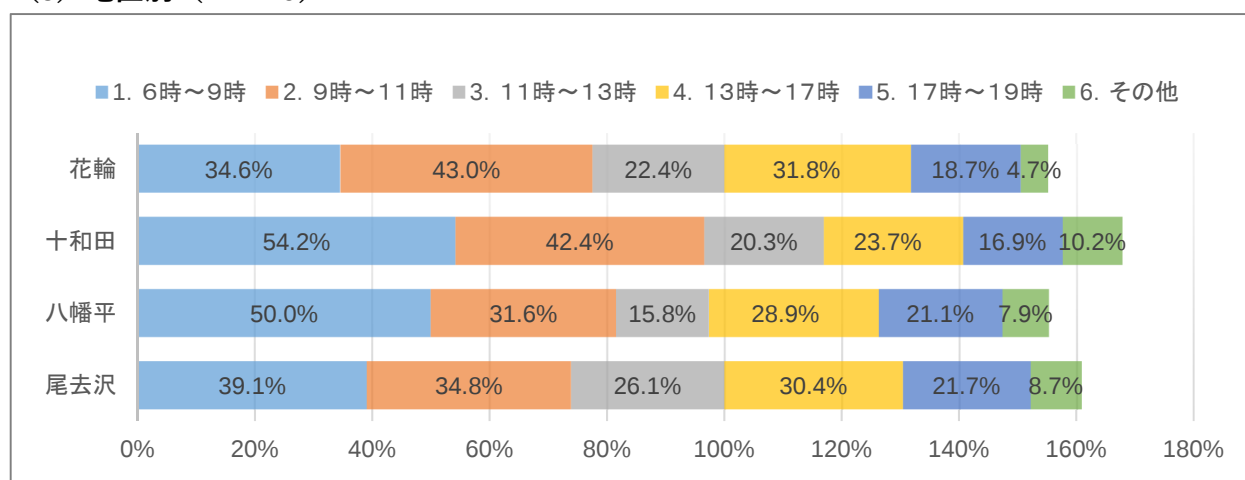
(1) 全体／男女別（N=229）



(2) 年代別（N=229）



(3) 地区別（N=229）



(4) 分析結果

週1回以上、鹿角きりたんぼFMを聴いている人の割合は39.7%となっており、男女別では、男性が48.3%、女性が32.2%と、男性が比較的多く聴いていることが分かります。

年代別では、週1回以上聴くと回答した人の割合は、60代と70歳以上の方が50.0%と最も高く、他の年代では2割から3割程にとどまっています。

地区別では、尾去沢地区が47.5%で最も高く、次いで八幡平地区の44.8%であり、十和田地区が35.0%で最も低くなっています。

きりたんぼFMをよく聴く時間帯については、「6時～9時」が42.4%で最も多く、引き続き11時までは聴かれています。昼の時間と夕方以降は少ない傾向にあります。「6時～9時」の時間帯は男性が多く、「9時～11時」の時間帯は女性が多く聴いていると回答しています。

年代別では、40代の方は「6時～9時」の時間帯が多く、通勤時に聴いていると考えられます。一方で、30歳未満は「13時～17時」の時間が最も多いことから、就業時間中や車での移動中、あるいは退勤時に聴いているものと推測されます。

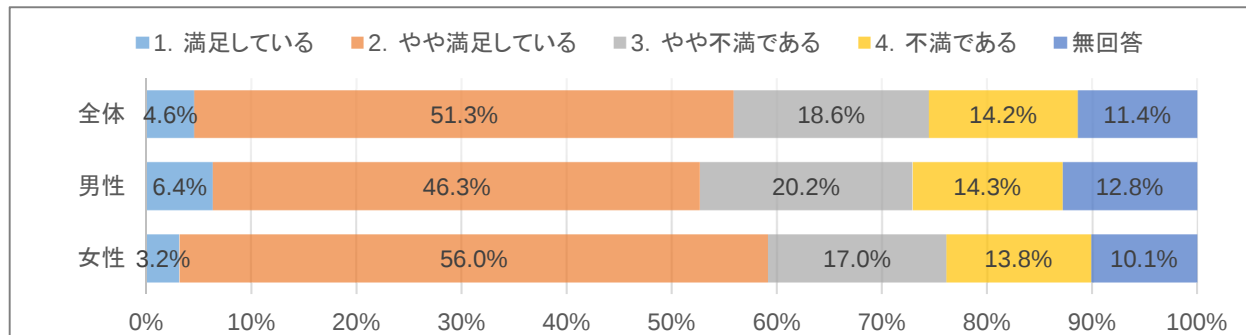
地区別では、花輪地区は「9時～11時」の時間帯が多く、それ以外の地区は「6時～9時」の時間帯が多くなっていることから、朝の通勤等の移動時間に聴いているものと推測されます。

鹿角きりたんぼFMでは、行政情報をはじめとして、「市からのお知らせ」を毎日3回、8時台、11時台、17時台に放送しています。しかし、今回の結果では、11時台と17時台の効果が薄いことが判明したため、今後は午前中に多く聴かれていることを踏まえ、「市からのお知らせ」の放送頻度を午前中に高くする等、効果的な情報発信の方法を検討していきます。

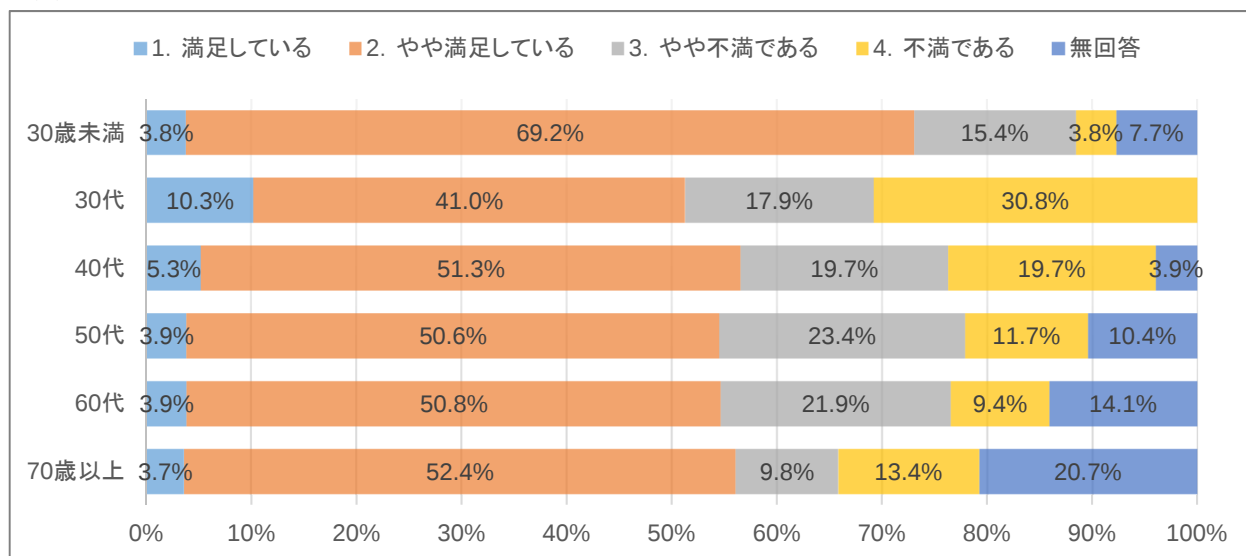
7 中心市街地について

設問 8 あなたは、中心市街地の生活環境（住みごごちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

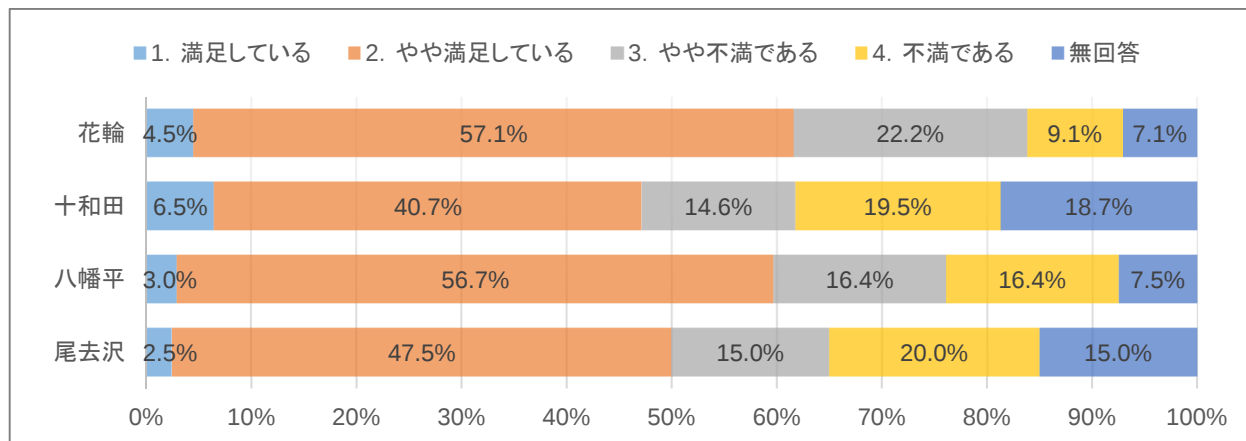
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

中心市街地の生活環境について、「満足」「やや満足」と回答した割合は 55.9% で、前年 (58.1%) を 2.1 ポイント下回り、「やや不満」「不満」と回答した割合が 8.9 ポイント増加しました。

年代別では、30 歳未満の満足度が 73.1% と最も高かったものの、30 代、40 代の満足度が前年より 10 ポイント以上減少しています。

また、地区別では、花輪地区と八幡平地区に住んでいる方の満足度が比較的高いものの、十和田地区と尾去沢地区は 5 割程度と低くなっています。

「不満」と感じる理由では、買い物環境の魅力が減少していることや賑わいが少ないことを挙げる方が最も多く、次いで公共交通機関が不便であること、駐車場が少ないことが挙げられています。

人口減少やネット通販の普及等に伴い商業機能は低下傾向にありますが、空き家への住み替え事業の推進などにより、まちなかへの緩やかな人口の集約を促進するとともに、起業・創業等の促進により、商業、サービス業、情報関連産業等の集積を図るほか、中心市街地にある地域資源を活用した観光誘客などの取組を進めることで、「まち使い」を高めながら中心市街地の満足度の向上を目指していきます。

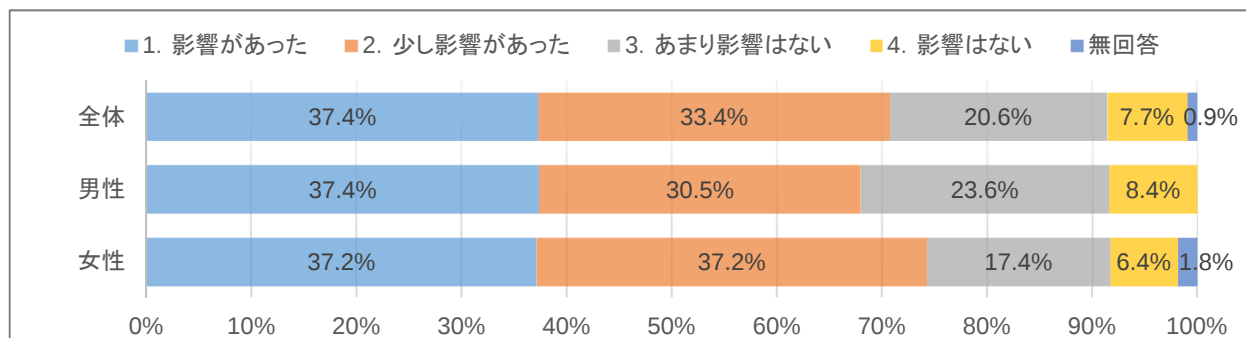
〔参考〕鹿角市中心市街地活性化プラン数値目標と実績値（再掲）

中心市街地の環境に満足している市民の割合							
基準値 (H30-R2 平均)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7)
53.6%	58.1%	55.9%	—	—	—	—	60.0%

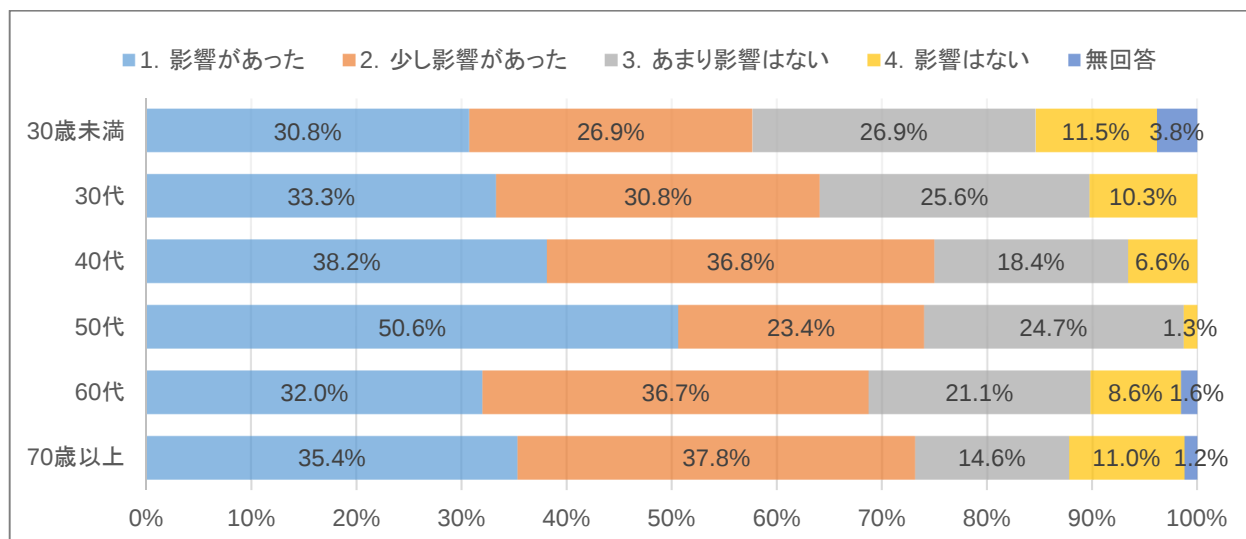
8 新型コロナウイルス感染症の影響について

設問 9 ① 感染症が流行し、あなたの生活に影響はありましたか。また、どのような影響がありましたか。当てはまるもの 3つまで選んで○をつけてください。

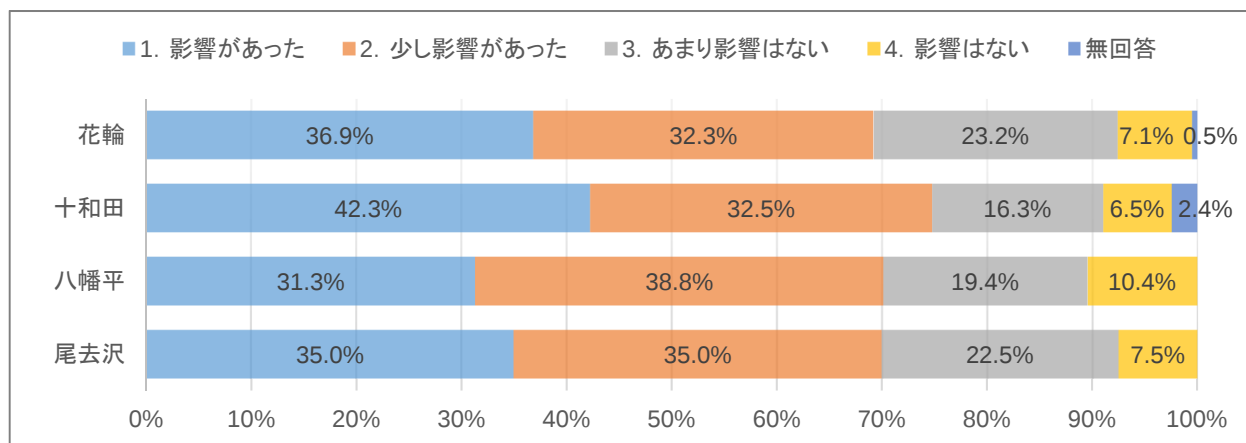
(1) 全体／男女別



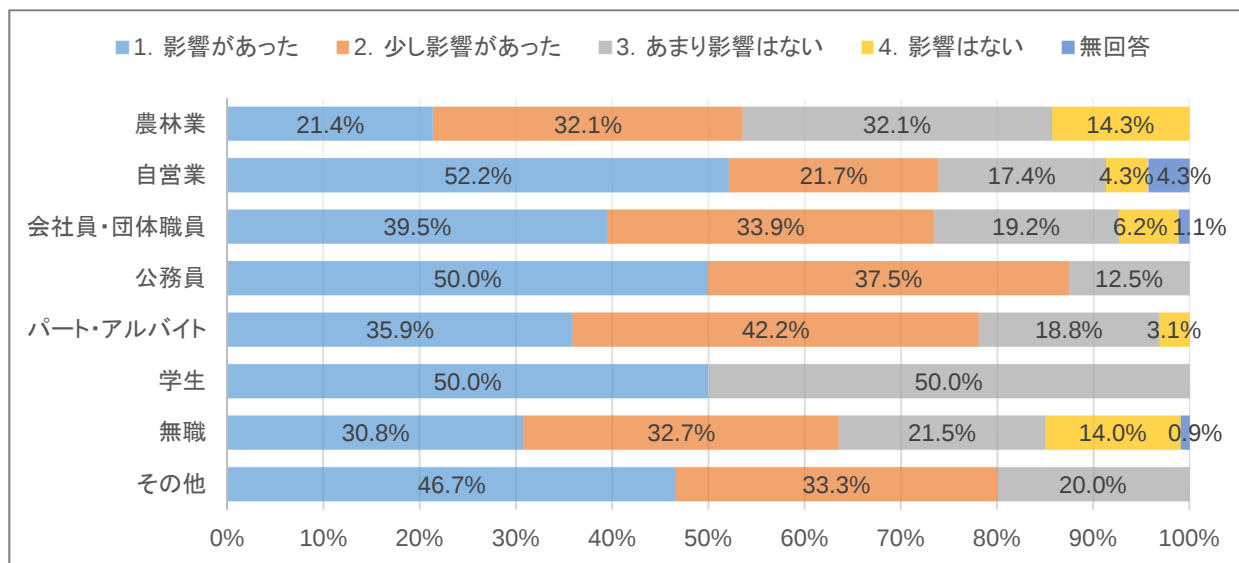
(2) 年代別



(3) 地区別

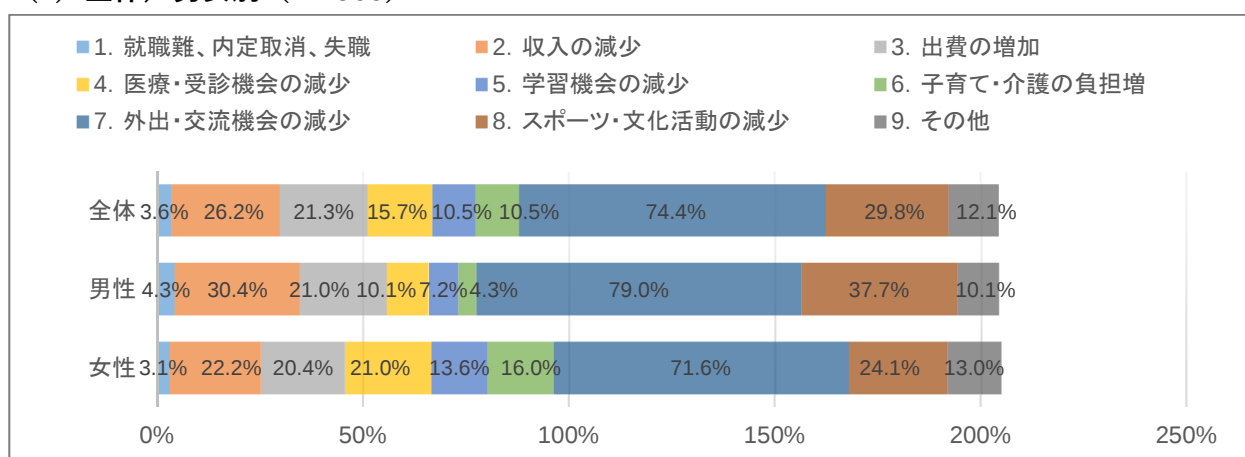


(4) 職業別

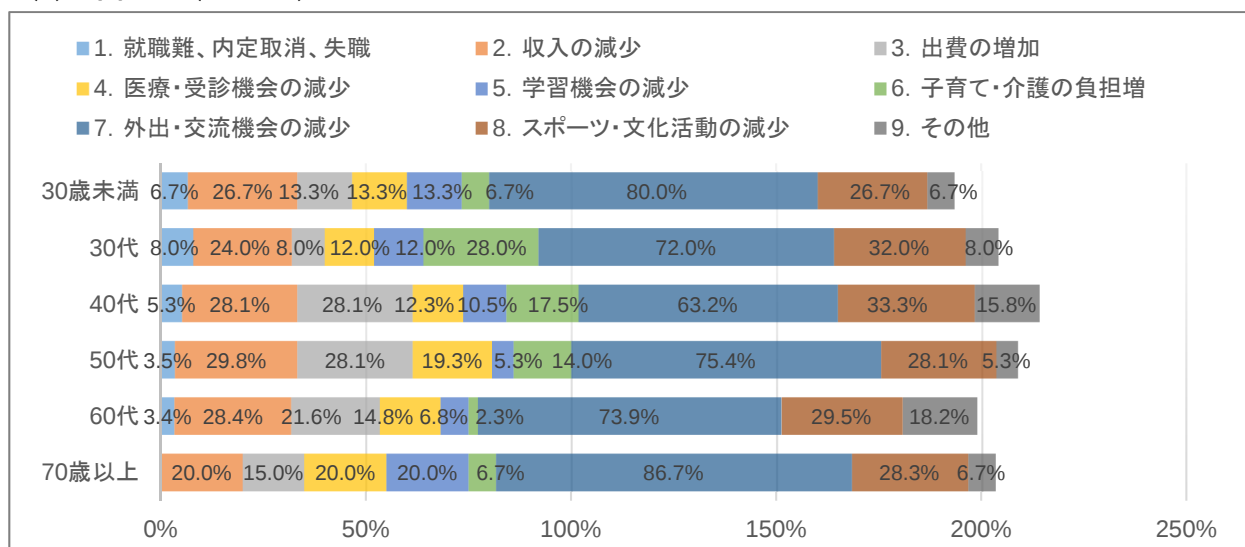


◆新型コロナウイルス感染症による影響の内容（3つまで回答）

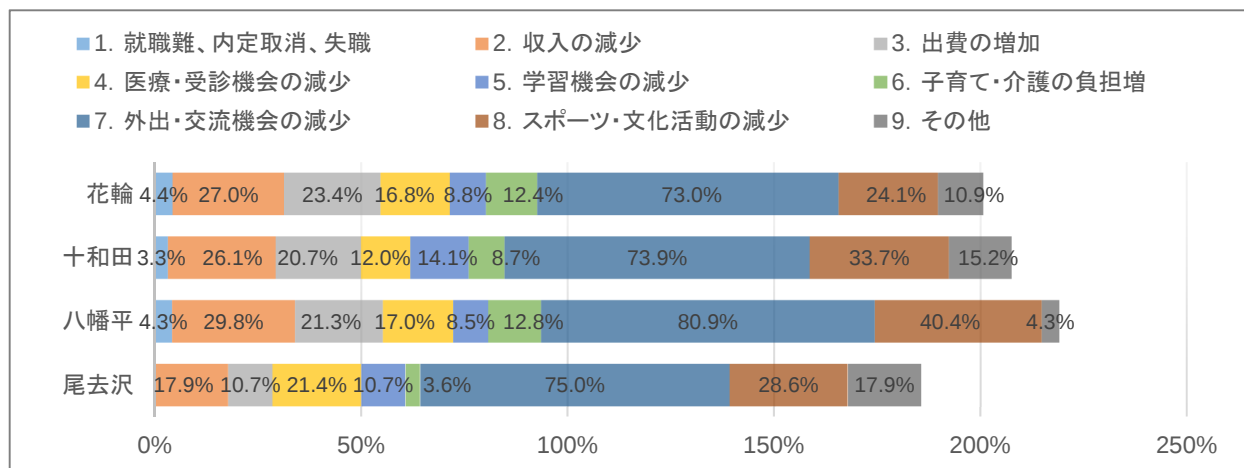
(1) 全体／男女別（N=305）



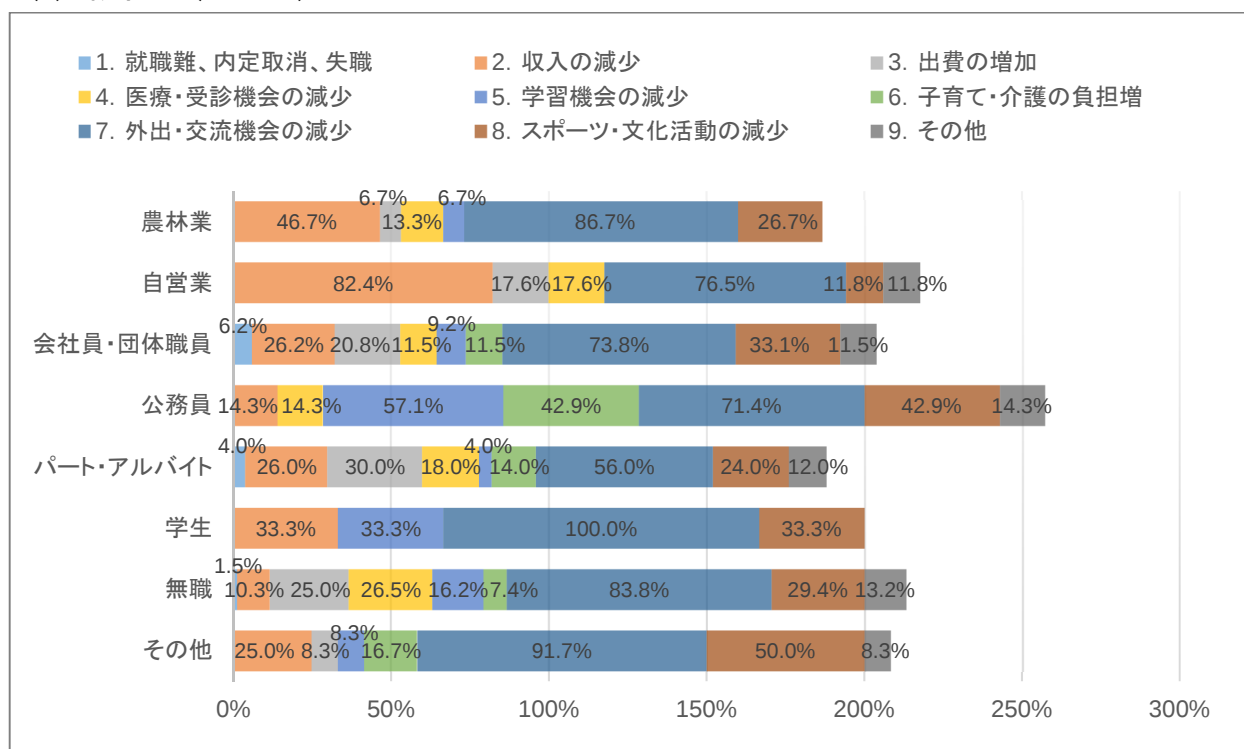
(2) 年代別（N=305）



(3) 地区別 (N=305)



(4) 職業別 (N=305)



(5) 分析結果

感染症の流行による生活への影響について、「影響があった」「少し影響があった」と回答した方は、全体の 70.8% になりました。

年代や地区での大きな影響の差は見られませんでした。

職業別では、学生を除くすべての職業で、「影響があった」「少し影響があった」の割合が「あまり影響はない」「影響はない」より多く回答されており、職業に関係なく多くの方の生活に影響を与えていることが分かります。その中で、農林業については「影響があった」「少し影響があった」と回答した割合が、他の職業に比べて低い結果となりました。

感染症により影響を受けたと回答した方で、その内容として最も多かったのが「外出・交流機会の減少」で 74.4%、次いで「スポーツ・文化活動の減少」が 29.8% となり、感染症拡大防

止のための行動制限が大きな影響を与えたことがうかがえます。また、「就職難・内定取消・失職」は 3.6%と最も低かったものの、「収入の減少」は 26.2%、「出費の増加」は 21.3%と 2 割を超えました。

影響を受けた内容における年代別の回答では、「就職難、内定取消、失職」の理由が 30 歳未満から 60 代まで見られ、「出費の増加」が 40 代から 60 代にかけて多く見られ、「子育て・介護の負担増」が 30 代で顕著になるなど、ライフステージごとに理由が異なる結果となりました。

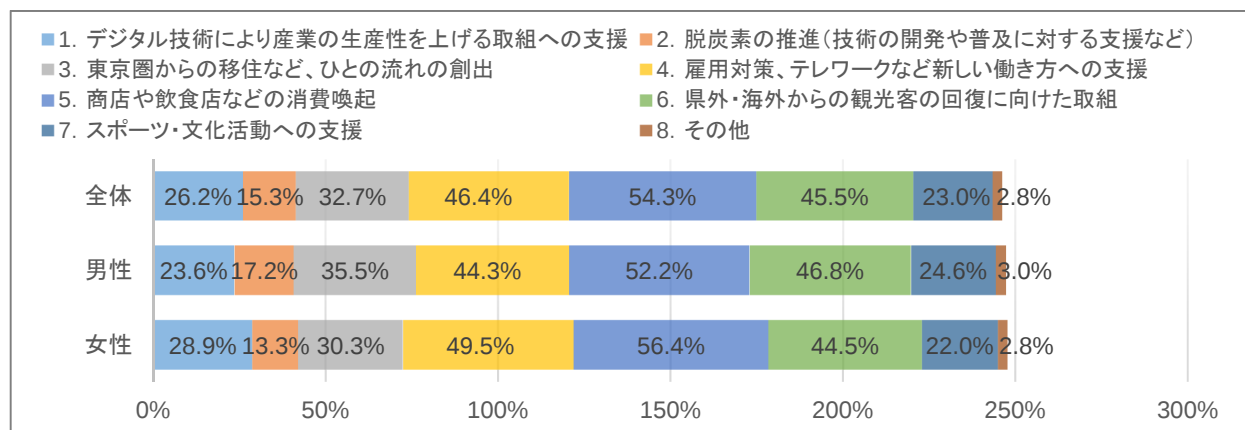
影響を受けた内容における地区別の回答では、多少の差異はあるものの、特に違いは見られませんでした。

職業別に影響を受けた割合を見たところ、自営業では、他に比べて「収入の減少」の割合が多く、公務員では、他に比べて「学習機会の減少」「子育て・介護の負担増」が多く見られました。

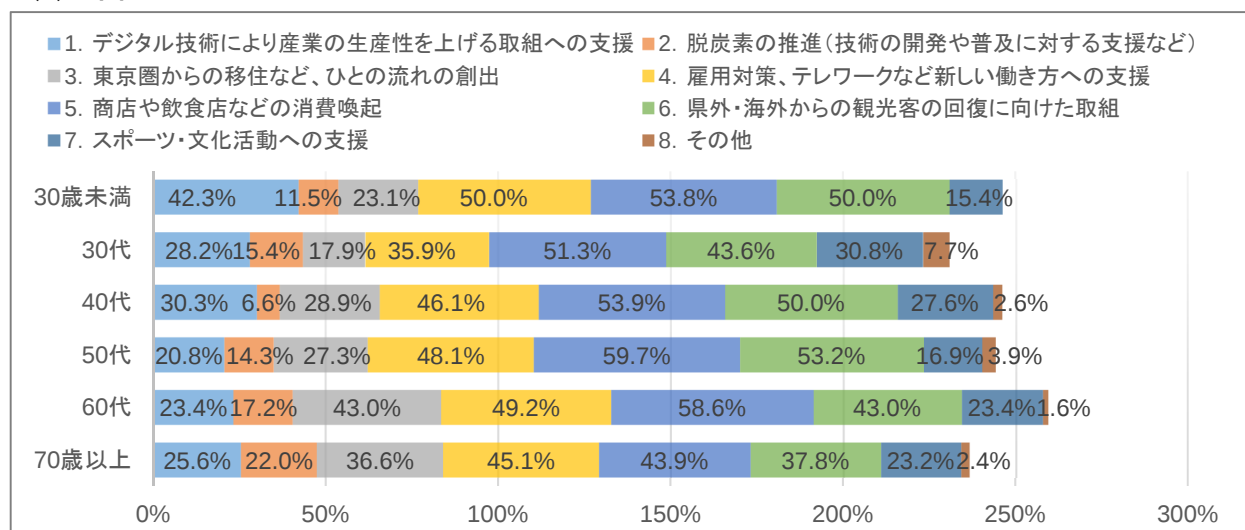
コロナ禍での行動制限による影響と考えられる「外出・交流機会の減少」や「スポーツ・文化活動の減少」については、徐々に回復していくものと考えられますが、「収入の減少」や「出費の増加」については、経済情勢を鑑みるとコロナ禍だけの理由に限らないことから、地域産業を活性化させる取組の強化が必要です。

設問 9 ② 現在、新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、今後、市内経済を活性化させるためにどのような施策を実施した方がよいと考えますか。当てはまるもの 3 つまで選んで○をつけてください。

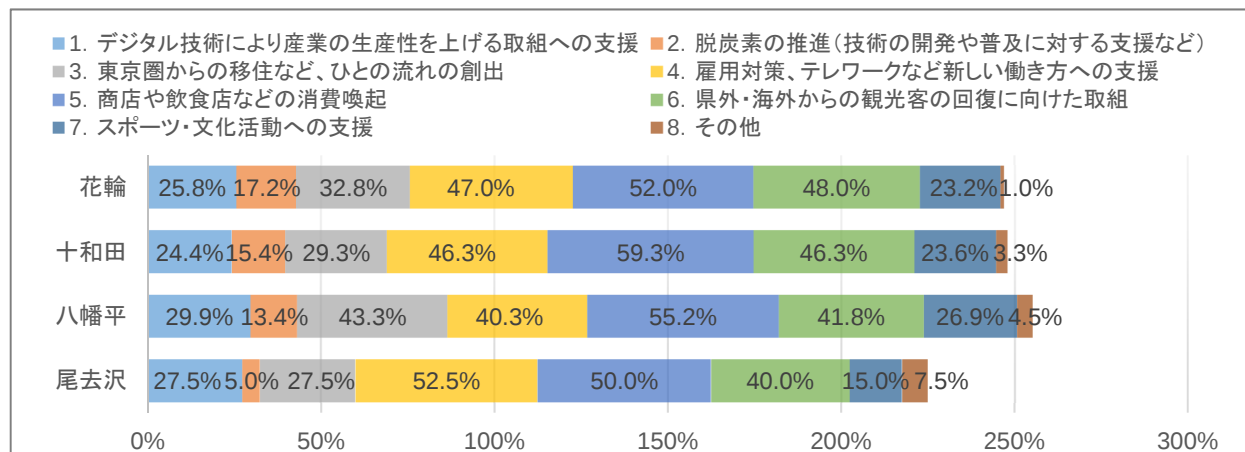
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

感染症の収束を見据え、今後、市内経済を活性化させるためにどのような施策を実施した方がよいかという設問では、「商店や飲食店などの消費喚起」を選んだ方が5割を超え最も多くなり、次に選ばれているのが「雇用対策、テレワークなど新しい働き方への支援」で、地域経済の立て直しと魅力ある雇用の創出が求められています。また、3番目に多く選ばれたのが「県外・海外からの観光客の回復に向けた取組」で、アフターコロナを見据えた観光振興への期待が高いことがうかがえます。

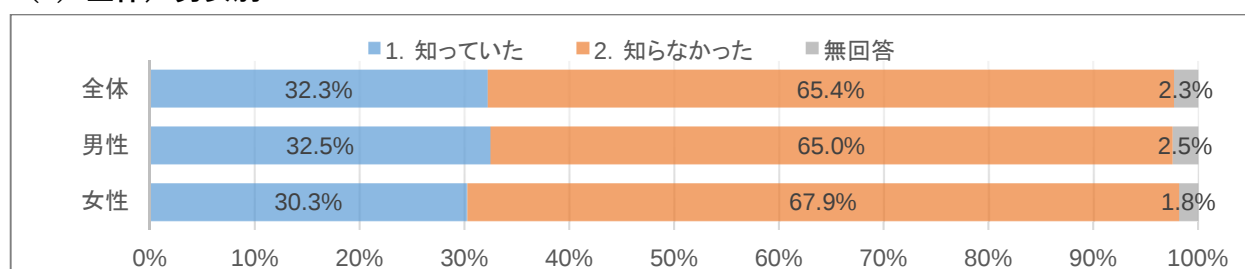
世代別では、30歳未満から40代の世代では「デジタル技術により産業の生産性を上げる取組への支援」、40代から70歳以上の世代では「東京圏からの移住など、人の流れの創出」を選択する方が多い傾向がみられました。

全体を通じて、感染症対策はもちろんのこと、新たな時代に対応した経済活性化に資する施策の強化が望まれています。

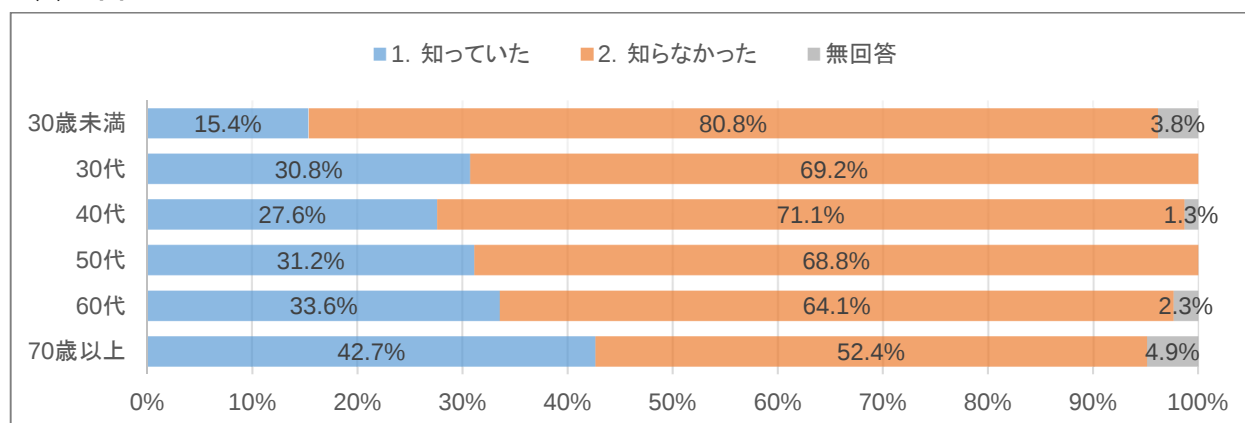
9 カーボンニュートラルについて

設問 10① 鹿角市では、令和4年3月に「鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」を行い、日本全体の目標である 2050 年より 20 年早い、2030 年のカーボンニュートラル実現を目指しています。このことを知っていましたか。

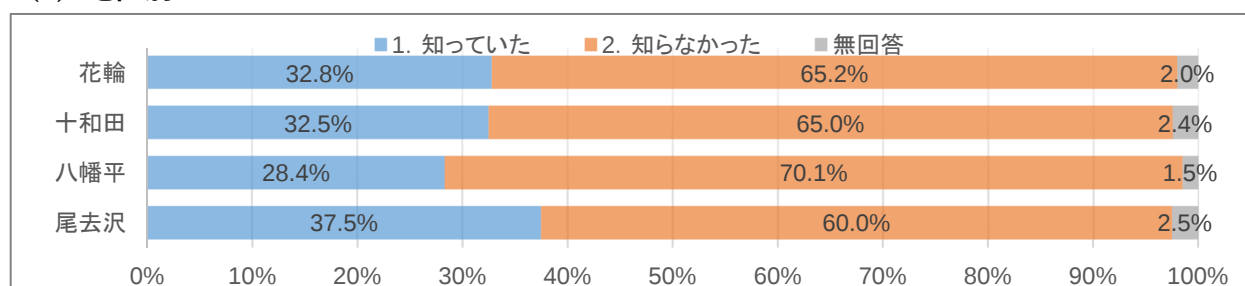
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

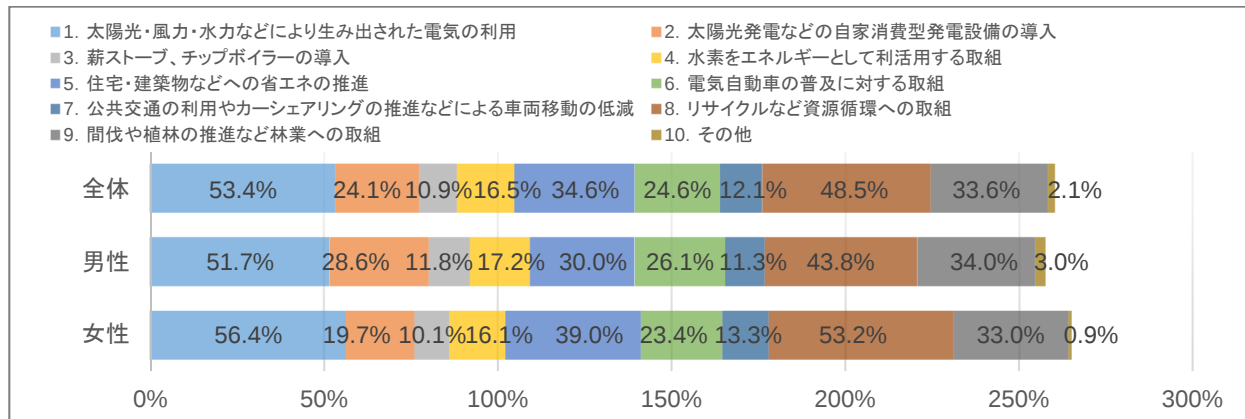
「鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」を知っている割合は 32.3%と全体の約 3 分の 1 であり、この傾向は男女別、地区別においても大きな差は見られませんでした。

年代別では、30 歳未満が約 15%と全体の半分程度の認知度になっています。

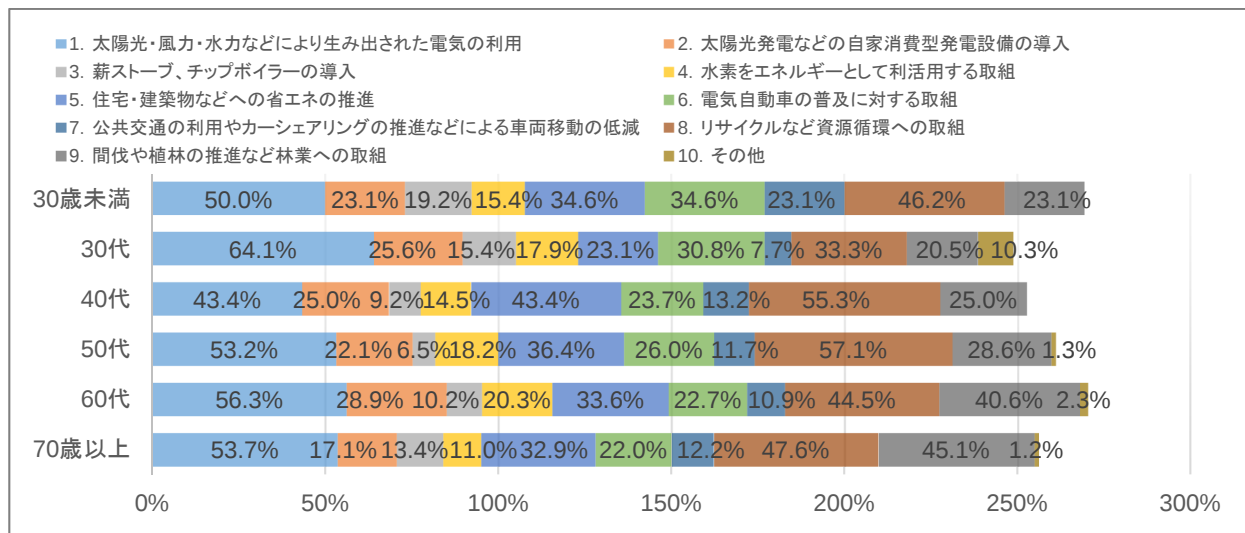
2030 年までにカーボンニュートラルを達成するためには、全市を挙げた取組が重要であり、これから若年層を中心に更なる意識醸成を図りながら、脱炭素化への取組を進めていくことが必要になります。

設問 10② カーボンニュートラルについて、今後どのような取組を実施していくのがよいと思いますか。当てはまるもの 3つまで選んで○をつけて ください。

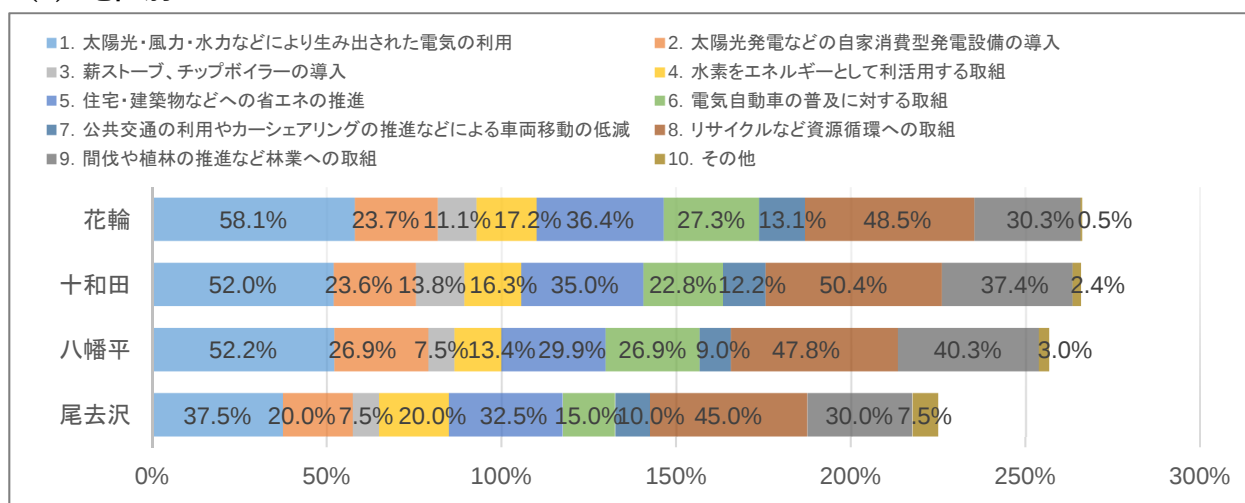
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

カーボンニュートラルで期待する取組については、「太陽光・風力・水力などにより生み出された電気の利用」が53.4%で最も多く、次いで「リサイクルなどの資源循環への取組」が48.5%、「住宅・建築物などへの省エネの推進」が34.6%となりました。本市の特長である豊富な再生可能エネルギーの利活用が期待されているほか、自分の暮らしに身近なリサイクルの取組に関心が集まったものと考えられます。

男女別では全体との差はほとんど見られないものの、男性は女性と比べて、設備・機器の導入に対する支援を期待する割合が高くなるのに対し、女性は男性と比べると、身近で自ら実施可能な取組を期待する割合が高くなる傾向が見られました。

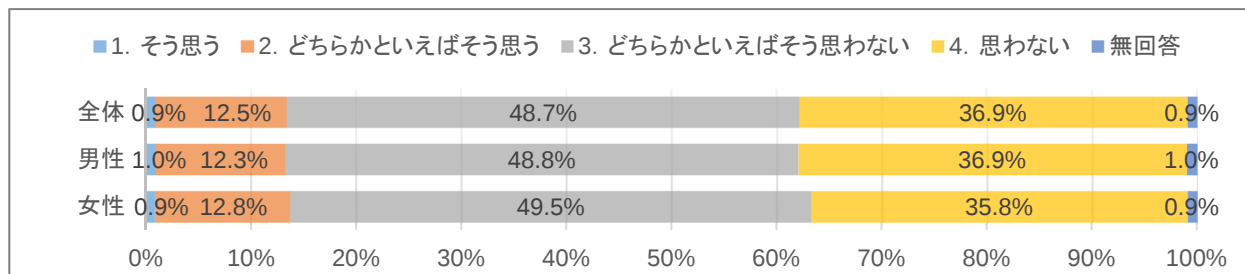
年代別では、「太陽光・風力・水力などにより生み出された電気の利用」や「リサイクルなどの資源循環への取組」が各年代で1位、2位となったほか、30歳未満と30代においては「電気自動車の普及に対する取組」が比較的期待されています。また、40代と50代では「住宅・建築物などへの省エネの推進」が期待されており、60代と70歳以上では「間伐や植林の推進など林業への取組」が期待する項目となりました。車の購入や家の改修など、ライフステージにより期待度に違いが見られる結果となりました。

期待度が高かった取組は、市民の賛同が得られやすいと考えられることから、優先的に進めていきます。

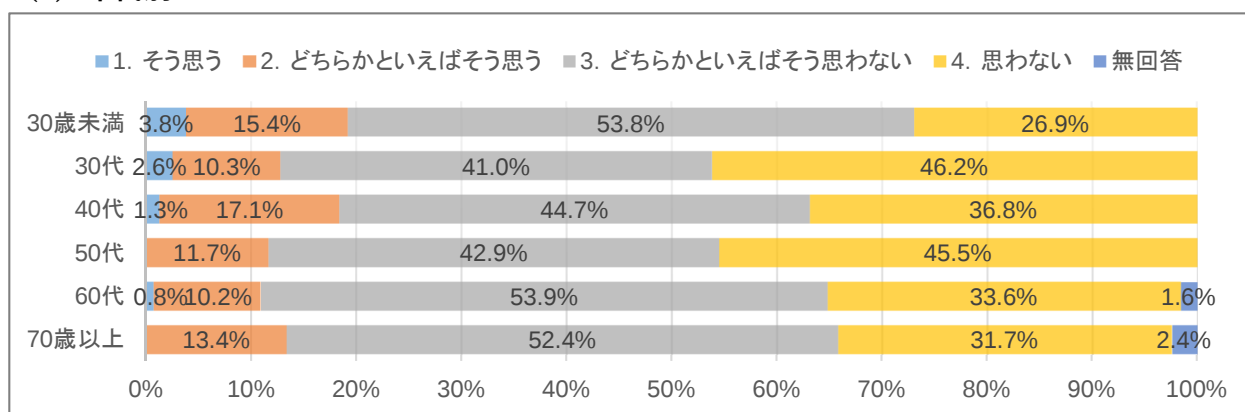
10 まちの満足度について

設問 11① あなたは、鹿角市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思いますか。

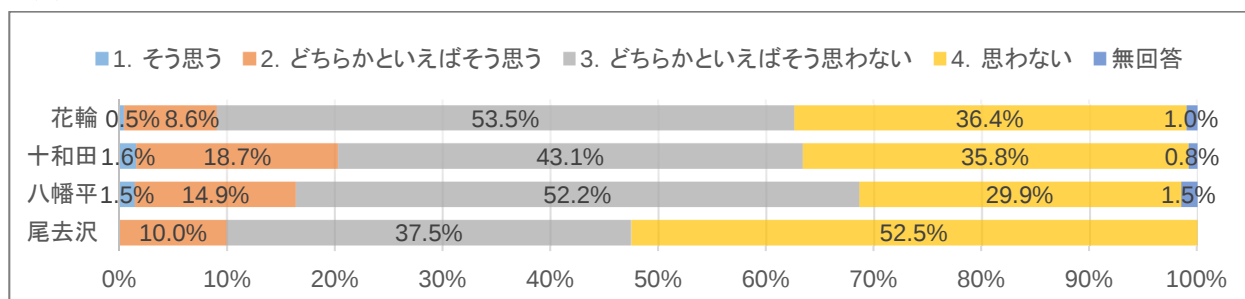
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



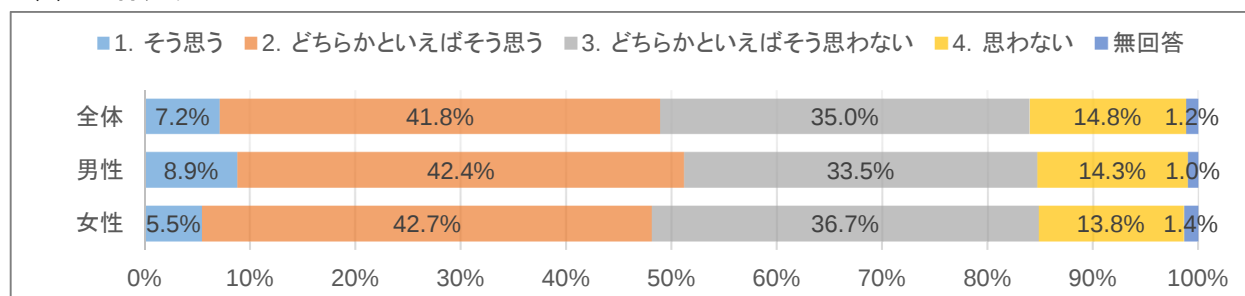
(4) 分析結果

市の産業は元気で活力があると思う割合は13.4%で、昨年度（25.0%）より11.6ポイント、令和元年度基準値（19.5%）より6.1ポイント減少しました。

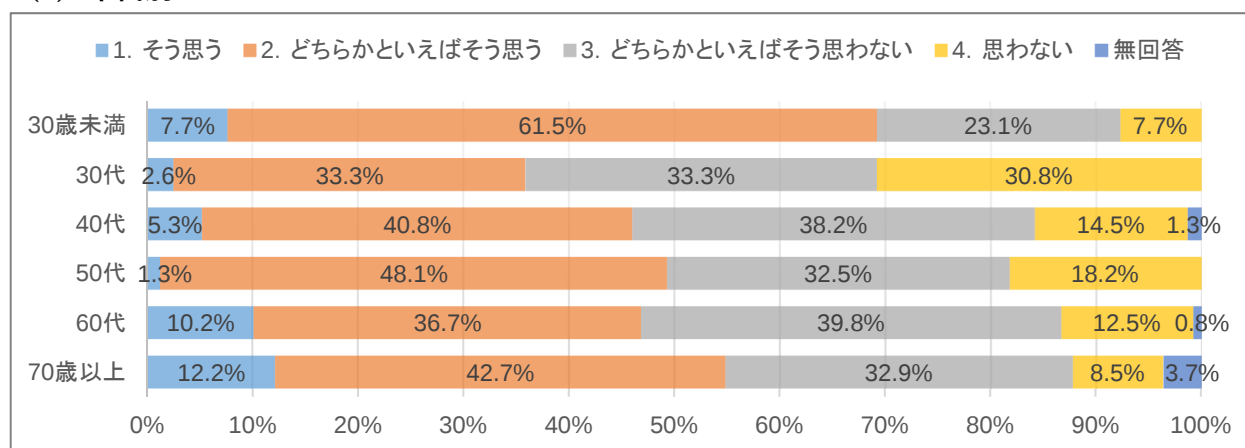
年代別では、昨年度29.3%と最も多かった70歳以上が15.9ポイント減少し13.4%になった他、すべての年代で減少しています。また、地区別では、昨年度最も増えた花輪地区が24.8%から15.7ポイント減少し9.1%となった他、すべての地区で減少しています。このことから、どの世代、どの地区でも産業の活力をあまり感じられていないことがうかがえます。

設問 11② あなたは、鹿角市が心身ともに健康な暮らしができるまちだと思いますか。

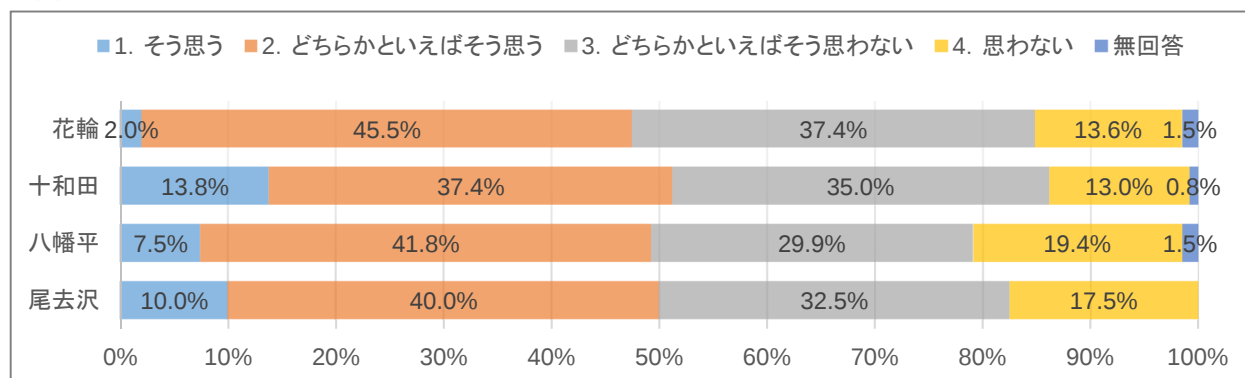
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



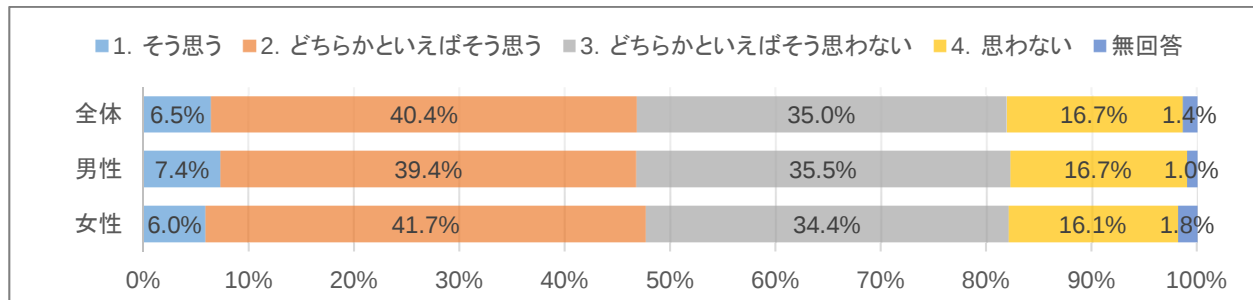
(4) 分析結果

心身ともに健康な暮らしができるまちだと思う割合は 49.0% となり、昨年度（56.1%）より 7.1 ポイント、令和元年度基準値（58.7%）より 9.7 ポイント減少しています。

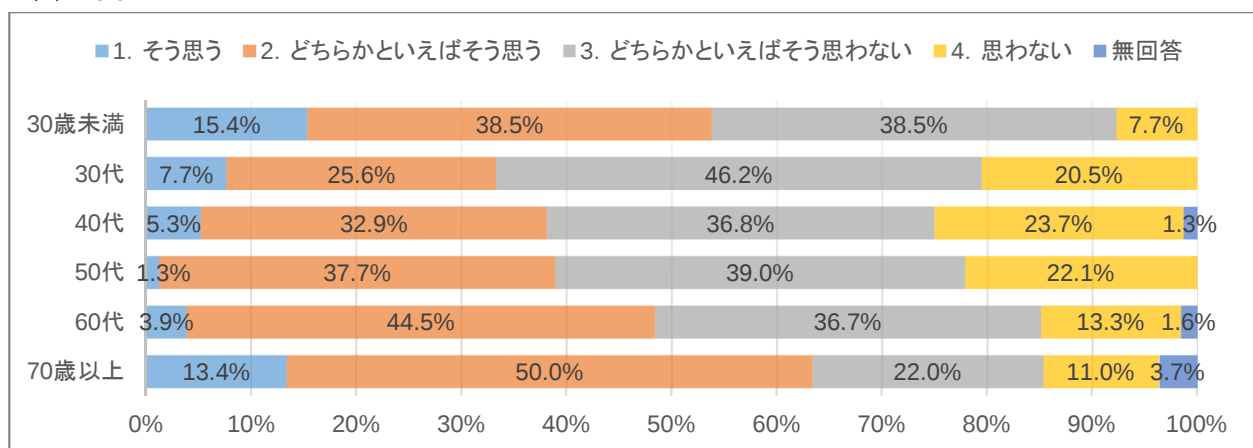
年代別では、30 代が昨年度（55.6%）から 19.7 ポイント減少し 35.9% と最も低くなっており、設問 3 の運動実施率で 30 代のうち 6 割以上の方が週 1 回以上運動している現状を踏まえると、コロナ禍では心のケアも必要である可能性があることを示唆していると言えます。地区別では、昨年度 58.7% と最も高かった花輪地区が 11.2 ポイント減少して 47.5% と最も低くなり、その他の地区でも減少した結果、今年度は各地区とも概ね同じ割合となっています。

設問 11③ あなたは、鹿角市は生活環境が快適なまちであると思いますか。

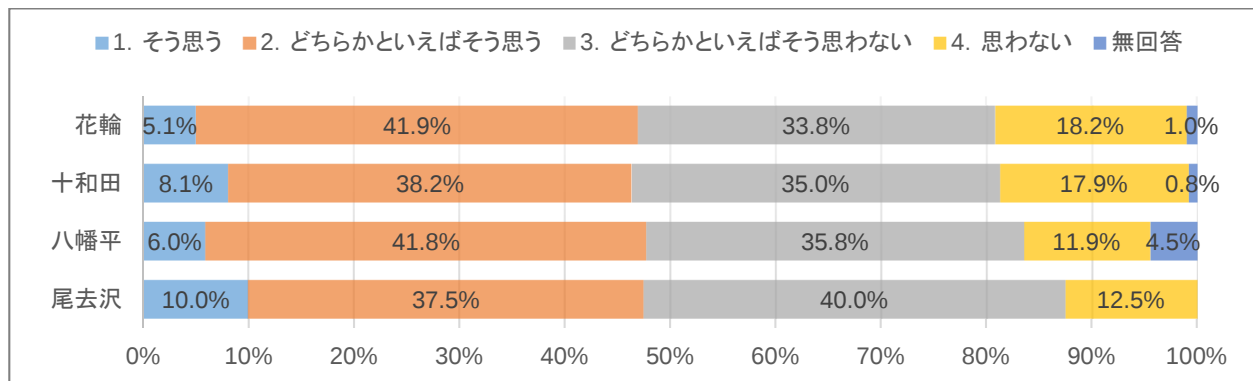
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



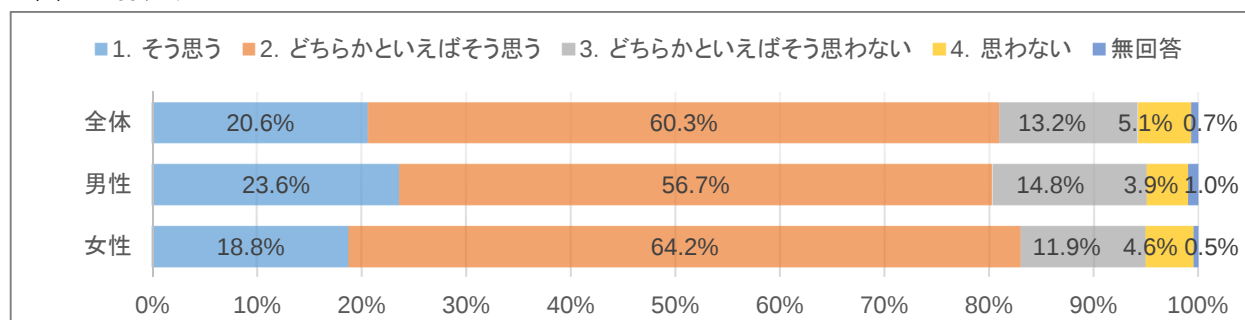
(4) 分析結果

生活環境が快適なまちであると思う割合は 46.9% となり、昨年度（55.0%）より 8.1 ポイント、令和元年度基準値（49.7%）より 2.8 ポイント減少しました。

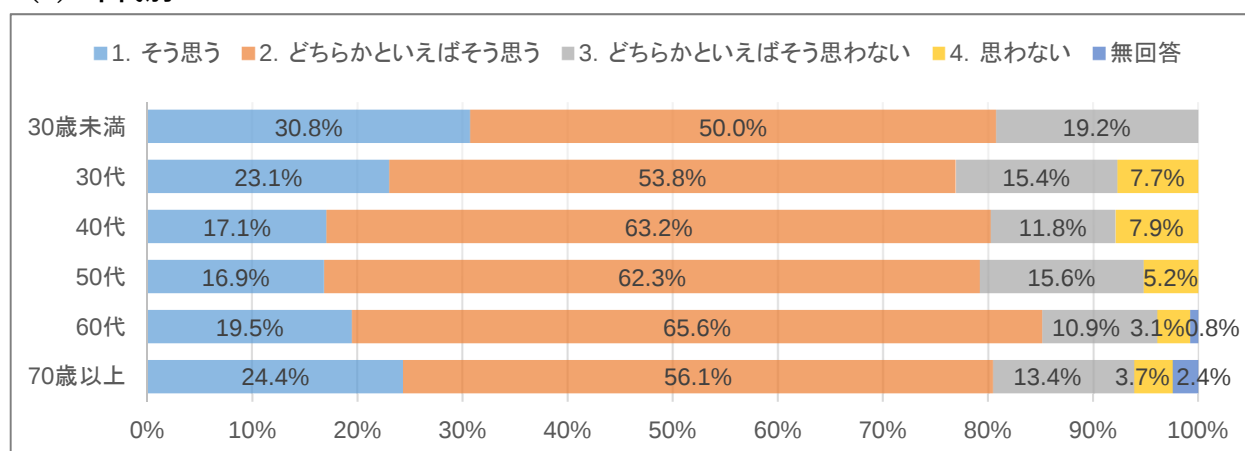
年代別では、30 代が 33.3% と昨年度（48.9%）から 15.6 ポイント減少したほか、40 代も 38.2% と昨年度（51.1%）から 12.9 ポイント減少するなど、30 代から 60 代に掛けて減少した結果が全体に影響しています。地区別では、昨年度 58.7% と最も高かった花輪地区が 11.7 ポイント減少して 47.0% になり、十和田地区及び八幡平地区でも減少した結果、すべての地区が均衡しています。

設問 11④ あなたは、鹿角市が安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。

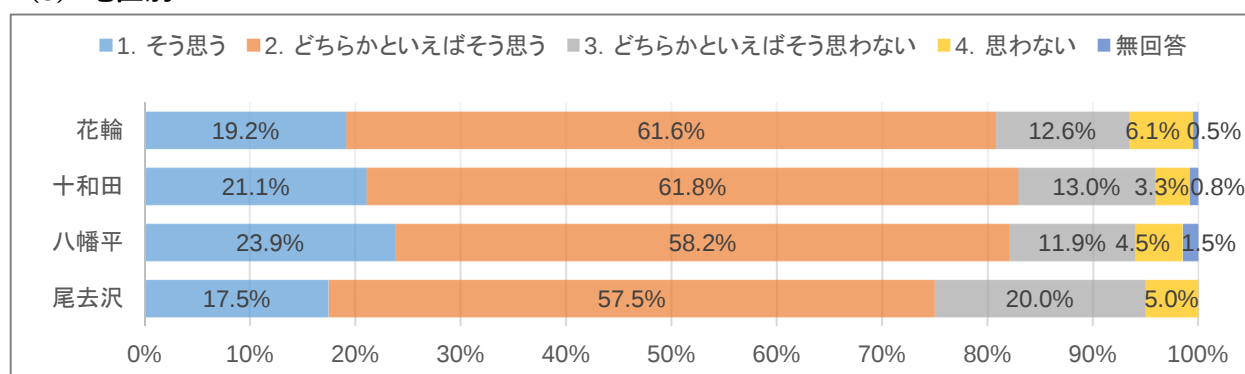
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



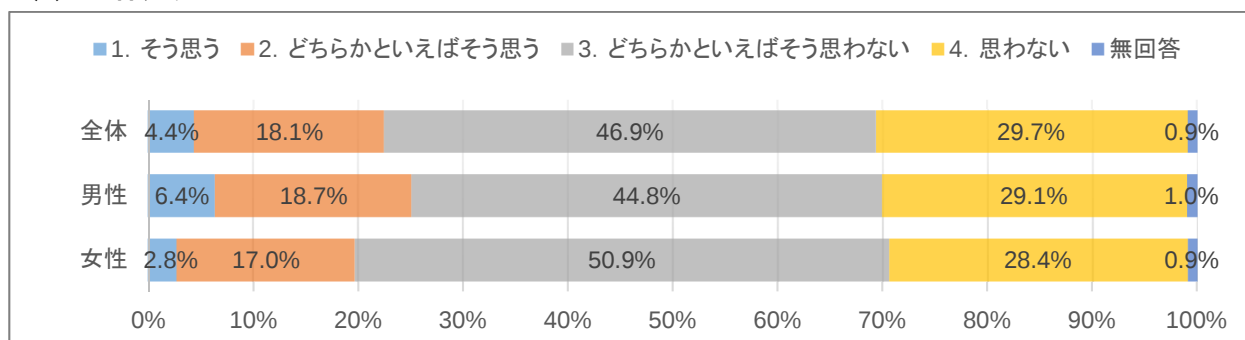
(4) 分析結果

安全で安心して暮らせるまちだと思う割合は80.9%となり、昨年度（79.7%）より1.2ポイント、令和元年度基準値（77.6%）より3.3ポイント増加しました。

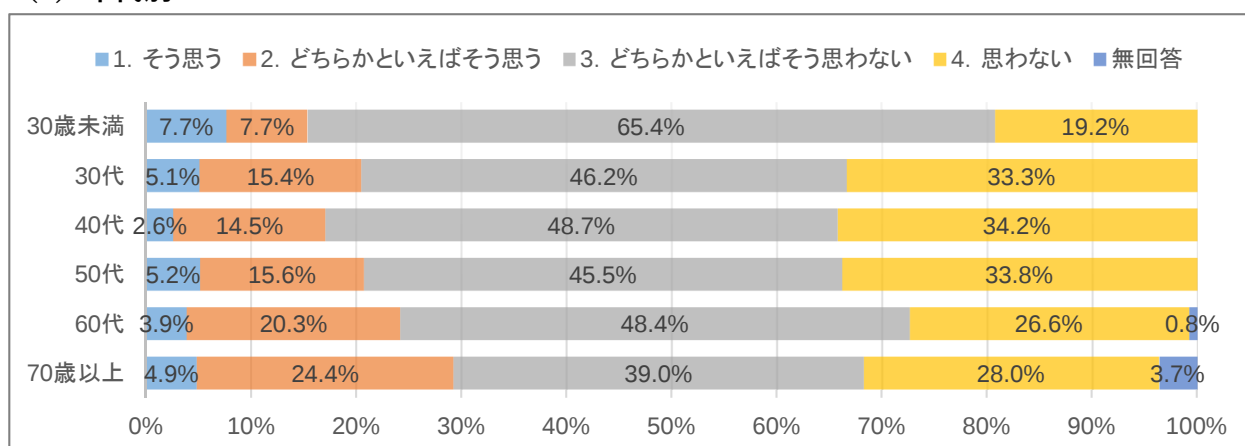
年代別では、昨年度最も満足度が高かった30代が7.6ポイント減少し76.9%になったものの、60代が6.0ポイント増加して85.1%になり、年代が入れ替わりながらも高い水準を保っています。また、地区別では、2年連続で最も高かった尾去沢地区が11.1ポイント減少し75.0%になったものの、十和田地区が82.9%と9.4ポイント増加しており、地区が入れ替わりながらも高い水準となっています。

設問 11⑤ あなたは、鹿角市が市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか。

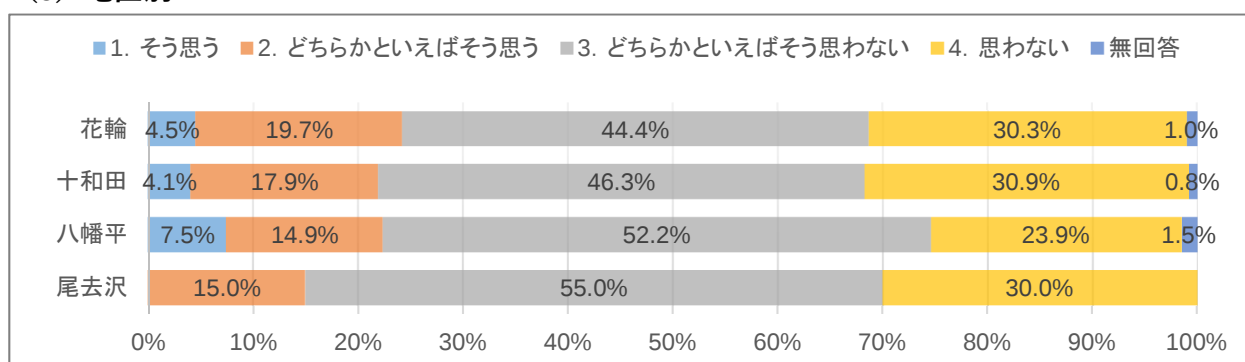
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



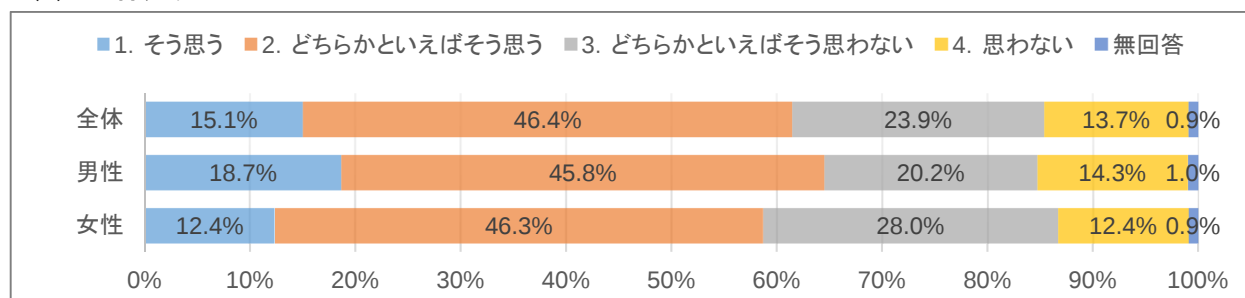
(4) 分析結果

市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思う割合は 22.5% となり、昨年度 (26.8%) より 4.3 ポイント、令和元年度基準値 (23.4%) より 0.9 ポイント減少しました。観光地・産業がコロナ禍以前に戻っていないことが影響したものと捉えています。

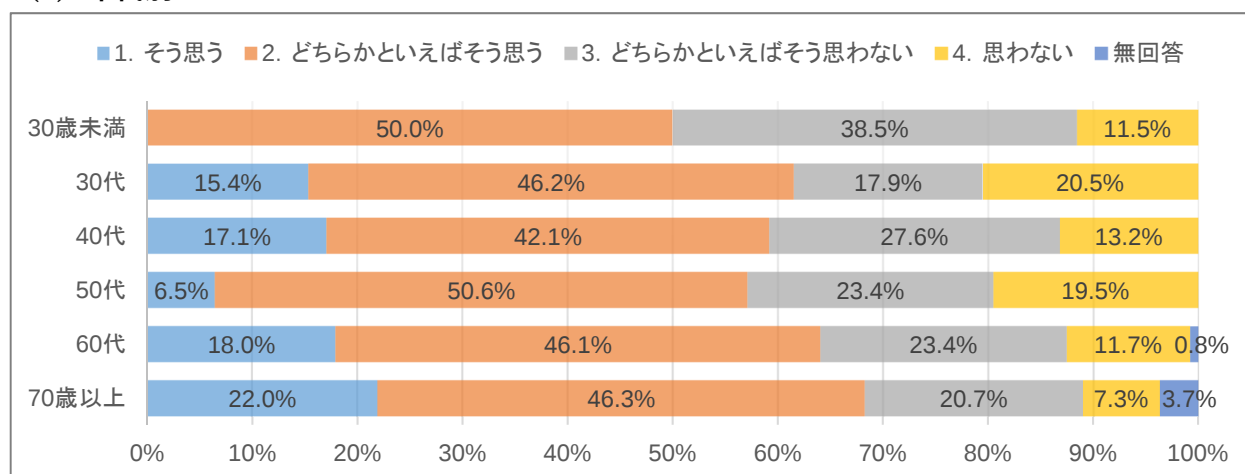
年代別では、昨年度に最も増加した 40 代が 14.7 ポイント減少して 17.1% と最も少なくなり、1.1 ポイント増加した 70 歳以上を除いて、すべての年代で昨年度より減少しています。また、地区別では、花輪地区が昨年度から 5.0 ポイント減の 24.2% で減少幅が最も大きくなり、すべての地区で減少となりました。

設問 11⑥ あなたは、鹿角市は文化遺産が豊富で誇れるまちであると思いますか。

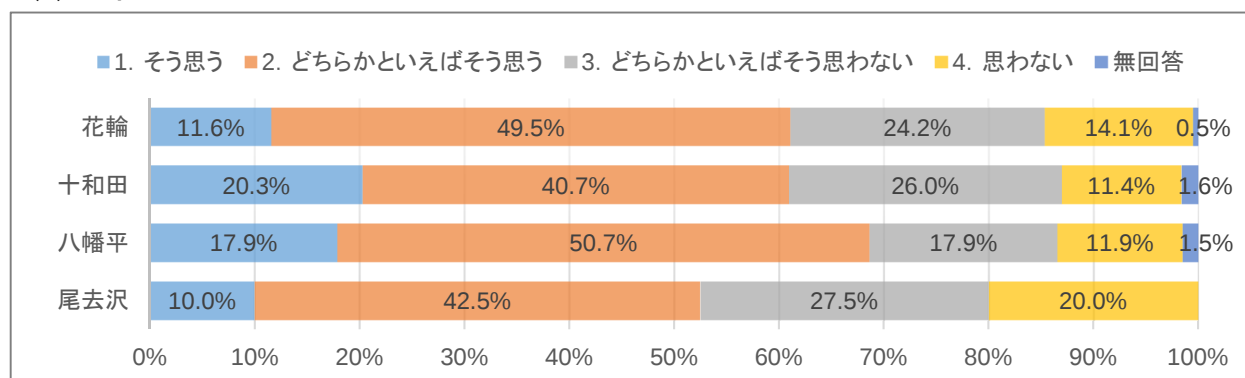
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



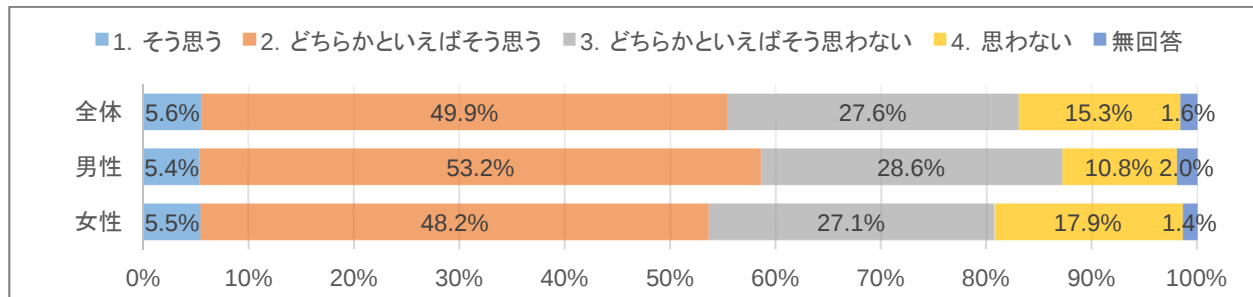
(4) 分析結果

文化遺産が豊富で誇れるまちであると思う割合は 61.5% となり、昨年度（59.3%）より 2.2 ポイント、令和元年度基準値（51.3%）より 10.2 ポイント増加しました。昨年度に引き続き、まちの満足度における設問の中での増加率が最も高くなり、大湯環状列石が世界文化遺産に登録されたことによる効果が大きかったことを表していると言えます。

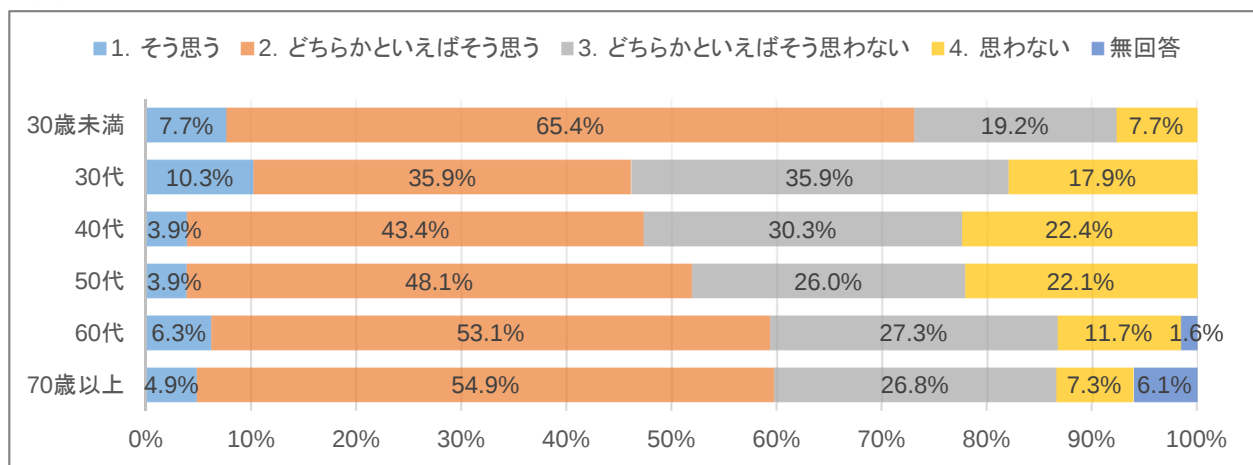
年代別では、70 歳以上が 68.3% で昨年度に対して 9.6 ポイント増加しており、全体を押し上げています。また、地区別では、尾去沢地区が昨年度から 5.9 ポイント増加して 52.5% になったことにより、全地区で半数以上の方が、文化遺産が豊富で誇れるまちと感じています。

設問 11⑦ あなたは、自分に必要な行政サービスが受けられていると思いますか。

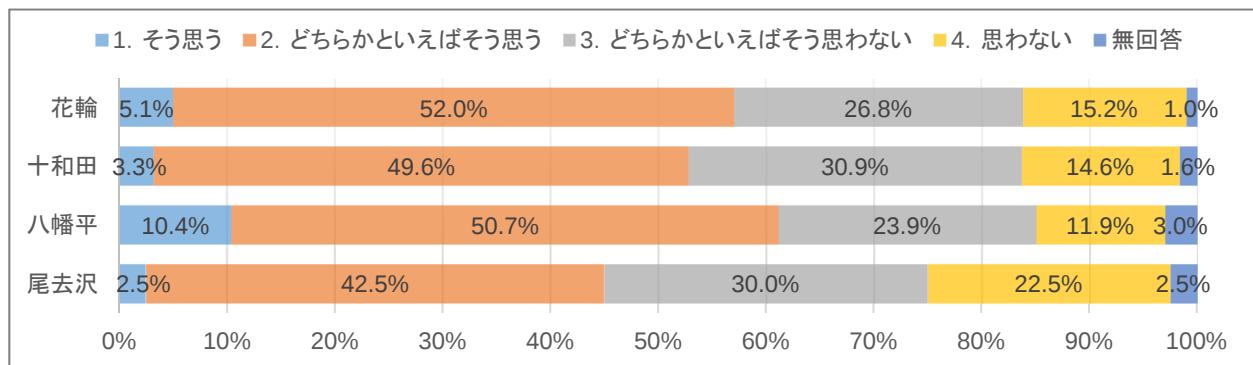
(1) 全体／男女別



(2) 年代別



(3) 地区別



(4) 分析結果

自分に必要な行政サービスが受けられていると思う割合は 55.5%となり、昨年度（57.5%）より 2.0 ポイント、令和元年度基準値（59.8%）より 4.3 ポイント減少しました。

年代別では、30 歳未満が 73.1%と最も高く、昨年度（65.3%）から 7.8 ポイント増加した一方、30 代が昨年度（57.8%）から 11.6 ポイント減少し 46.2%になり、40 代が昨年度（56.8%）から 9.5 ポイント減少し 47.3%になっています。地区別では、尾去沢地区が 45.0%と最も低く、昨年度（60.5%）から 15.5 ポイント減少しており、それ以外の地区に比べて、行政サービスを十分に受けられていないと思う人の割合が増加しています。

11 自由意見

設問 12 で記述のあった自由意見は、156 人から 273 件の意見や感想をいただきました。自由意見については施策別に整理し、それ以外を政策全般に関すること、職員・市長・市議会議員に関すること、市の窓口・行政手続きに関すること、アンケートに関すること、その他に分類し、下表に掲載しています。

(1) 施策別

基本戦略 1 活力を生む地域産業・生業を支える

取組方針 1 地域産業の成長への支援

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	男性	30 歳未満	学生	鹿角市は自然も多く魅力あるものがたくさんあると思いますが、他市や他県と比べ、やはり賃金が安く、若い世代が結婚し子育てするために、安定して働ける職場環境が必要だと思います。よろしくお願いします。
八幡平	男性	30 代	会社員・団体職員	魅力ある企業が少ない、給料に満足できる企業が少ない、学力を身につけても発揮できる企業が無い、生活を考えると県外に出るのは普通だと思う。
花輪	女性	30 代	会社員・団体職員	商業施設の充実を望みます。
花輪	男性	40 代	会社員・団体職員	プレミアム商品券では全ての市民が得をしないので、もっと違う政策にしてほしい。
花輪	女性	40 代	会社員・団体職員	商業施設があれば、働き口も増え、市外にお金が行くことは減ると思います。若い方は、市外に働きに出て、県外でお金を使っています。市内で完結できるまちづくりが必要。
十和田	男性	50 代	会社員・団体職員	山林を利用し個人住宅へ利用、補助金
花輪	女性	50 代	会社員・団体職員	商業施設の誘致も必要だと思います。空き店舗が多くびっくりしました。
十和田	女性	50 代	会社員・団体職員	毛馬内のお金かけて整備した盆踊りをやる通り、普段はほとんど人がいません。お金がもったいないと感じています。
八幡平	女性	50 代	会社員・団体職員	プレミアム商品券。食エールを使おうにも鹿角のお店は土日祝日・お盆・正月にお休みで使えなかった。花輪のお店の方々は、プライドが高く何ともしづらいくい。
八幡平	男性	60 代	会社員・団体職員	農業の環境整備が、他地区・他県に比べて遅れている。
花輪	女性	60 代	無職	高齢者を大事にすることは良いことですが、それ以上に子育て世代が安心して生活できる職場の確保が必要なのではと思います。
花輪	男性	70 歳以上	会社員・団体職員	せつかくの資源の無駄。活用していない畑の多いこと。規模の拡大が可能になる農地作り、基盤整備が必要。これにより農業に意欲のある人を絞り込む。
花輪	男性	70 歳以上	会社員・団体職員	林業の復活。もっと手入れをし、付加価値を付ける。経営を考える農家・株式会社・儲かる農家（会社）の育成。規模により市内外から集まる。
花輪	男性	70 歳以上	パート・アルバイト	山へ行くと杉の木が手入れされていないと思う。杉の木を町の産業にできないものか。

花輪	女性	70 歳以上	無職	雇用の安定 ・ 鹿角市の所得が低い、地元では生活ができない。 ・ 生活が厳しくて結婚できない、子どもをもてない等の若い人が多い。 ・ 大手企業を誘致して働く場の確保や賃金の向上等が必要です。
----	----	--------	----	--

取組方針 2 意欲のある就労・就農への支援

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	女性	40 代	農林業	私は農業をしていますが、年々衰退していてブランドも無くなってしまおうと思っています。若手の就農者をちゃんと確保し、育成をして欲しいです。
十和田	男性	50 代	会社員・団体職員	私の会社ではいまだにセクハラ、パワハラが横行していて若い人が次々とやめて行くのが現状です。市から事業所に強く指導していただきたいと願います。
八幡平	男性	60 代	無職	農業の後継者問題

取組方針 3 産業の担い手の確保

地区	性別	年代	職業	内容
十和田	男性	40 代	会社員・団体職員	鹿角・小坂ともに企業で人材不足が続いているので、人が集まる働きやすい環境が必要と思います。
花輪	男性	60 代	会社員・団体職員	人口を増やし人材不足を解消することが必要（雇用の促進が必要です）。
花輪	女性	60 代	無職	今までの、中だるみした地元癒着に喝を入れるべく、むしろ外部との交流を積極的に行い、多様な人材育成にもシフトして行ってほしいです。 （せっかく新しいまちになるチャンスなのに…。新しい力、発想で、なんでも思ったことを言えるまちならいいなあと思います。）
十和田	男性	70 歳以上	無職	人口減、高齢化社会（地域）にあり、退職者（特に有資格者）の有効活用により諸事業利用者の質のレベルアップを目指して欲しい。市内事業所への市の人材斡旋のような取り組みを独自に考えたかどうか。

基本戦略 2 元気で健やかな暮らしを支える

取組方針 5 適切な医療を受けられる体制整備

地区	性別	年代	職業	内容
八幡平	女性	30 歳未満	農林業	八幡平方面に病院やクリニック等を増やしてほしい。
八幡平	女性	30 代	会社員・団体職員	かづの厚生病院で出産できるようにしてほしい。
十和田	女性	50 代	会社員・団体職員	医療を充実させてほしい。行く所が限られているため対応が良くない。大館まで行くことも多くなる。土曜日の診察がないと勤労者本人もだが、家族の付き添いでも仕事を休まざるをえなくなる。
十和田	男性	60 代	自営業	子どもを安心して産めるような病院の充実を望みます。
十和田	男性	60 代	自営業	救急医療の充実を望みます。
花輪	女性	60 代	その他	最初に考えることは医療体制ですね…。鹿角市の 65 歳以上の割合は、約 4 割となってきました。産科医を…と活動している方もいますがなかなか実現しません。先は夫婦で健康寿命を…と体調管理に留意しています。

尾去沢	女性	70 歳以上	無職	厚生病院等、どの診療科も（休日を除いて）毎日診療できるようにしてほしいです。（医師の確保）
-----	----	--------	----	---

取組方針 6 結婚の希望が叶うための応援

地区	性別	年代	職業	内容
尾去沢	女性	40 代	会社員・団体職員	40 代、50 代の方でも結婚したい未婚の人がいると思うので、そういった人が参加できるような婚活パーティーをひらいてほしい。とくに男性のシングルの人がたくさんいると思うので。第 2 の人生を送れるようにしてほしい。
八幡平	男性	70 歳以上	無職	男の人も女の人も 40 歳すぎても一人でいないで皆さん家庭をもってくださいれば、鹿角市の未来は明るくなるのではないかと思います。昔みたいにどなたか世話を焼く人がいればいいのかなと思うこのごろです。

取組方針 7 地域ぐるみの子育て支援の充実

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	女性	30 歳未満	会社員・団体職員	安心して子育てに取り組めるような経済的支援が足りていない。不妊治療や出産費用の補助、可能なら高校生までの医療費学費等無償化かそれに近い形があると望ましい。
八幡平	女性	30 代	無職	すこやか療育支援事業助成について、現在は世帯収入によって助成対象であるかどうか判断されていますが、療育対象者である子が重度の心身障害児の場合は、たいていの家は片親（特に母親）が働けない状態にいます。1 人分の収入で家計を支えるために一生懸命働いて、それで世帯収入が規程より上回り、対象から外れてしまうのはいかがなものでしょうか。療育が必要な者が重度の場合は、世帯収入の有無は廃止するよう改善することを望みます。
八幡平	女性	30 代	会社員・団体職員	もっと子育て支援を充実させてほしい。
八幡平	女性	30 代	会社員・団体職員	保育士の給料を上げてほしい。
十和田	女性	30 代	公務員	赤ちゃんの祝い金について。ころころ変わりすぎです。第二子に何十万だったり、第一子に変わったり。その時々で一時的に払っても親が自由に使うだけで、本当に子どもに使われているものかは分かりません。その時だけの支援より、小・中まで所得制限なしで医療費無料など、病院にかかることをためらうことのない、子どもを宝だと思える市になってほしい。
花輪	男性	40 代	会社員・団体職員	子どもにもっと無償、無料で手厚い環境を整えてほしい。
花輪	男性	40 代	会社員・団体職員	これからも子育てしやすいまちづくり宜しくお願いいたします。
花輪	男性	40 代	会社員・団体職員	子ども 1 人目からでも 2 人目でもいいから厚い手当を付けるべき。でなければ人は増えない。
花輪	女性	40 代	会社員・団体職員	少子化と騒いでいるわりに対策がなっていない。ひとり親世帯の所得制限はなしにするべき。
花輪	女性	40 代	会社員・団体職員	コロナで苦しんでいるのは母子家庭や低所得世帯だけではない。元々、鹿角市自体、所得は低いのになんの支援もない。これじゃ、子どもを進

				学させられない。
十和田	女性	40代	会社員・ 団体職員	高校無償化の対象になりませんでした。仕事が多く子どもとの時間を さいて仕事をしていますが、一生懸命仕事をした結果、収入が多いと対象 にならないのは不公平です。
十和田	女性	40代	会社員・ 団体職員	高校までの通学手段のなさが、仕事をする上でとても大変です。仕事を していると、送迎もできません。子育て支援はお金の支援だけでなく、 高校までのスクールバスなどきめ細やかな対応も検討していただきたい です。
花輪	女性	40代	公務員	マル福は、収入に関わらず全ての子育て世帯に適用していただけると助 かります。
十和田	男性	60代	自営業	子どもを安心して育てられるような子育て支援の充実を望みます。

取組方針 8 高齢者のいきいきとした暮らしの支援

地区	性別	年代	職業	内容
八幡平	女性	30歳未 満	農林業	高齢者が多い町なので、アシスト付の車の補助額を増やしてほしい。（運 転が危ない人のため。）
花輪	女性	40代	パート・ アルバイト	高齢の方々がこれからも増えていくので、生活サポートだったり、病院 だったり、もっと充実してあげれば良いなと思ってます。生活するうえ での買い物も大変だとよく聞きます。「子・老」にやさしい市になって ほしい、周りを見ればわかると思います。
十和田	女性	40代	会社員・ 団体職員	身寄りのない者（まだ働く世代であっても）へのフォーマルな支援が有 れば安心して暮らせます。今年、社協の方にこういった支援があるか電 話してみましたが、実際にはなにも無いようでした。自分が急に亡くな った時に周りに迷惑を掛けたくないと考えているのですが、何かサー ビスを作っていただけると良いです。民間のサービスにお金を払って何 とかできるうちは大丈夫なのですが…（入院、賃貸住宅など）。かなり 将来に不安が有ります。どうかよろしくお願いします。
十和田	女性	50代	会社員・ 団体職員	老人のデイサービスですが、女性の方は楽しく利用している方が多いら しいですが、男性は行かされている感があってつまらないそうです。そ ういう方が多いので男性が生き生きとした気持ちで利用できるデイサ ービスを作っていただきたいです。
花輪	女性	50代	会社員・ 団体職員	敬老会を前のようにスポーツセンターにおいて飲食付でやってほしい。 担当の方の負担等お世話役も大変だと思いますが、一年に一度くらい高 齢者を敬っても良いと思います。
十和田	女性	50代	会社員・ 団体職員	非課税世帯の健康支援金（例）の導入を強く希望します。 ・介護を在宅でしている非課税世帯の配偶者へのサポート 父が、ショートステイやデイサービスを利用し、大変助かっているが、 配偶者やその家族には市からのサポートが現在ない。高齢の母が、介護 5の父を長い間介護している。非課税世帯の介護（4、5以上等）をして いる配偶者に健康支援金（例）として現金やクーポン（鹿角市で使用限 定、使用期間限定とし）介護をしている期間、支援してほしい。私は鹿 角で働いているが、車がなければ仕事も移動もできず、コロナ後、特に 収入も減り家族も援助が困難な状況にあり、自分の生活ですら厳しいた め、非課税世帯の要介護者（4、5以上等）のいる配偶者へ頑張って介護 を続けられる支援金制度を至急始めてほしい。夏のエアコンや冬のスト ーブ代を極端に節約し、体調をこわすような生活環境を変えてあげるこ

				とに、協力してほしいです。改善要望します。日々の業務おつかれ様です。支援金導入宜しくお願いします。
十和田	男性	60代	自営業	今後、高齢者が増える一方、成人前の子どもの数の減少が現実の問題としてある中、高齢者が免許返納などで行動の範囲が狭くならないような配慮が欲しいです。
十和田	女性	70歳以上	無職	私は70代の1人暮らしです。一戸建の家に住んでいますが冬場は雪に悩みます。車もいつまで運転できるかわかりません。子ども達は都会で持家生活です。先のことを考えると不安です。もし鹿角市でも老人マンションでその周りに病院、郵便局、色々な施設が傍にあり、しっかりした老人は自由に外出できる、そのような施設があればいいと思います。

取組方針 9 誰もが尊重され、社会参加できる地域づくり

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	女性	30代	その他	ひきこもりが多いことを知った。上手く言えないけど、もったいないと思った。未来があることをいろんな人に知ってもらいたいと思った。
花輪	男性	40代	会社員・団体職員	生活保護不正受給しっかり取り締まれ。必要な人間には払うべきだけど、払う必要のない人間がもらっている現状を市が放置して、税金払っている人間が不利益被るのは納得いかない。
花輪	女性	40代	無職	なかなか事業もやっぱり残念な方向になったと思いました。個人の事情を確認するようなやり方では、個人が特定され隠れられないだろうに。苦しんでいる人の声が消されてしまったなと思っております。弱い者の痛みに寄り添ってあげて下さい。
十和田	女性	40代	パート・アルバイト	子育て世代だけが生活苦ではないということを知ってもらいたい。
花輪	女性	40代	会社員・団体職員	生活保護の見直し
	男性	60代	無職	障害者の働きやすい所がない。

基本戦略 3 快適で安らぎのある暮らしを守る

取組方針 10 衛生的で良好な生活環境の確保

地区	性別	年代	職業	内容
十和田	女性	60代	パート・アルバイト	地下水を使用した生活で降水量の少ない時は不安だ。
花輪	男性	70歳以上	パート・アルバイト	ほかの町と比べると水道代が高いと思う。

取組方針 11 安全・安心な住まいづくりの推進

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	女性	30代	その他	空き家が多いことを知った。もったいないと思った。
花輪	女性	40代	会社員・団体職員	人口を増やすにはある程度便利でなければならないと思います。若い世代の方が住みたいと思える街づくりが必要だと思います。自然があって住みやすくても、住む場所がないという声も多いです。空き家をおしゃれにリノベーションして賃貸にするのもいいと思います。
十和田	男性	50代	会社員・	空き家の利用。老人シェアハウス（管理者付）、老人アパートなど。

			団体職員	
花輪	女性	50代	自営業	新築やリフォームを考えているなかで、子育て世代、高齢者には色々補助やサービスがあるがその他の世代にはあまりメリットが無いことが気になる。
花輪	男性	60代	農林業	他市町村と比較して住宅補助事業が無い。
八幡平	男性	60代	無職	空き家対策
花輪	女性	70歳以上	無職	空き家の問題。令和2年4月現在、レベル1のおおむね適正に管理が360棟、レベル2の管理不十分が518棟、レベル3の危険度が高いが77棟で計955棟となっている。管理が不十分、危険度が高い（595棟）ため、事故が起こる前に市での管理が必要です。
花輪	女性	70歳以上	無職	市には空き家が多くあるのでそれらの有効利用を考える。例えば、借主に安く利用させ、そのかわりとして持主には、固定資産税をある程度免除する等もあるのでは。

取組方針 12 地域に合った公共交通手段の確保

地区	性別	年代	職業	内容
十和田	女性	30代	パート・アルバイト	鹿角では高度な医療が受けられないため、弘前・盛岡・秋田市などへ通院するが、治療により運転できないこともある。その際バスや電車の本数が少なく自力で行くのが難しかった。高校の統合、高齢者は施設の車で通院等により、バス利用が減ることで今後本数が減っていくのではと思う。せめて学生が気軽に使えるよう補助があるといい。
尾去沢	女性	40代	会社員・団体職員	今は40代だから自家用車を使えるが、老人になったらバスなどの公共交通機関が必要になるものの、今住んでいる所がバス停まで遠すぎて不安も多い。はっきり言って老人には不便すぎる。
尾去沢	男性	50代	会社員・団体職員	高校生が早く終わってから、帰宅までの手段、交通の便がない。午前授業、行事など。
花輪	女性	50代	会社員・団体職員	人口減少で税収が少なくなると思うが、公共交通手段への今まで以上の手当てなどが必要になってくると思います。年寄り免許がなく1人生活も多くスーパーが遠いところでは、買い物もできない所も多々あります。たんぼこまち号はとても良いと思うが、巡回場所の地域を検討してもらいたいところです。
花輪	女性	60代	無職	運転免許を返納した場合の交通が便利になる良い方法があったら良いと思います。例えばバス料金が低額等。
十和田	女性	70歳以上	無職	高齢者が増えている鹿角。引きこもりがちの高齢者が買い物、病院、さまざまなサークル活動への参加等に気軽に外出できるよう、「足」となる移動手段をもう少し考えて欲しいと思う。
尾去沢	女性	70歳以上	その他	高齢に伴い、自家用車の運転が無理。山間部に住んでいるので、交通が大変なため、小型の公共交通を増便してほしい。

取組方針 13 ごみの適正処理と資源リサイクルの推進

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	女性	30代	その他	粗大ごみについて。指定不用品以外の粗大ごみを処理場まで運ぶことが負担な場合があるので、手数料がかかってもよいので近くのごみ捨て場から回収してほしいです。
十和田	女性	50代	会社員・	古着の回収を増やしてほしいです。

			団体職員	
花輪	男性	60 代	パート・アルバイト	粗大ごみとして出せる物の種類が少ない。例えばシルバーカーとかソファ、ベッド、イス等出したいものがいっぱいある。

取組方針 14 緑と水の映えるまちの環境の保護

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	男性	40 代	会社員・団体職員	熊をどうにかしてほしい。
十和田	男性	50 代	会社員・団体職員	熊問題…ウォーキング運動をしたくても安全にできない。ウォーキング、ランニングコースなど整備してもらいたい。
十和田	女性	50 代	会社員・団体職員	熊の出没が多く不安。山へ入らない対策は熊の増加につながり、ますます山へ行けない人、楽しめない人が増えるのではないかと（私は山へは行かないが）。遠足などどこも心配になる。
花輪	女性	60 代	無職	熊対策。山間部には冬期でも。
尾去沢	女性	70 歳以上	無職	熊の問題を何とかしてほしい。

基本戦略 4 暮らしの安全・安心を高める

取組方針 15 災害への対応力のある地域づくり

地区	性別	年代	職業	内容
八幡平	男性	60 代	その他	山菜採りで遭難が毎年あるので、各方面と話し合い、携帯がつながるように電波塔を増設すれば早期発見につながると思う。
花輪	女性	60 代	パート・アルバイト	きりたんぽ FM ですが、月 1 回試験放送が流れます。火災、熊情報とかも試験放送のようにできないものではないでしょうか。普段ボリュームを下げていますが、よろしくお願いいたします。

取組方針 16 火災や救急に対する体制強化の推進

地区	性別	年代	職業	内容
尾去沢	女性	70 歳以上	無職	林野火災の発生が多いので予防対策もっとお願いします。

取組方針 17 災害に強いまちの基盤整備の推進

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	女性	30 代	会社員・団体職員	昨年私の地域では除雪がなかなか来ず、道がガタガタで大変なことがありました。予算が少なくて大変かと思いますが、もう少し早く来てほしいと思いました。私の意見が少しでも役立てばと思います。
花輪	男性	40 代	会社員・団体職員	市道をなおしてほしい。
花輪	男性	40 代	会社員・団体職員	街が暗いため、街灯を増やしてほしい。
花輪	男性	40 代	会社員・団体職員	ネッツからゆたろうの道がただでさえまいのに、冬、除雪のトラックで非常に通りづらいのでどうにかしてほしいです。
十和田	男性	40 代	会社員・団体職員	小坂～花輪 片側 2 車線化を進めること。

尾去沢	女性	40代	会社員・団体職員	小さな道路に対してぼこぼこが多すぎる。
十和田	男性	50代	会社員・団体職員	県道66号の乳牛から小坂までの間なんとかならないものか。道は狭い、歩道は狭い、除雪もままならない、交通量が多い、運転していて最もこわい道路です。
尾去沢	男性	60代	パート・アルバイト	交通安全週間の前に、道路の補修（つぶれた道路沿いの柵を含む）、白線引き等は終えてほしい。
尾去沢	男性	60代	パート・アルバイト	空き家から滑り落ちた雪で道路が塞がってしまうことがあります。市に除雪依頼したところ『自治会に対応して欲しい』という返答でした。高齢女性が多い地域でとても除雪作業は無理なことです。除雪重機の機動対応をお願いしたいものです。
八幡平	男性	60代	その他	冬に東北道が通行止になれば、北上・仙台方面に行くにはR282号ですが、道幅が狭く、除雪すればますます狭くなって大型車同士のすれちがいもままならない。路側帯の拡幅、カーブの拡幅を考えてほしい。秋田は道路網が悪い。※横手～鷹ノ巣間、小坂～八戸間の道路整備を先に立って進めてほしい。冬も安定して走行できるように。
十和田	女性	60代	パート・アルバイト	除雪に関してはとても良いです。
十和田	女性	60代	パート・アルバイト	小・中学校付近の街灯の整備。
八幡平	男性	70歳以上	その他	市道の舗装も穴だらけ、自治会が報告しなくても雪解け後に見回りできたと思う。このようなことには税金は幾らでも使ってもいいと、私の思うことです。市の政策、事業色々ありますが、まずは足元からやりましょう。
十和田	男性	70歳以上	無職	除雪作業は早朝のみであるが、各自治会との連携のもと日中の実施や捨て場所が無く路肩に山積みになった除雪、除雪車の稼働先に対して自治会の意見希望を聞いて欲しい。
花輪	男性	70歳以上	自営業	冬期間の生活道路の安全確保。歩道の無い住宅地域の道路（通学路、高齢者の買物道等）除雪車による除雪の見直し検討を、お願い致します。
十和田	男性	70歳以上	無職	道路補修や水路補修の申請をしてもなかなか実行に移らない。
尾去沢	女性	70歳以上	無職	尾去沢字中田の側溝について、雨が降るとあふれ、一般道の市道まであふれるので、災害対策の迂回路として田んぼの道路を通るが、災害対策として舗装してほしい。市道より広いのでぜひお願いします。

取組方針 18 防犯や交通安全の推進

地区	性別	年代	職業	内容
尾去沢	男性	50代	会社員・団体職員	目の前の道路の通行スピードがあまりにも早いしマナーも悪い。老人たちがびっくりしている。調査等は行政か。警察か。

基本戦略 5 未来に羽ばたく人材を育てる

取組方針 19 子どもから青少年までの生きる力の育成

地区	性別	年代	職業	内容
十和田	女性	40代	会社員・団体職員	鹿角市ではスポーツを推進していますが、大湯小学校ではバスケットボールのゴールのボードがいまだに木製です。廃校になった学校のおさが

				りでもアクリル板を取り付けできないものでしょうか。子どもたちが少しでもいい環境でスポーツできるようにお願いします。
花輪	男性	70 歳以上	無職	中学校が統合したことはやむを得ないが、登校路がせまく、交通事故等心配。バス通学以外、家族の方が学校まで送迎し、その時交通が混雑状態になっている。行政が現場を見て対策してほしい。特に朝。

取組方針 20 地域の特色ある教育活動の実施

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	女性	40 代	農林業	もっと子どもたちに鹿角の魅力を伝えて欲しいです。鹿角から一度離れて、魅力に気づいて、鹿角に戻ってきたいと思う鹿角市にして欲しいです。

取組方針 21 自ら学び、行動する社会人の支援

地区	性別	年代	職業	内容
十和田	男性	40 代	会社員・団体職員	コモッセはとても良いホールあり。図書館の大きさもっと大きくてもよかったのでは。
尾去沢	男性	40 代	会社員・団体職員	コモッセの駐車場が狭い。イベント時にすぐ満車になる。

経営戦略 1 まちに人・モノ・外貨を呼び込む

取組方針 22 人や地域の活力を生む交流の促進

地区	性別	年代	職業	内容
十和田	男性	30 代	パート・アルバイト	東京から戻ってきましたが、就職支援も全くなし、コロナの影響もあるだろうが煙たがれる。これでは、鹿角市の人口が増える訳がない。鹿角市民、元気無さすぎ。
八幡平	男性	30 代	会社員・団体職員	移住者の年齢に応じた補助金支給が必要だと思う。若い生産性の有る人は多く補助金を出すとか。
十和田	女性	30 代	パート・アルバイト	鹿角への移住が盛んになっていると感じる。活気につながっていて良い。
花輪	女性	50 代	会社員・団体職員	昨年移住してきたものですが、給料の安さにびっくりしました。町の活性化のためには外食も必要だと思うのですが、生活費でいっぱいです。物価もそれほど安くはないし、ガソリンも以前いた県の方がかなり安いです。
八幡平	男性	60 代	自営業	移住促進事業に今後とも力を入れてもらいたい（人口を減らさない）。
八幡平	男性	70 歳以上	無職	移住する人を増やすこと。

取組方針 23 販売重視型農業と 6 次産業化の推進

地区	性別	年代	職業	内容
十和田	女性	50 代	会社員・団体職員	お土産になるお菓子があれば良いですね。

取組方針 24 稼げる観光振興の推進

地区	性別	年代	職業	内容
----	----	----	----	----

八幡平	女性	30 歳未満	農林業	自然をいかした施設（アスレチック等）を作れば、若い人が増えると思う。
花輪	男性	30 代	会社員・団体職員	他方からの観光・集客の取組を頑張ってもらいたい。
八幡平	男性	30 代	会社員・団体職員	魅力有る大自然を活かせる施設を増やしたりできたら良いと思う。（キャンプ場とかスポーツ施設とか。）
十和田	女性	30 代	パート・アルバイト	観光客の誘致がうまくいっていると感じる。観光地が整備されていて良い。
花輪	女性	30 代	パート・アルバイト	鹿角市は、もっと海外からの観光に力を入れるべきだと思う。コロナが終わったら、中国、韓国、その他色々な国の人に、たくさん来てもらえるように、英語を話せる人を増やす等、文化の違いをお互いに楽しめる雰囲気作りをしてほしい。 「あんたらあ」もまだまだ地元の住民が利用している方が多く、他県の人々へのアピールも足りていないと思う。 昔の方が合作でドラマを作ってロケ地に使われることも多く、良かったと思う。ハウステンボスまではいかなくても、外国の街並を再現してみる等、ネット文化に対応した若者、ファミリー向けの観光地を実現すべきだと思う。
十和田	男性	50 代	会社員・団体職員	観光のアピールの仕方
十和田	女性	50 代	無職	観光案内の看板に従って行こうとしたが、整備不足でたどり着けない所が多くあると感じています。標識が草木で隠れていて、初めてきてワクワクしていたのがっかりしたことがあります。市外から興味をもって来てくれるチャンスを失わないよう手間がかかっても手入れは必要だと思います。人が通れない危険な所に遊歩道入口の看板等あってはならないし、一度総チェックして撤去か整備が見直しがいる時期にきていると思います。
花輪	男性	60 代	パート・アルバイト	今有る特産物や観光資源を守り、さらに輝かせるかが人材の確保にも繋がる。微力な自分も常に頭においてすごしたい。でもいい考えが出てこないです。
八幡平	女性	60 代	無職	本場大館のきりたんぼ、元祖、本家きりたんぼ（以前、TV 等で見た秋田市の店名）。何故そうなったのでしょうか。と～っても悔しい。大体きりたんぼの所以は、南部の殿様に猟師がふるまった料理とされているのに、どう説明しているのかな。南部を佐竹にかえて話しているのかなあ。不思議。
花輪	女性	60 代	パート・アルバイト	国立公園世界遺産に登録された今、街路樹の枯れ木が目立つような気がします。他県ナンバー観光バスも多く見かけます。整備等できないものでしょうか。
八幡平	男性	70 歳以上	その他	私は妻と遠出するのが好きで色々な県、市町村に行きますが、その度感じるのが、人の集まる所、たとえばいくショッピングセンターの水路縁の雑草（管理は県でしょうが）他の県の人がどう思うか、観光地だからこそ県との連携できれいにしてもらいたい。このようなことには税金は幾らでも使ってもいいと、私の思うことです。市の政策、事業色々ありますが、まずは足元からやりましょう。
花輪	男性	70 歳以上	会社員・団体職員	鹿角市は北東北 3 県のだ真ん中。その発展計画の会議を鹿角市でできないものか。世界遺産あり、温泉あり、大会議ができるホテルあり、足りない物を補って行けば良い。そうするといろんな物が増えて行く。人の

				往来、所得、知名度、鹿角市の農産物、加工物、観光資源を造り出す、掘り出す。
八幡平	男性	70 歳以上	会社員・団体職員	当市は、観光を中心として生きていくべきと思う。八幡平に住んでいますが、国道 341 号の道幅の狭さ、路面の荒廃など、道路の状況が極めて悪いと思います。その上、倒壊した温泉施設や熊牧場跡などが無残にもバスの窓から観光客の目に触れ、地元の者として恥ずかしい限りです。秋田県、また直轄の鹿角市の観光に取り組む本気度が試されていると思います。他県から来る観光客の目線になって、しっかりと取り組んでもらいたいと思います。

取組方針 25 スポーツの力でまちの魅力を向上

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	女性	30 代	無職	未就学児の子育て中です。子どもが体をつかって遊べる屋内スペースがあればと思います。(体育館の中に公園の遊具があるようなイメージです。)アルパスやアメニティパークの体育館スペースでは、さすがに未就学児は遊べず(遊ぶとしてもすぐ飽きる、子どもの年齢によっては他の利用者がいると諦めざるをえない)、特に冬は外遊びさせられない天候が続くので子どもも運動不足になっていると感じます。
八幡平	男性	40 代	会社員・団体職員	アルパス発着でマラソン大会かハーフマラソン大会開催希望します。6 月か 8 月前半辺りが他と重ならないかと思っています。
八幡平	女性	50 代	会社員・団体職員	アルパスの雑草と植木、ボーボーで訪れるたびに恥ずかしいと思っています。
十和田	女性	70 歳以上	その他	取組方針 25 に対して、スキーマちだと思っていたんですが、学校卒業後が心配です。なかなか残れていない気がします。受け入れが少ないと思っています。

取組方針 26 次世代産業の創出への取組

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	男性	50 代	会社員・団体職員	市のスローガンなど、カーボンニュートラルを 2030 年達成の目標を設定することは、とても素晴らしいことだと思いますが、具体的にどのような形で達成するのか毎年の達成状況を市民に知らせる方法をきちんと説明してもらいたい。
十和田	男性	50 代	会社員・団体職員	風の利用(発電)
花輪	女性	50 代	会社員・団体職員	誘致企業、鹿角にはこないのでしょうか。それによって、若者たちが安定して働ける場所ができて活性化して、住みよい鹿角市になるかと思います。
花輪		50 代	その他	誘致する企業を工場などではなく、ファストフード店等を誘致した方が活性化の起爆剤になると思う。工場で稼いで市外転出の資金として貯めて、目標額になったら転出する理由は楽しみが何も無いからなので、働ける場所も必要ですけど早急に必要なのは楽しめる場所だと思います。
八幡平	男性	60 代	その他	人口減少は全国的な問題なので安定定住に向け、国からの税に頼らない市独自の財源確保の観点から市営の地熱発電を所有し、売電収入を得たいのでは。全国的に電気不足が懸念される中、市の電気が安定すれば企業の進出も出てくるのでは。他と同じことをしてても進歩はないと思う。だから今まで進歩がない。

花輪	女性	60代	無職	風力ならいいのではないのでしょうか。
花輪	男性	70歳以上	無職	若者が楽しめる場所、若者が仕事をできる町。大館、小坂にお仕事で入っている若者が多いと思う。
尾去沢	男性	70歳以上	自営業	若者の地元へ定着ができる施策が必要だと思います。鹿角の地は災害も少なく、観光地もたくさんあります。高速道路も秋田市、盛岡市、青森市、八戸市へのほぼ中間点にあり、企業立地にとって大変よいと思います。もっともっと全国へ執拗にアピールすべきです。
花輪	男性	70歳以上	無職	「鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティ宣言」を行われたことは素晴らしいと思います。しかし、本アンケートの「設問 10②」の項目について違和感を覚えます。市長は、その分野の専門家であると大いに期待していますが、それにしては項目の意図内容がやや不明瞭に感じます。設問 10②に関して、人工林経営は化石燃料の消費による炭素放出を相殺するものではありません。森林で生産された木材は、そのライフサイクルを通して見た場合には、放出炭素削減には寄与しません。光合成によって空気中の二酸化炭素を吸収した植物は、それが材として使われるか微生物によって分解されるか、いずれにしても吸収した二酸化炭素を全て放出してしまいます。 項目：9.間伐や植林の推進など林業への取組について、間伐・植林は、林業経営の経済性持続性にとって重要な施策ですが、本来カーボン・ニュートラルとは無関係です。間伐によって林床に日が当たると落葉も腐植土も微生物によって分解され、吸収していた二酸化炭素は全て再び大気中に戻ってしまいます。植林・造林されて一定の大きさに育った樹木は木材として商業化され、やがては廃棄焼却されて同じ量の二酸化炭素を放出します。
八幡平	女性	70歳以上	無職	カーボンニュートラルですが、風力や水力だけではなく、水素も視野に入れて検討してもらえれば…。水素関係の運搬や保管、あとは必要な資格も緩和もしくは取得しやすくなれば、それだけ普及するのでは、と思いました。
花輪	女性	70歳以上	無職	当市は、少子高齢化の市である。これらをなくするには、市に企業を誘致して若い人が働ける職場をつくる。これによって若い人が結婚、子どもが生まれ、少子高齢化がなくなるのではないかと。

経営戦略 2 「世界遺産のまち」をつくる

取組方針 27 文化財の保存への取組

地区	性別	年代	職業	内容
八幡平	男性	30歳未満	会社員・団体職員	文化遺産で市を売り出しても、それに興味を持ち、維持する担い手がいなければ意味がないと思います。やりたくないことをやらされるだけなら、やらないままでいい。現状、20代から40代は60代に比べて少ないし、いつまでもあの頃を引きずって、押し付けて、おいしいところだけいただこうとしているのかと思います。今の鹿角で考えてほしい。色々な所を視察して、その人たちが抱えている問題や要望を聞いてほしい。現状も知らずにあしらわれるよりありがたいです。
花輪	男性	60代	無職	郷土芸能の伝承などに、行政側の援助を必要だと思います。

取組方針 28 ヘリテージ・ツーリズムの推進

地区	性別	年代	職業	内容
十和田	女性	50 代	会社員・ 団体職員	ストーンサークルの存在の意味などが判れば良いと思う。神秘的ではあるが、見に行ってもはっきりしないのは、魅力に欠ける。他にも引きつけるものがあると良い。
花輪	男性	60 代	無職	ユネスコ遺産をコマーシャルして、活気を取り戻すのに、行政側の援助を必要だと思います。
花輪	男性	70 歳以上	自営業	ヘリテージ・ツーリズムをお祭りだけにとどまらず、もっと目を注いで、それらの保存活用にはリテージマネージャーを活用してほしいものです。よろしくお願い申し上げます。

経営戦略 3 まちの経営力を高める

取組方針 29 効率的な行財政運営の推進

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	男性	40 代	会社員・ 団体職員	多少の不便や不満は生じるだろうが、人口も減っているため箱物は減らすべき。限られた予算は経済活性化や人口を増やすための施策に投入しなければ近い将来に鹿角市は消滅すると思う。
花輪	女性	40 代	パート・ アルバイト	少子化で学校の統合は、良いと思います。人口もどんどん少なくなって、今いる人たちのこれからを考えて、いらない工事はしない、市民によりそう市であってほしいです。
十和田	男性	50 代	会社員・ 団体職員	建物などが増えても、維持費に税金がかかる。
尾去沢	男性	60 代	無職	日本一税金の安い町を作ることおすすめ。道路、建物を作ることはもうやめた方がいい。地方の良さとは、地域に置かれた環境によるところが大きいと思われます。都市には都市の良いところがあります。水道、ガス、電気など。鹿角は意外と高いです。
尾去沢	男性	70 歳以上	自営業	市民の税金は平等ですが、滞納者は 5 年で消滅し、市の税金 4500 万円の損失になりました。これも市民の負担になっています。市民も事業者も必至で支払っているのに、さらに増税になりませんか。滞納者には責任もって対応し、自己破産した上で放置するのはやめて下さい。何年かかっても支払う義務があると思います。これからでも遅くはない。改善要望です。市税の軽減にも少しは目と耳をかたむけて下さい。

取組方針 30 未来技術の導入の推進

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	男性	50 代	会社員・ 団体職員	市のホームページは非常に閲覧しにくい。もっと直感的に見たいページにアクセスできるようにしてもらいたいです。
花輪	女性	60 代	無職	各税金の支払いにワオン等使用できたらうれしいと思います。

取組方針 31 多様な主体の力で共に発展するまちづくりの推進

地区	性別	年代	職業	内容
尾去沢	男性	50 代	会社員・ 団体職員	自治会で問題、トラブルがあった場合、自治会内で解決できない場合、どうすればいいのか。相談場所はあるのか。
八幡平	男性	60 代	無職	少子高齢及び世帯数の減少により自治会の運営が困難にある。
尾去沢	男性	70 歳以上	パート・ アルバイト	私のいる自治会は、住人の高齢化や過疎化で自治会の老人クラブや子ども会（子どもがいなくなったので）の活動をしていない状態です。会長

				や役員になる方がなりたくない方が多いみたいで、班ごとに毎年選出するようになっています。強制的に選出しなければならない状態で、自治会の親睦とはかけはなれてきていると考えています。他の自治会でも同じような状況になっているのではないのでしょうか。私の自治会では何年後かには戸数がさらに減っていると思われます。どのような自治会運営ができるのか不安です。
--	--	--	--	--

取組方針 32 コンパクトなまちづくりの推進

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	男性	40 代	会社員・団体職員	商店街の活気が欲しい。ハミングカード協会の運営の仕方に、多少疑問があります。
尾去沢	女性	40 代	会社員・団体職員	ハミングカードに対しても魅力がない（自分が使える所が少ない）。
八幡平	男性	60 代	その他	無駄のない税金の使い方をして頂きたい。潰れたホテルを再生するとか、もう少し考えて慎重に行動して頂きたい。
花輪	女性	60 代	パート・アルバイト	世界遺産に登録された今、一緒に商店街の空き家、店舗の活用もできないものでしょうか。
花輪	男性	70 歳以上	無職	お店が代替わりしてから、町のお店に活気が無いように思う。町にもう少し、活気がほしい。
八幡平	男性	70 歳以上	無職	市の中心地が元気になってほしいです。
花輪	女性	70 歳以上	無職	鹿角市の中心市内で商店等の閉店が相次いでいる。今後ますます増えると思います。市ではどのように考えていますか。
花輪	女性	70 歳以上	会社員・団体職員	中心市街地の空洞化を止めるため皆が胸を張って鹿角は住みやすいところと自慢できる街づくり。例えば核となるような店舗を行政が後押しをして街をつくる。

(2) 政策全般に関すること

地区	性別	年代	職業	内容
尾去沢	女性	30 代	会社員・団体職員	鹿角市 1 番の懸念材料である人口減少をなんとかしていただきたいです。
尾去沢	女性	30 代	会社員・団体職員	鹿角市は東北北部中央に位置しています。この地の利を活かした政策を考えてみてはいかがでしょうか。
花輪	女性	30 代	会社員・団体職員	生活支援の充実を望みます。
花輪	女性	30 代	パート・アルバイト	第一優先は市の存続。外部からの資金集め。お金を集めるためには自然を活かしつつ町全体の雰囲気統一して、景観から圧倒させるくらいがいいと思う。県外や外国から来た人が何度も足を運びたいように、自然に馴染む古民家を生かしたお店や会社、ロッジ風の建物を増やすとか。昔ながらの喫茶店も素敵だし、くつろげるカフェも増えてきているので「喫茶とカフェの街」にしてもいいかも。地元の農畜産物を使って貰えばアピールにもなる。どんなテーマにするにしても「統一」は重要だと思います。
花輪	女性	30 代	会社員・団体職員	コロナもあり、色々予算の中での政策になると思います。必要によっては需要が少ないものや維持でお金がかかる所もあると思います。医療や

				福祉にもう少し予算があればと思うことがあります。
十和田	女性	30 代	パート・アルバイト	市内に遊べる場を作ってほしい。自然を生かした市営キャンプ場など、管理、利用することで熊対策につながらないだろうか。
花輪	男性	40 代	会社員・団体職員	過疎化が目に見えて急激に進み、子どもたちが鹿角に残らないのは、当然だと思う。なぜかと言うと、魅力がない。買い物するにも大館、弘前、盛岡に行って金を使ってくる。北東北の中心に鹿角市があるのに何も取り組んだ姿勢がない。将来性のある子ども達に、鹿角に残らなくていいよと言っているようなものです。
十和田	男性	40 代	公務員	何か全国的に注目されることに集中していただき、少しでも人口が増えてくれればと思います。
八幡平	男性	40 代	会社員・団体職員	厳しい世の中ですが、それなりに地域が好きなので、極端に変わらずに1歩1歩確実に共に進んでいけたらと思います。
十和田	男性	40 代	会社員・団体職員	何をするにしても大館や鹿角市以外に行くのをやめれば良いと思う。
十和田	男性	40 代	会社員・団体職員	もっと若者が集える場があった方が良いと思います。
花輪	男性	50 代	会社員・団体職員	安心安全のまちづくりをするため色々やっているようですが、市民はどこまで何が達成されたのか知らない人がほとんどだと思います。市民に市の取り組みをきちんと周知してもらいたいと思います。
花輪	男性	50 代	会社員・団体職員	油の値段が高く生活が大変になりました。良い政策をお願いします。
花輪	女性	50 代	会社員・団体職員	この鹿角には、誇れるものがたくさんあるにもかかわらず、それが世間に伝わってないと思う。やり方次第（PR）で鹿角が元気になればと常に思ってます。他の市に比べても鹿角は一步遅れてる感じがします。
十和田	女性	50 代	会社員・団体職員	色々大変とは思いますが。鹿角は良い所です。自然、のどかさの他、弘前・盛岡へもアクセスが良いし田舎だけど満足しています。まちづくり頑張ってください。
八幡平	男性	60 代	その他	若者たちが集まる場所（ショッピングモール）。
花輪	男性	60 代	その他	色々な政策や試みを行っていることは評価できるが、他の地方公共団体も同じことをしている。差別化を図るような政策が必要になっているのではないか。
花輪	男性	60 代	無職	市の政策に目新しい発想が足りない 鹿角市といえばこれとすぐ出てくる代名詞がない。田舎のフツーな自治体のイメージです。民間、JA、各種団体とタッグを組んで継続的に続けていける行事、施策をお願いします。
花輪	男性	60 代	パート・アルバイト	施策を行うにあたり国、県からの補助金に頼るところが大きいと思うが、補助金がついて事業を行ったは良いがその後の維持管理が十分に行われず、5～6 年後には荒れてしまっている事業が見受けられる。要は予算だと思うが、補助金が出るからと安易に新たな事業に手を出すことなく、持続的な維持管理が可能かどうかも含め、新規事業を行っていただきたい。
尾去沢	男性	60 代	無職	市が事業をやると言うことは、税金で賄うということなので、止めた方がいい。必要なことはクラウドファンディングで行う方がいいと思う。なんでもかんでも市が行うという考え方は止めた方がいいと考えます。目指すは日本一安い税金の町。これを目標とすることが繁栄に繋がると思われます。

十和田	男性	60代	無職	鹿角市の活気や魅力を大いに県内外に発信してほしい。
十和田	男性	60代	無職	若者が市の何かに携わりたいと思える街づくりをお願いしたい。
十和田	男性	60代	農林業	市の人口を増やすこと。
	男性	60代	無職	若者の娯楽の場所がない。
花輪	女性	60代	無職	鹿角のPRをかねて…（効果的にSNS等も活用）県内外からの参加型、クラフト・ハンドメイド展の開催（毎年）や映画のロケーション、学校（大学関連など）、ワークショップ等の誘致など。（学生なくして未来も活力もなし。）
花輪	女性	60代	その他	少子化が進んでいるということはまだまだ若者が魅力ある働く場所がないこと、そして結婚しても安心して出産できないことだと思います。実際に我が子どもたちは大学進学を機に、そのまま関東圏に就職しています。先々の事を考えると不安で仕方ありません。
尾去沢	女性	60代	無職	市外地勤務が長く、退職後の現在は日常の買い物は鹿角市で行うも外食も衣類の買い物も市外に出てしまう。鹿角市の政策・事業に向き合おうにも今さら難し過ぎて気に留めることなく今日にいたっております。後期高齢者になって不自由なことに気づいても遅いと思う。今は鹿角市の政策・事業等、知らないことに不安もいっぱいありますが、長年幽霊住民だったために仕方ないと思います。
花輪	男性	70歳以上	会社員・団体職員	鹿角市の抜本的な都市計画。花輪・八幡平・尾去沢・毛馬内・錦木・大湯・小坂も含めて繋がりのある鹿角市づくり。
十和田	女性	70歳以上	無職	何か、毛馬内町に持って来てほしいです。月1回ぐらいでも軽トラック市日をしたらどうでしょうか。

(3) 職員・市長・市議会議員に関すること

地区	性別	年代	職業	内容
八幡平	男性	30歳未満	会社員・団体職員	市議会の質問時間の短縮、議会の時間の短縮、若い世代の役職への参入。上が同じだと下も諦めている。何も変わらない、変えてくれない。いつまで座っているのか引き際を気づいてほしい。
花輪	女性	30代	パート・アルバイト	いつもお仕事お疲れさまです。大変なことも多いと思いますが市の職員の皆様のおかげで、毎日安心安全に暮らせてます。
十和田	女性	30代	公務員	前市長の逮捕は市民にとって衝撃的だった。市長＝市のトップが不正を働くことということは、その部下である市役所職員も疑われる。全員が悪いわけではなく、一部の人が行ったことにより、真面目に勤務している職員には迷惑な話です。市役所、消防は公務員としての教養（職務倫理など）受け、市のためになるよう心を入れ替えてください。改革が必要です。人事異動も必要です。長く同じ部署にすぎると、良くないです。
花輪	男性	40代	会社員・団体職員	北東北の中心に鹿角市があるのに何も取り組んだ姿勢がないと、何十年と議員と話す機会もあり訴えていたが、選挙の時だけニコニコ顔。早く次世代にポジション渡した方がいいと思います。
花輪	男性	40代	会社員・団体職員	市役所の人が優しくない。
花輪	男性	40代	会社員・団体職員	前市長の不正に加担した市役所員全員クビにしてほしい。
花輪	男性	40代	会社員・団体職員	無駄に多い市議会議員、多過ぎ。半分でいい。ほとんど使えない。

花輪	男性	40代	会社員・ 団体職員	市役所の人間の態度が良くない。何様。
花輪	男性	40代	会社員・ 団体職員	誘致企業を散々潰した前市長のせいで衰退した鹿角市を市長に立て直して欲しい。
花輪	男性	40代	会社員・ 団体職員	人口も減っている所以議員は減らすべき。
十和田	男性	40代	会社員・ 団体職員	市長は鹿角市の再生に向けて頑張っていると思います。これから先も鹿角市のために頑張ってもらいたいと思います。
十和田	男性	40代	会社員・ 団体職員	官製談合に対して市議会はごく一部の議員のみの動きだけで他議員の動きがなく議会の機能が果たせていないと思う。このような状況であるのであれば、議員定数削減、議員報酬削減を実施し無駄な税金を抑制したほうが良いと感じます。
花輪	女性	40代	その他	前市長の逮捕など、市の体制について不信感がある。
花輪	女性	40代	農林業	市役所に用事で行くと、挨拶も無く、知らんぷりの人が多すぎます。
尾去沢	女性	40代	会社員・ 団体職員	職員の対応が悪すぎる方もいる（電話の場合特に）。わからないで聞いているのに、答え方が怒られている感じにみられる。私だけの意見じゃない。私の周りで市役所に行くと、感じ悪い態度が嫌だと言う人もいます。凄く良い方もいます。
花輪	女性	40代	会社員・ 団体職員	市議会議員の定数削減、市職員の定数削減。税収が減っている中で、本当に必要なのか。議会をやっているにも本当に市民のために動いてくれているのは何人いますか。長く議員をしているために、前市長のような事が起こるのでは。県外の知人に言われ、とても恥ずかしかった。市の職員の方も何もせずお茶だけ飲んで、会話をしている姿をよく見かけます。特定の人だけが忙しくしているように見えます。人材が足りているなら、足りていない会社に出向し、社会勉強したらどうですか。
十和田	女性	40代	パート・ アルバイト	不正のない透明感のある市政運営を望みます。
十和田	男性	50代	会社員・ 団体職員	市役所の人員削減を目指して欲しい。無駄な人材が多い。市民の暮らしを良くするよう先ずはそこからだと思う。貧富の差も多いし、色々手当を貰ってる人たちの再調査を厳しくして、不正受給を無くして欲しい。もっと市民に向けた政策を市役所は親身になって考えなければならない。市議会議員もしかり、結局縦社会。市民に寄り添った政策に期待する。
十和田	男性	50代	会社員・ 団体職員	市会議員の定年制
花輪	女性	50代	会社員・ 団体職員	前市長のしてきたこと、繰り返さないこと。市議会議員等のコネで市の職員になることが許される制度を無くして欲しい。役立たずの温床になってしまいますよ。
十和田	女性	50代	会社員・ 団体職員	副市長の件はどうなったのか知りたいです。
八幡平	女性	50代	パート・ アルバイト	市会議員の議員数削減（市民が決めるべきだと思う）。
花輪	女性	50代	会社員・ 団体職員	市役所職員の横柄な対応、態度はいつ行っても何年行っても変わらない。親身になってくれない。
十和田	女性	50代	会社員・ 団体職員	前市長の逮捕、鹿角市民として恥ずかしい。税金の使い方。

花輪	男性	60代	パート・アルバイト	市職員の対応が以前に比べ、丁寧になってきている感じがしています。
十和田	男性	60代	無職	鹿角市がもっと良くなるよう努力邁進してほしい。とくに市議会の議員さんたちは鹿角市のために頑張ってください。
八幡平	男性	60代	会社員・団体職員	市の職員の対応に格差がある。
十和田	男性	60代	無職	市役所退職後の民間企業への天下りは感心しない。
八幡平	女性	60代	無職	皆が笑顔であいさつできる町、市会議員の皆さん方には、もう少し親身になって頑張してほしいと思います。
十和田	女性	60代	無職	市に相談があっても、あまり相手にしてくれていないような話し方をされる。もう少し話を聞いて欲しい。笑顔で市民に対して接して欲しい。
花輪	女性	60代	パート・アルバイト	福祉関係について、職員の方々の知識の向上、資格をお持ちの専門職員もおられて、老人世帯も増えてきていますが、安堵しております。
花輪	男性	70歳以上	自営業	市の政策、事業の実状、各種手続き等について、市民の声を聴くアンケートを今後も密に聴き取りつつ、庁舎の内で仕事をする行政マン、議員の人々は一人一人の声なき声に目を向け、耳を傾け、心情に寄り添った自分のこととしてとらえて鹿角市の市民、住民が心豊かに、ここは住み良い地域として生きられるように、常に人々の声を聴き、やれることを知恵と工夫をして、共助、自助の地域づくりをしていけたら、素晴らしい鹿角市になると思っています。
十和田	男性	70歳以上	無職	市が委託している社協事業、子ども未来事業団、福祉法人等の事業実態を利用者目線でチェックして欲しい。金を出すからには、職員数だけではなく、職員個々の資質までみて欲しい。子どもから高齢者まで住み易い街づくりにつながります。
尾去沢	男性	70歳以上	自営業	前市長が裁判中ですが、市民に対する屈辱感が残って、16年間何をやって来たのか裏切りだとはっきり言いたいです。
花輪	男性	70歳以上	パート・アルバイト	自治会長をしています。役所の方へ相談に行きますがほとんど要望をかなえてもらってます。今後もよりよい地域づくりに努めますが、協力よろしくお願いします。

(4) 市の窓口・行政手続きに関すること

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	女性	30歳未満	会社員・団体職員	各種手続きの手順を周知する環境があればと思います。テレビや SNS 等でさりげなく見ることができれば個人的には嬉しいです。
花輪	男性	30代	会社員・団体職員	市役所を土日営業して欲しい。
十和田	女性	30代	パート・アルバイト	年齢と共に市への手続き等することが増えると市政や事業にも関心を持つようになった。今まで知ろうとしなかったことが大きかったと思う。鹿角市を知ろうとするきっかけにわかりやすく伝える SNS の活用は有効だと思う。
十和田	女性	30代	パート・アルバイト	行政窓口がいくともできて使いやすくて良い。
花輪	男性	50代	会社員・団体職員	市民と接する窓口や外部施設では対人影響力の優れた方の配置が望ましいです。
十和田	女性	50代	公務員	毎週水曜日の市役所 19 時までの開庁、いくとも窓口の運用などとても助

				かります。ただ税関連の証明がいくと取得できないことが不便だと感じることがあります。
尾去沢	女性	50 代	会社員・ 団体職員	死亡届など、一か所でするようにしてほしい。
花輪	男性	60 代	農林業	他市町村と比較して各種手続きが面倒。
花輪	女性	70 歳以上	会社員・ 団体職員	鹿角は高齢化も進んでおり、花輪も上花輪地区あたりにも簡易の行政手続き機関などがあると楽（冬が長くて雪国であるため）。
花輪	男性	30 代	会社員・ 団体職員	市役所を土日も営業して欲しい。

(5) アンケートに関すること

地区	性別	年代	職業	内容
花輪	女性	30 歳未満	会社員・ 団体職員	返信用封筒に両面テープを貼るなど、返送しやすいようにしていただきたいです。
十和田	男性	40 代	会社員・ 団体職員	まずはアンケート用紙を回収したいなら、封筒と紙の大きさをそろえたら。経費を使っているのだから、無駄を出さないでほしい。
十和田	男性	40 代	公務員	アンケートを記入してみて、内容が伝わらない基本戦略があることを知りました。職員の皆様は各課工夫をこらして業務を行っていることと思いますが、結果が見えてこない戦略もあると思います。
花輪	女性	40 代	会社員・ 団体職員	市の運営のためのアンケートを実施後、どのような結果がでて、今後市としてどのような取り組みを行う必要があるのかなど、具体的に提示（広報などで）して下さいをお願いします。アンケートを実施しただけで、その後の動きを見えるようにしていただきたい。アンケートを取っても、結果特に変化もなければ、アンケートする意味はありません。
十和田	女性	50 代	公務員	直接関係しないことですが、このアンケートに web 回答しようとアクセスしました。回答が進むと、考慮する時間が長くなったり（少し居眠りしたり）すると画面が消え、最初からやり直しということを3回くり返しました。私のスマホの設定のせいでしょうか。（少し疲れました。）
十和田	男性	60 代	無職	このアンケートの結果を公表して下さい。
尾去沢	女性	60 代	無職	このようなアンケートは、未来のある若い方にお願いした方がよいと思います。
花輪	男性	70 歳以上	無職	70 代になつてのデジタル化、テレワークとか、横文字で書かれても、意味が分かりません。
十和田	女性	70 歳以上	無職	表紙にある無職って、何だろう。毎日、忙しくしているのに。

(6) その他

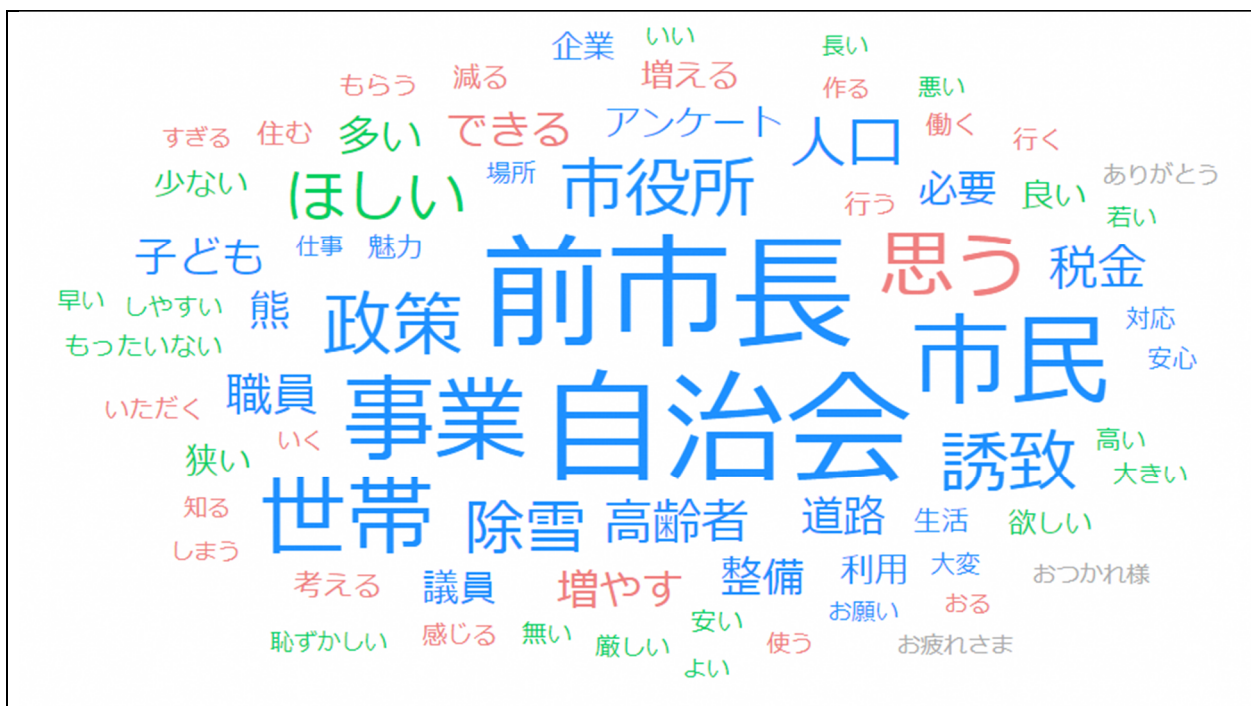
地区	性別	年代	職業	内容
花輪	男性	30 歳未満	会社員・ 団体職員	チェーンの飲食店が増えてほしい。
十和田	男性	30 代	パート・ アルバイト	飲みに行くにしても、代行の費用もかかり結果家で飲んでた方がよいとなる。市やら、民間企業で夜も遅くまで送迎バス等が利用できるようになれば良いのでは。居酒屋等、夜が栄えていない街はいずれ廃れる。
尾去沢	女性	30 代	会社員・ 団体職員	市民税など税金が年々高くなっており生活に重くのしかかっておりまず、減税の方向を検討してもらいたいです。
尾去沢	女性	30 代	会社員・	（鹿角市市制 50 周年記念ロゴシールを全て貼付して）こういうこと自

			団体職員	体ムダ。このシールを市民の何人が喜んで貼ると思うか。よく考えてほしい。
十和田	男性	40代	自営業	公共の場のトイレですが今の時代和式は普通では有りませんし、ウォッシュレットが無いとかなり不便です。早期に対処願いたいと思います。
花輪	男性	40代	会社員・団体職員	市県民税が高すぎる。
花輪	男性	40代	会社員・団体職員	無駄な集まりが多くないですか。
十和田	男性	40代	会社員・団体職員	日々、地域のための活動恐れ入ります。ともに良くして参りましょう。
十和田	男性	40代	自営業	中心都市部を創って頂きたいと思います。私ならショッピングモールを案として考えます。人に来てもらう街で無ければ、あと数年後には鹿角市は衰退してしまいます。インターも3つある街はそうそうありませんし、花輪の商店街が昔からの考えだから前に進まないと思います。
花輪	女性	40代	農林業	子どもや大人が冬場や雨の日に遊べる場所を作って欲しいです。
花輪	女性	40代	無職	個人的にはまだ油断できないのに、大分危機がゆらいでいるんだなと思っています。振り出しに戻らないこと、願ってやみません。ウイルスの収束が見えますよう祈っております。心ない人はやはりどこにでもいるんだなと思いました。悲しむ人が少しでも減ってくれるといいのですが…。
十和田	女性	40代	会社員・団体職員	コロナ対応についてですが、鹿角市の発熱センターはいつ移動したのでしょうか。コロナがピークの時は、厚生病院の発熱外来はてんでこまいでした。ひどい時には、車で何時間も待たされる患者さんもいました。救急外来をやりながら、発熱、コロナ対応は現実ムリです。救急がストップしないため、患者を分けるための発熱センターだと思うのですが、必要な時には稼働しておらず、ただの見せかけにしか思えませんでした。コロナ対応、発熱センターへの予算もついているのではないのでしょうか。発熱センターはどうなったのでしょうか。
十和田	女性	40代	会社員・団体職員	ワクチン接種会場のスタッフの多さにも驚いたし、スタッフの時給の高さにも、ビックリしました。そのスタッフの1人でも発熱センターにまわしていれば、対応できたのではないのでしょうか。私たち、コロナ対応し、危険な業務をこなしていても、ワクチン接種会場のスタッフの方々の時給よりずっとずっとずーっと安いんです。そんなに高い時給はもらえていません。おかしくないですか。
十和田	男性	50代	会社員・団体職員	スーパー（ビッグ、業務スーパーなど）安く買物できるようなところ
十和田	女性	50代	公務員	鹿角市の新型コロナワクチン事業は早目に、分かりやすく手順が踏まれ、良くできていたと思います。ありがとうございます。
八幡平	女性	50代	パート・アルバイト	市民が安心、安全な生活を送れますように、もっともっと努力して欲しい。
八幡平	女性	50代	会社員・団体職員	国保税高すぎ。一生懸命働いたのに、巻き上げられている感じがする。
八幡平	女性	50代	会社員・団体職員	各種施設の管理人さん方、暇そうにしている。敷地の草取りくらいしてもいいんじゃない。
尾去沢	男性	60代	無職	先日、タクシーの運転手さんからパークホテルの売却の話が出ていたと聞きましたが、本当でしょうか。いろんな人に話を聞くと、三億円もか

				けてどこを補修したのか、見た目に全然分からないという意見が多かった。レストランは依然より高くなって、床のジュタンとか内壁の汚れも前のままだという意見が多いです。前市長の談合事件の事もあってか、パークホテルにも絡んでいるのではないかと悪かれてなりません。どの改修部にどのくらい掛かったのか、明細を公表することは可能でしょうか。結局、パークホテルも鹿角市の負の資産となるのでしょうか。
十和田	男性	60代	会社員・ 団体職員	市の古い条例や規則を見直すべきと思う。
	男性	60代	無職	大型のショッピングセンターをつくって欲しい。
尾去沢	男性	60代	会社員・ 団体職員	市行政運営ご苦労様です。今後の鹿角市発展のため、よろしくお願いします。
八幡平	女性	60代	無職	若い人であっても、後期高齢者であっても安心して暮らせる鹿角市であってほしいと思います。
十和田	女性	60代	会社員・ 団体職員	大湯在住ですが、困っていることは、昼と夕方のチャイムが鳴らなくなったことで、仕事をしていても時間がわからず、大変困ります。予算がなくて修理できないと聞いた事がありますが、生活する上で重要な必要事項だと思います。他の人ともそういう話をすることがあります。ぜひご一考の程、お願い致します。(朝の7:00のサイレンは鳴っています。)
十和田	女性	60代	パート・ アルバイト	ドライブスルーで利用できるファストフード店があればうれしい。
花輪		60代	会社員・ 団体職員	人口3万弱の市ではできることは決まっているし、未来は明るくないように思う。数十年後、どの位の人口を維持できるのかおそらく半分以下になっていると考えられる。今の人口を保つためには、よほどの政治力を持った人物が現れるか国の大きな政策を担う市に選ばれるとかそんなことでもない限り残念ながら衰退していくしかないのでは。これは、この近辺の自治体全てに言えることだと思う。自治体だけではどうにもならないことが多いように思い、やはり国がちゃんとした政策をもって政治を進めていかないと自治体の発展は無いのでは。今の政治ではだめだ。
花輪	男性	70歳以上	無職	スマートフォンとかパソコン、ゲーム機とかになってから、人間の気持ちが変わったように思えて、人々の言葉かけ、おもいやりがなくなったように思う。感謝の気持ちが薄れてきたようにも思う。
尾去沢	男性	70歳以上	自営業	この町に今必要なのは駐車場とスーパーですが、主婦の目線として一ヶ所で買物ができるといいです。コロナで節約し生活するため、県外の大手スーパーまで行っています。
十和田	男性	70歳以上	自営業	鹿角市の町の活気がなく思います。コロナが無くなったら、もう少し良くなるのでしょうか。若い人達の活気で、鹿角市を取りもどしてほしい。
八幡平	男性	70歳以上	農林業	ハローワークで紹介され就職するのに中間マージンを取るような仕組みがあるのは納得できません。そういう組織が実在すること自体が一番の妨げです。絶対に無くすべきです。
十和田	女性	70歳以上	無職	毛馬内町 誰も人がいないし夜はすごくさみしい町になり、こわいです。(格子の黒い戸) が夜になるとこわいです。
花輪	女性	70歳以上	会社員・ 団体職員	市の機関ではないのですが、上花輪郵便局が閉じ大変残念という声は沢山あります。

(7) AI テキストマイニングの活用による分析

設問 12 で記述のあった自由意見について、AI テキストマイニングにより可視化しています。テキストマイニングは、大量のテキストデータから必要な情報を抽出するのに役立ちます。今回はユーザーローカルのテキストマイニングツールにより解析しており、単語を重要度に応じてスコア化し、スコアが高い単語を複数選出、その値に応じた大きさで図示しています。



(ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析)

スコア順に解析した結果、最も高いスコアとなったのが、「前市長」です。前市長の逮捕に対する意見は今回の自由記述にも多く見られ、衝撃の大きさを表しています。一日も早く市民の皆様のご信頼を回復できるよう、職員一同、誠意をもって公平公正な市政運営に取り組んでまいります。

2 番目に高いスコアとなったのが、「自治会」です。会員の減少による自治会運営の問題や共助をお願いしている除雪などでの自治会の関わり方についての意見が多く寄せられました。

3番目に高いスコアとなったのが、「市民」です。「市民に寄り添ってほしい」「市民のために頑張ってほしい」などの意見が多く見られた他、市の取組全般について、市民への周知を望む声もありました。

4 番目に高いスコアとなったのは「事業」です。特定の事業に対する個別の要望が多く見られましたが、市政の取組に対する意見も見られました。

5 番目に高いスコアとなったのは「世帯」です。「世帯収入」「非課税世帯」など、各種事業での所得要件に対する意見が多く寄せられました。

その他にも、「政策」ではより良い施策を期待する声が多くあり、「誘致」では企業や店舗、学校機能の誘致を望む意見が見られ、「市役所」では職員の対応に対する意見や市役所の開庁時間に対する意見がありました。

これらの貴重な意見につきましては、全庁で情報共有するとともに、次年度以降の事務事業へ反映できるよう検討していきます。

資 料

令和4年度市民アンケート回答票

令和4年度市民アンケート回答票

紙による回答用

QRコード



※インターネットによる回答の方はこちら →→→

ご記入にあたってのお願い

- 1 回答は、あなたの考え方に一番近いものに○をしてください。分からないもの、答えられないものについては無理に回答しなくても結構です。
- 2 対象者（封筒のあて名になっている方）が現在住んでいないなど、回答できない場合は、ご家族の方が代理で回答してくださるようお願いいたします。
- 3 インターネットによる回答を受け付けています。詳しくは、別紙「令和4年度市民アンケートへのご協力について」をご覧ください。
- 4 ご不明な点がございましたら、裏表紙に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

はじめに、あなた自身についておたずねします

設問1 あなたの住んでいる地区、性別、年代について、当てはまるものの□に○を記入してください。

①住んでいる地区	☐ 花輪	☐ 十和田
	☐ 尾去沢	☐ 八幡平
②性別	☐ 女性	☐ 男性
③年代	☐ 30 歳未満	☐ 30 代
	☐ 40 代	☐ 50 代
	☐ 60 代	☐ 70 歳以上
④主な職業 ※兼業の方は、主たる職業を選択してください。	☐ 農林業	☐ 自営業
	☐ 会社員・団体職員	☐ 公務員
	☐ パート・アルバイト	☐ 学生
	☐ 無職	☐ その他

鹿角市の政策についておたずねします

設問 2 あなたは、市が進めている取組にどのくらい満足していますか。また、今後のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えていますか。あなたの考えに一番近い番号をそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

基本戦略1 活力を生む地域産業・生業を支える

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
①	地域産業の成長に対する支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②	市民等の意欲のある就労・就農に対する支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③	市内外からの産業の担い手の確保	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略2 元気で健やかな暮らしを支える

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
④	健康診査の推奨や運動による心身の健康づくり	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑤	適切な医療を受けられる体制の整備	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑥	結婚の希望が叶うよう応援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑦	地域ぐるみの子育て支援の充実	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑧	高齢者のいきいきとした暮らしの支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

具体的な取組の例

①	地域産業の自走力を高める経営基盤の強化（設備投資や人材育成支援）、製造業の域際収支の改善を目指した産業の高付加価値化、効率的な農林業経営による経営安定と競争力の強化、生産基盤の整備による農業生産力の維持・向上など
②	就職支援の拡大と働きやすい職場環境の形成、女性・若者のチャレンジ促進（資格取得の支援、テレワークの推進）、農林業の担い手育成と定着支援など
③	A ターンによる起業や就業者の創出、都市部や外国の人材が働きやすい受入環境の構築など

具体的な取組の例

④	健康診査と感染症予防の推進、健康意識の高揚と生活習慣病予防の推進、切れ目のない母子保健の充実、スポーツや運動による健康づくりの増進など
⑤	中核病院における医療従事者の確保と病院機能の充実、安心して医療が受けられる環境づくりなど
⑥	男女の出会いの場の拡大、結婚支援の充実など
⑦	出産・育児に必要な経済的支援、安心・楽しい子育ての推進（子育て環境の充実）など
⑧	住み慣れた地域で安心して暮らすための仕組みづくり、高齢期を元気に過ごすための介護予防と生きがいづくり、認知症にやさしいまちづくりなど

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑨	障がいや国籍にかかわらず誰もが尊重され、社会参加できる地域づくり	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略3 快適で安らぎのある暮らしを守る

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑩	上下水道による衛生的で良好な生活環境の確保	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑪	安全・安心な住まいづくりの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑫	地域に合った公共交通手段の確保	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑬	ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑭	緑と水が映えるまちの環境を保全	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略4 暮らしの安全・安心を高める

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑮	自助・共助による災害への対応力のある地域づくり	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑯	火災や救急に対する体制強化の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

具体的な取組の例

- ⑨ 障がいのある人の地域生活支援の充実、一般就労や福祉的就労の機会の充実、地域で支えあう体制・活動の充実（あらゆる世代への福祉支援）、外国人との共生社会への推進など

具体的な取組の例

- ⑩ 水道水の安定供給、下水道等による生活排水対策の充実など
- ⑪ 市営住宅や民間住宅における住環境の向上、空き家等の適正管理など
- ⑫ 公共交通を支える仕組みの構築、公共交通網の維持確保など
- ⑬ ごみの排出マナーや減量意識の向上、資源リサイクルの推進など
- ⑭ 農村の有する多面的機能の維持、森林の更新・保護による環境保全、快適でいつまでも美しい生活環境の確保（不法投棄の防止、鳥獣被害防止など）

具体的な取組の例

- ⑮ 防災意識の高揚、地域防災力の向上、災害時の迅速な情報提供など
- ⑯ 火災予防・応急手当の啓発と高度な専門職員の養成、消防施設・設備の充実と効率化、消防団活動の充実と活性化など

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑰	災害に強いまちの基盤整備の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑱	防犯や交通安全の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

基本戦略5 未来に羽ばたく人材を育てる

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
⑲	子どもから青少年までの生きる力の育成	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑳	地域の特色ある教育活動の実施	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
㉑	自ら学び、行動する社会人の支援	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

経営戦略1 まちに人・モノ・外貨を呼び込む

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
㉒	人や地域の活力を生む交流の促進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
㉓	販売重視型農業と6次産業化の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
㉔	稼げる観光振興の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

具体的な取組の例	
→ ⑰	生活道路等の安全確保、水道施設の耐震化など
→ ⑱	消費者被害の未然防止・拡大防止、交通事故防止の推進など

具体的な取組の例	
→ ⑲	豊かな心を育み、のびゆく子どもを支える学習環境づくり、未来に生きる確かな学力と高い志を育てる教育の推進、地域で共に子どもを見守り育てる環境の充実など
→ ⑳	自信を持って未来を切り拓くことのできる資質・能力の育成、家庭・地域社会・学校の連携強化、体験等を通して成長できる機会の創出など
→ ㉑	自発的な学習活動の促進、新たな教養や感動を生み出す相互学習機会の充実、学んだ知識を生かし地域で活躍する人材の育成など

具体的な取組の例	
→ ㉒	地域とのかかわり強化による関係人口の拡大、地域間交流による交流人口の拡大、地域ぐるみの受入態勢による移住定住の促進など
→ ㉓	魅力あるブランド農畜産品や高収益作物の生産拡大、付加価値を生み出す農産物加工の商品化、多様な販売チャネル（販売経路）による消費・販路の拡大など
→ ㉔	市全体を観光資源として生かした滞在型観光の充実、世界水準 DMO（観光地域づくり法人）による国際的観光地としての受入態勢づくりなど

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
②⑤	スポーツの力によるまちの魅力向上	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②⑥	次世代産業の創出	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

経営戦略2 「世界遺産のまち」をつくる

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
②⑦	文化財の保存	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②⑧	ヘリテージ・ツーリズム（文化遺産の観光資源としての活用）の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

経営戦略3 まちの経営力を高める

市の取組項目		これまでの 満足度						これからの 重要度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	わからない
②⑨	効率的な行財政運営の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③⑩	未来技術の導入の推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③⑪	多様な主体（自治会や各種コミュニティ）の力で共に発展するまちづくりの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③⑫	コンパクトなまちづくりの推進	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

具体的な取組の例

- | | |
|----|--|
| ②⑤ | スポーツと観光、レクリエーションなどによる幅広い交流人口の拡大、全国級の大型大会開催とスポーツを支える人材の育成・確保など |
| ②⑥ | デジタル化による未来技術の進展に対応した新たな産業の創出、次世代を担う創業や新たな仕事づくりの推進、エネルギー産業の育成など |

具体的な取組の例

- | | |
|----|--|
| ②⑦ | 伝統芸能などを末永く後世に伝えるための各種保存団体・後継者の育成、文化財の計画的な維持管理と価値を守ろうとする市民意識の向上など |
| ②⑧ | 広く歴史文化に親しむ機会の創出、世界遺産と共に成長する地域人材の育成、観光資源としての文化の最大限の活用、海外向けデジタル観光情報の発信強化など |

具体的な取組の例

- | | |
|----|---|
| ②⑨ | 公共施設の効率的な維持管理や未利用施設の貸付等の推進、市民サービスを支える市税収入や税外収入の確保など |
| ③⑩ | ICT の進展に適切に対応できる環境整備、あらゆる分野の諸課題解決や市民サービス向上に向けた未来技術の導入など |
| ③⑪ | まちづくりに係る地域人材の育成・活動支援、お互いに支え合える自治会活動の充実など |
| ③⑫ | 中心市街地の空き家等を利活用した居住人口の集積、まちなかエリアの交通アクセスと魅力の向上など |

運動の実施状況についておたずねします

設問3 あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。また、1回あたりの時間はどれくらいですか。

1. ほぼ毎日	→	主に行っている運動や活動： _____ 1回あたりの時間： 約 _____ 時間 (約 _____ 分)
2. 週に1回程度	→	
3. 月に1回程度	→	
4. ほとんど行っていない		

「テレフォン病院24」事業についておたずねします

市では、健康相談をはじめ病気や怪我などで不安を感じる時、専門スタッフが24時間年中無休で電話相談を受ける「テレフォン病院24」事業を行っています。

設問4 あなたは、「テレフォン病院24」事業を知っていましたか。また、何で知りましたか。

1. 知っていた	→	何で知りましたか。当てはまるもの <u>全てに○</u> をつけてください。 1. 市役所窓口 2. 広報かづの 3. 市ホームページ 4. ポスター・チラシ 5. 知り合いからの口コミ 6. 医療機関 7. その他 (具体的に： _____)
2. 知らなかった		

芸術鑑賞についておたずねします

設問 5 あなたは、昨年 1 年間に市内外で芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等）をしましたか。また、コモッセで鑑賞したものは何回ありましたか。

1. 鑑賞した
2. 鑑賞しなかった

そのうちコモッセで鑑賞したものは何回ですか。

1. 4 回以上
2. 1～3 回
3. なし

コモッセの利用状況についておたずねします

設問 6 あなたは、昨年 1 年間にコモッセをどれくらい利用しましたか。

1. 毎週
2. 月 1 回程度
3. 年 3 回程度
4. 年 1 回
5. 利用しなかった

【利用しなかった理由】

鹿角きりたんぽFMについておたずねします

市では、鹿角きりたんぽFMのラジオ放送を通じて、「鹿角市からのお知らせ」をお届けしています。

設問 7 あなたは、きりたんぽFMをどの程度聴いていますか。また、よく聴く時間帯はありますか。

1. ほぼ毎日
2. 週 1 回以上
3. 月 1 回程度
4. ほとんど聴いたことがない

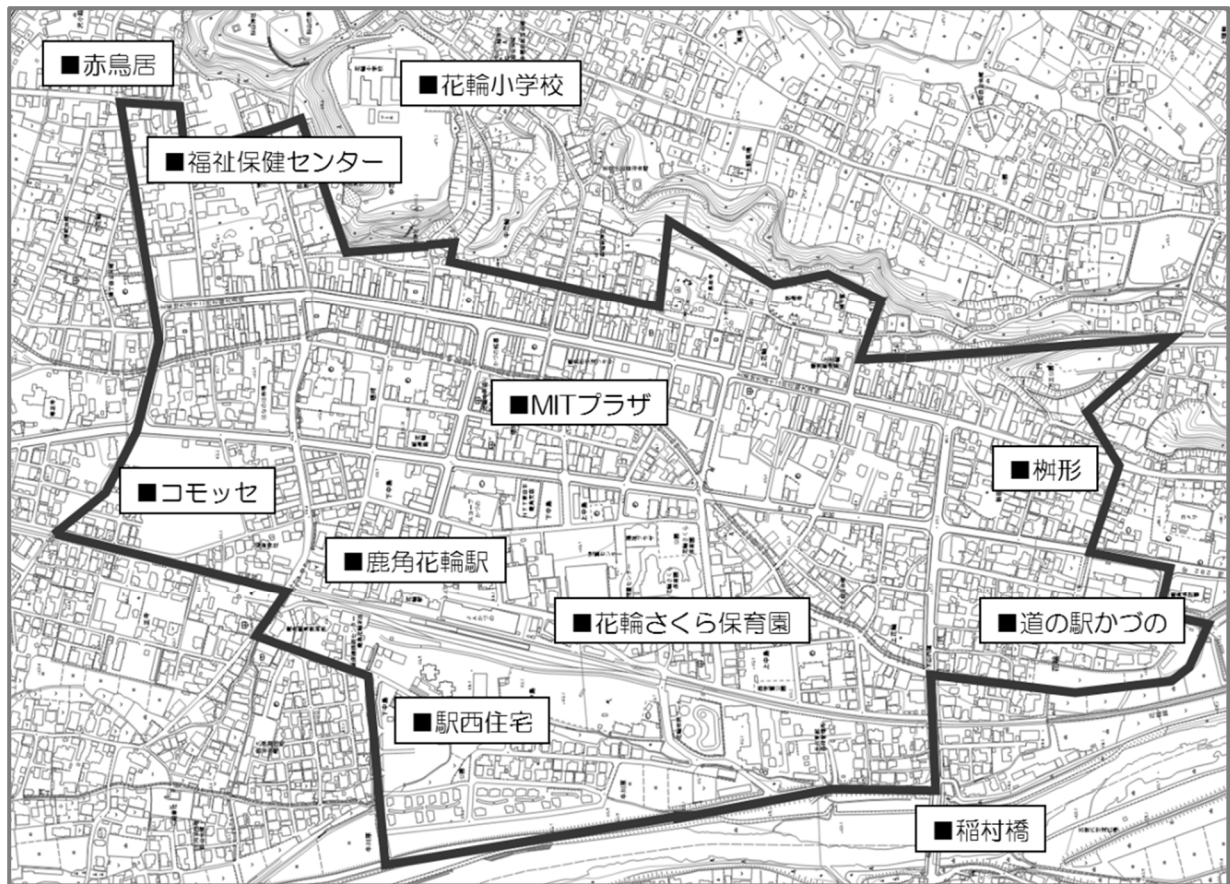
【よく聴く時間帯】

当てはまるもの全てに○をつけてください。

1. 6 時～9 時
2. 9 時～11 時
3. 11 時～13 時
4. 13 時～17 時
5. 17 時～19 時
6. その他

中心市街地についておたずねします

ここでいう中心市街地は、線で囲まれた以下の区域を指します。



設問 8 あなたは、中心市街地の生活環境（住みごこちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

1. 満足している
2. やや満足している
3. やや不満である
4. 不満である

【不満と感ずる理由】

新型コロナウイルス感染症の影響についておたずねします

設問 9 ① 感染症が流行し、あなたの生活に影響はありましたか。

1. 影響があった → 2. 少し影響があった → 3. あまり影響はない 4. 影響はない	どのような影響がありましたか。当てはまるものの 3つまで選んで ○をつけてください。 1. 就職難、内定取消、失職 2. 収入の減少 3. 出費の増加 4. 医療・受診機会の減少 5. 学習機会の減少 6. 子育て・介護の負担増 7. 外出・交流機会の減少 8. スポーツ・文化活動の減少 9. その他 (具体的に：)
---	--

設問 9 ② 新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、今後、市内経済を活性化させるためにどのような施策を実施した方がよいと考えますか。当てはまるもの **3つまで選んで** ○をつけてください。

1. デジタル技術により産業の生産性を上げる取組への支援 2. 脱炭素の推進（技術の開発や普及に対する支援など） 3. 東京圏からの移住など、ひとの流れの創出 4. 雇用対策、テレワークなど新しい働き方への支援 5. 商店や飲食店などの消費喚起 6. 県外・海外からの観光客の回復に向けた取組 7. スポーツ・文化活動への支援 8. その他 （具体的に：)
--

まちの満足度についておたずねします

あなたが思うまちの満足度について、それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。

設問 11① あなたは、鹿角市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 11② あなたは、鹿角市が心身ともに健康な暮らしができるまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 11③ あなたは、鹿角市は生活環境が快適なまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 11④ あなたは、鹿角市が安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 11⑤ あなたは、鹿角市が市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 11⑥ あなたは、鹿角市は文化遺産が豊富で誇れるまちであると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 11⑦ あなたは、自分に必要な行政サービスが受けられていると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 12 最後に、市の政策・事業・各種手続き等について知りたいことや、市に対する提言、改善要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒（切手不要）に本票を封入し、

6月16日（木）までに ポストにご投函ください。

〈問い合わせ先〉 鹿角市総務部政策企画課総合戦略室 電話：30-0201

令和４年度
市民アンケート実施結果報告書

令和４年８月
鹿角市総務部政策企画課総合戦略室
電話：0186-30-0201
FAX：0186-30-1122
E-mail：kikaku@city.kazuno.lg.jp